



## <参考資料>

- 策定経過
- 鹿沼市教育ビジョン検討委員会要綱
- 鹿沼市教育ビジョン検討委員会委員
- 鹿沼市教育教育ビジョン策定基礎調査アンケート調査結果報告書

## ■ 策定経過

年月日	検討会議等	内容等
令和2年11月2日	教育ビジョン策定局内会議	基本的な考え方、スケジュール
令和2年12月25日～ 令和3年1月20日	教育ビジョン検討委員会公募委員募集	広報かぬま、市ホームページ
令和3年1月13日	教育ビジョン策定局内会議	事前アンケート検討、検討委員会調整
令和3年3月23日	第1回 鹿沼市教育ビジョン検討委員会	基本計画II期計画の評価 次期教育ビジョンの策定体制、スケジュール 基礎調査アンケートの検討
令和3年4月19日～ 令和3年5月14日	教育ビジョン策定基礎調査アンケート	保護者、教員、教育関係団体等
平成3年5月27日	教育ビジョン策定局内会議	基本計画II期計画の課題 施策体系の見直し 重点取組の検討
令和3年7月8日	教育ビジョン策定局内会議	基本施策検討、教育ビジョン骨子作成
令和3年8月11日	第2回 鹿沼市教育ビジョン検討委員会 (書面会議)	アンケート結果 現状と課題の確認 教育ビジョン骨子検討
令和3年8月12日	教育ビジョン策定局内会議	教育ビジョン素案、主な取組の検討
令和3年8月20日	第1回鹿沼市総合教育会議	アンケート結果、教育ビジョン骨子確認
令和3年10月21日	教育ビジョン策定局内会議	教育ビジョン素案作成
令和3年11月8日	第3回 鹿沼市教育ビジョン検討委員会	教育ビジョン素案検討
令和3年11月18日	令和3年第11回鹿沼市教育委員会	教育ビジョン素案の内容と進捗状況説明
令和3年12月1日～ 令和3年12月28日	パブリックコメント実施	市民からの意見募集、内容の周知
令和3年12月17日	庁議（部長会議）	教育ビジョン案報告
令和4年1月13日	教育ビジョン策定局内会議	教育ビジョン案修正内容確認
令和4年1月17日	第4回 鹿沼市教育ビジョン検討委員会	教育ビジョン案最終確認
令和4年1月25日	第2回鹿沼市総合教育会議	教育ビジョン案最終確認
令和4年2月15日	令和4年第2回鹿沼市教育委員会	第2次教育ビジョンの承認

## ■ 鹿沼市教育ビジョン検討委員会要綱

### (設置)

第1条 第2次鹿沼市教育ビジョン（以下「教育ビジョン」という）の策定に当たり、必要な検討及び審議を行うため、鹿沼市教育ビジョン検討委員会（以下「検討委員会」という）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 検討委員会は、次の各号に掲げる事項について検討・審議し、教育長に対し助言を行うものとする。

- (1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に規定する教育大綱に関する事項
- (2) 教育ビジョンの策定内容に関する事項
- (3) 基本計画I期の策定内容に関する事項
- (4) その他教育ビジョンに関し必要な事項

### (組織)

第3条 検討委員会は、概ね15人程度をもって組織し、次の各号に掲げる者のうちから、教育長が委嘱、又は任命する。

- (1) 知識経験者
- (2) 地域関係者
- (3) 教育関係機関・団体関係者
- (4) 学校教育関係者
- (5) その他教育長が認める者

### (任期)

第4条 検討委員の任期は、委嘱又は任命の日から令和4年3月31日までとする。

### (委員長及び副委員長)

第5条 検討委員会には委員長及び副委員長を各1人置く。

- 2 委員長及び副委員長は、教育長が任命、又は委嘱する。
- 3 委員長は、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職を代理する。

### (会議)

第6条 検討委員会の会議（以下「会議」という）は、必要に応じて教育長が招集する。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 委員会は、委員の過半数の者が出席しなければ会議を開くことができない。

### (事務局)

第7条 検討委員会の事務局は、総合教育研究所に置く。

### 附 則

この要綱は、令和2年12月1日から施行する。

■ 鹿沼市教育ビジョン検討委員会委員 (◎:委員長、○副委員長)

氏名	団体・役職名等	備考
◎金井 正	白鷗大学教育学部・教授	1号委員 (知識経験者)
鈴木 貢	鹿沼市文化協会	
相馬 英人	鹿沼歯科医師会	
○鈴木 節也	鹿沼市自治会連合会	2号委員 (地域関係者)
小島 実	鹿沼市青少年育成市民会議	3号委員 (教育関係機関・ 団体関係者)
小野口 正子	鹿沼市民間保育園連盟	
香川 玲子	鹿沼地区幼稚園連合会	
福田 明	鹿沼市 PTA 連絡協議会	
佐藤 和也	鹿沼市子ども会連合会	
谷中 恵子	鹿沼市学校支援ボランティア活動推進委員会	
山本 和子	鹿沼市社会教育委員	
櫻井 敦	鹿沼市スポーツ協会	
国立 恵俊	鹿沼市文化財保護審議会	
増田 浩治	鹿沼市少年指導員会	
石川 洋一	鹿沼市立小中学校校長会 (中学校)	
湯澤 信	鹿沼市立小中学校校長会 (小学校)	
小太刀 見代子	公募委員	5号委員 (その他教育長が認 める者)
毛束 民子	公募委員	

◆教育ビジョン策定局内会議メンバー

教育長	教育次長	教育総務課長	学校教育課長	学校教育担当	生涯学習課長
文化課長	スポーツ振興 課長	国体推進室長	学校給食共同 調理場長	図書館長	川上澄生美術 館事務長

鹿沼市  
教育ビジョン策定基礎調査アンケート  
調査結果報告書

令和3年6月  
鹿沼市教育委員会

# 目 次

<b>第1章 調査概要</b> .....	<b>80</b>
1. 調査目的 .....	80
2. 調査対象 .....	80
3. 調査内容 .....	80
4. 調査方法 .....	80
5. 調査期間 .....	80
6. 回答数・回答率 .....	81
7. 注意事項 .....	81
<b>第2章 調査結果</b> .....	<b>82</b>
2-1 回答者の属性 .....	82
2-2 地域について .....	84
2-3 教育全般について .....	91
2-4 学校教育について .....	107
2-5 生涯学習について .....	113
2-6 文化について .....	144
2-7 スポーツについて .....	155
<b>第3章 考察について</b> .....	<b>170</b>
3-1 調査結果から得られた考察 .....	170
<b>第4章 参考資料</b> .....	<b>180</b>
4-1 調査項目 .....	180

# 第1章 調査概要

---

## 1. 調査目的

鹿沼市の教育行政や今後の進め方を検討する基礎データとするために、市民（保護者）や教育関係者の意識について客観的な把握に努めるため、本調査を実施した。

## 2. 調査対象

### (1) 調査対象

保護者及び教育関係者

### (2) 抽出方法

市内小中学校、幼稚園、保育園、認定こども園を対象に保護者・教員、教育関係団体にアンケートフォームを送付

## 3. 調査内容

- 回答者の属性
- 地域について
- 教育全般について
- 学校教育について
- 生涯学習について
- 文化について
- スポーツについて

## 4. 調査方法

LOGO フォーム（トラストバンク社）を利用した Web 調査

## 5. 調査期間

令和3年4月19日～5月14日



## 6. 回答数・回答率

関係性ごとの配布数、回答数及び回答率は下表の通り。「その他」については配布数が不明のため、回答数のみ掲載している。

関係性	配布数	回答数	回答率
小中学校に通う子どもの保護者	7,107	899	12.6%
小中学校の教員	865	314	36.3%
幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者	2,099	409	19.5%
幼稚園・保育園・認定こども園の関係者	500	51	10.2%
生涯学習団体の関係者	468	41	8.8%
文化団体の関係者	347	66	19.0%
スポーツ団体の関係者	224	31	13.8%
その他	-	47	-
不明（無回答）	-	1	-
計	11,610	1,859	16.0%

## 7. 注意事項

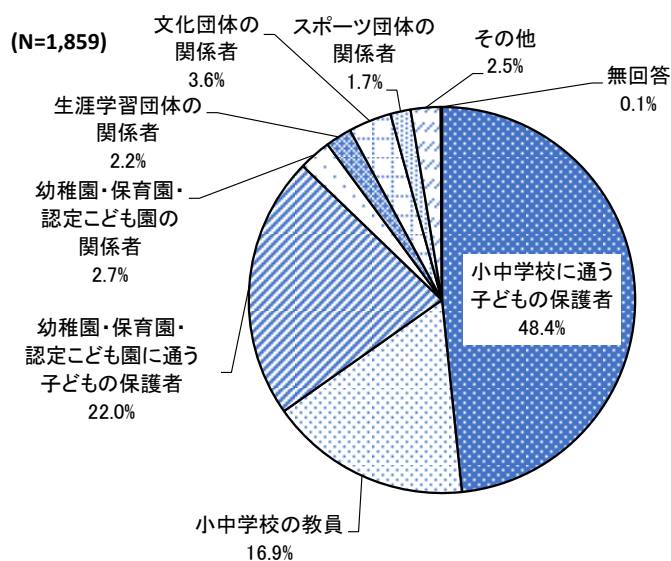
- (1) 図表中の「N」（Number of cases の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数となる。
- (2) 図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。
- (3) 集計表の上段の数字は回答数、下段の数字は構成比（%）を示している。
- (4) 回答が2つ以上ありうる場合（複数回答）は、合計が100%を超えることがある。
- (5) 回答数が10件未満の区分については、統計上の有意性に鑑みて原則としてコメントを省略している。各数値は参考程度とされたい。

## 第2章 調査結果

### 2-1 回答者の属性

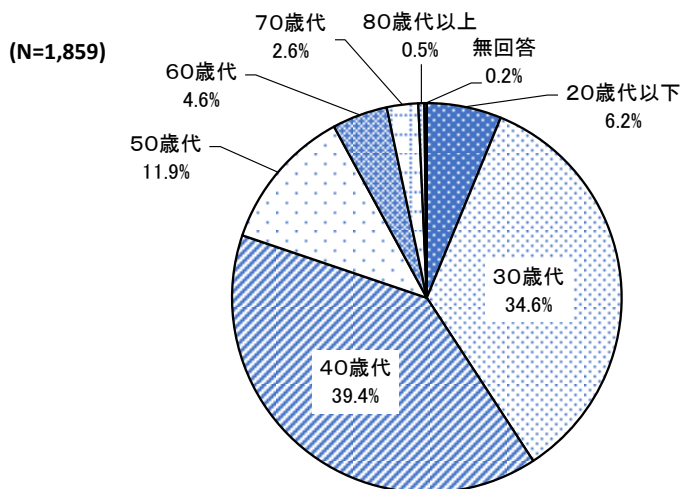
Q1 あなたは次のうち、どれにあてはまる方ですか。【1つ選択】

「小中学校に通う子どもの保護者」が48.4%と最も高く、次いで「幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者」が22.0%、「小中学校の教員」が16.9%となっている。



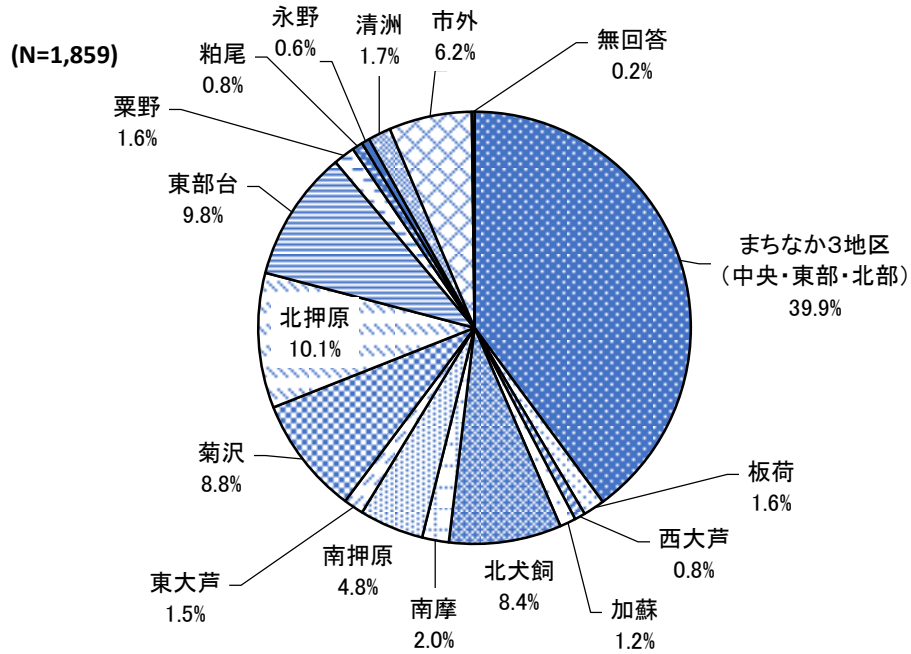
Q2 あなたの年齢をお伺いします。【1つ選択】

「40歳代」が39.4%と最も高く、次いで「30歳代」が34.6%、「50歳代」が11.9%となっている。



Q3 居住地区をお伺いします。【1つ選択】

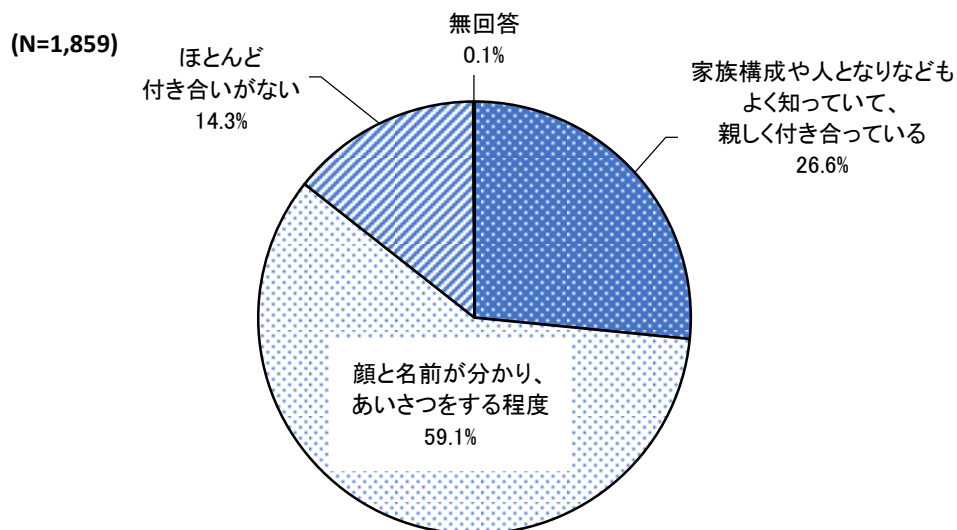
「まちなか3地区（中央・東部・北部）」が39.9%と最も高く、次いで「北押原」が10.1%、「東部台」が9.8%となっている。



## 2-2 地域について

Q4 あなたは現在、ご近所(向こう三軒両隣など)の方々どのような関係ですか。【1つ選択】

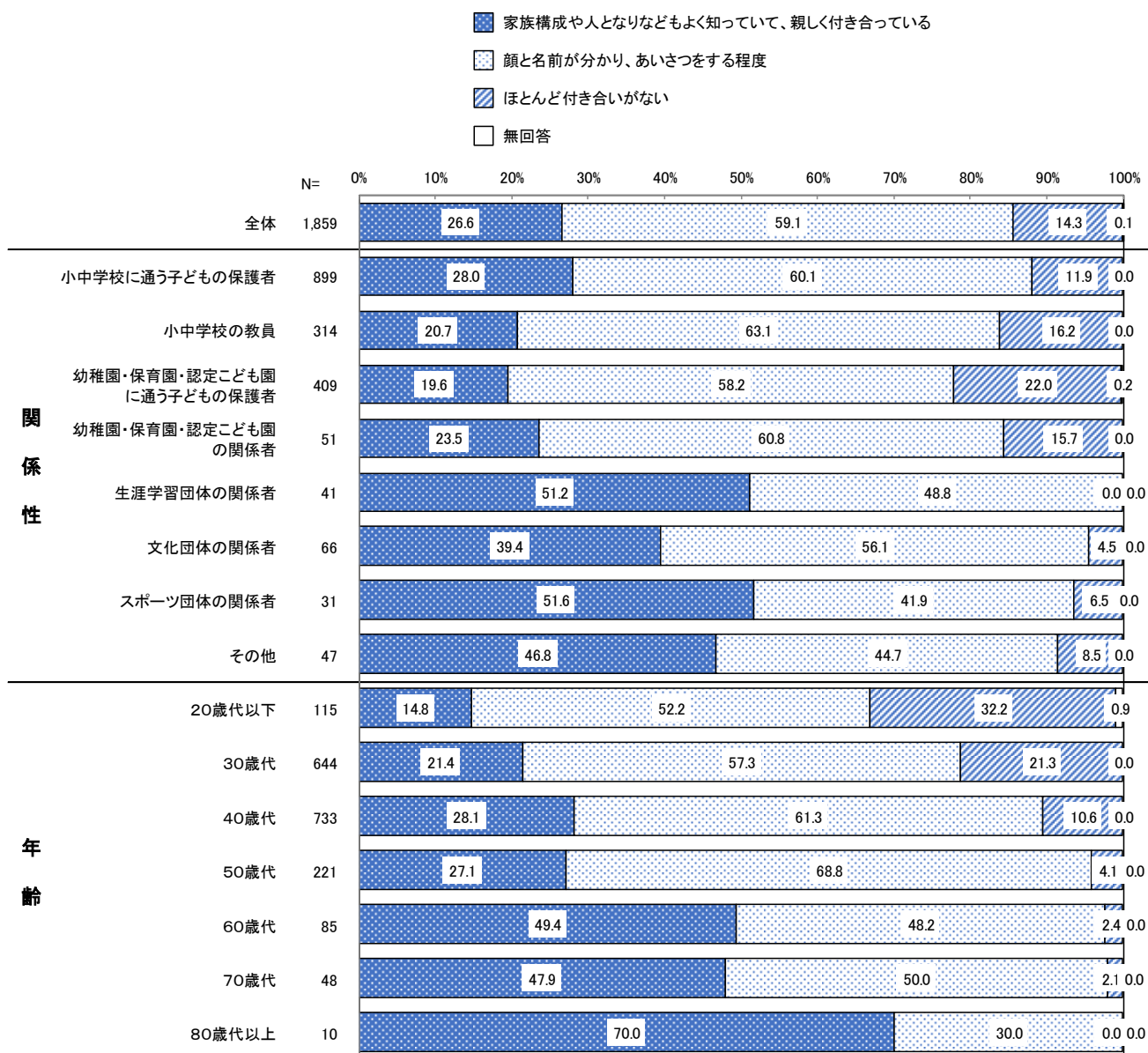
「顔と名前が分かり、あいさつをする程度」が59.1%と最も高く、次いで「家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている」が26.6%、「ほとんど付き合いがない」が14.3%となっている。



## 【関係性・年齢別】

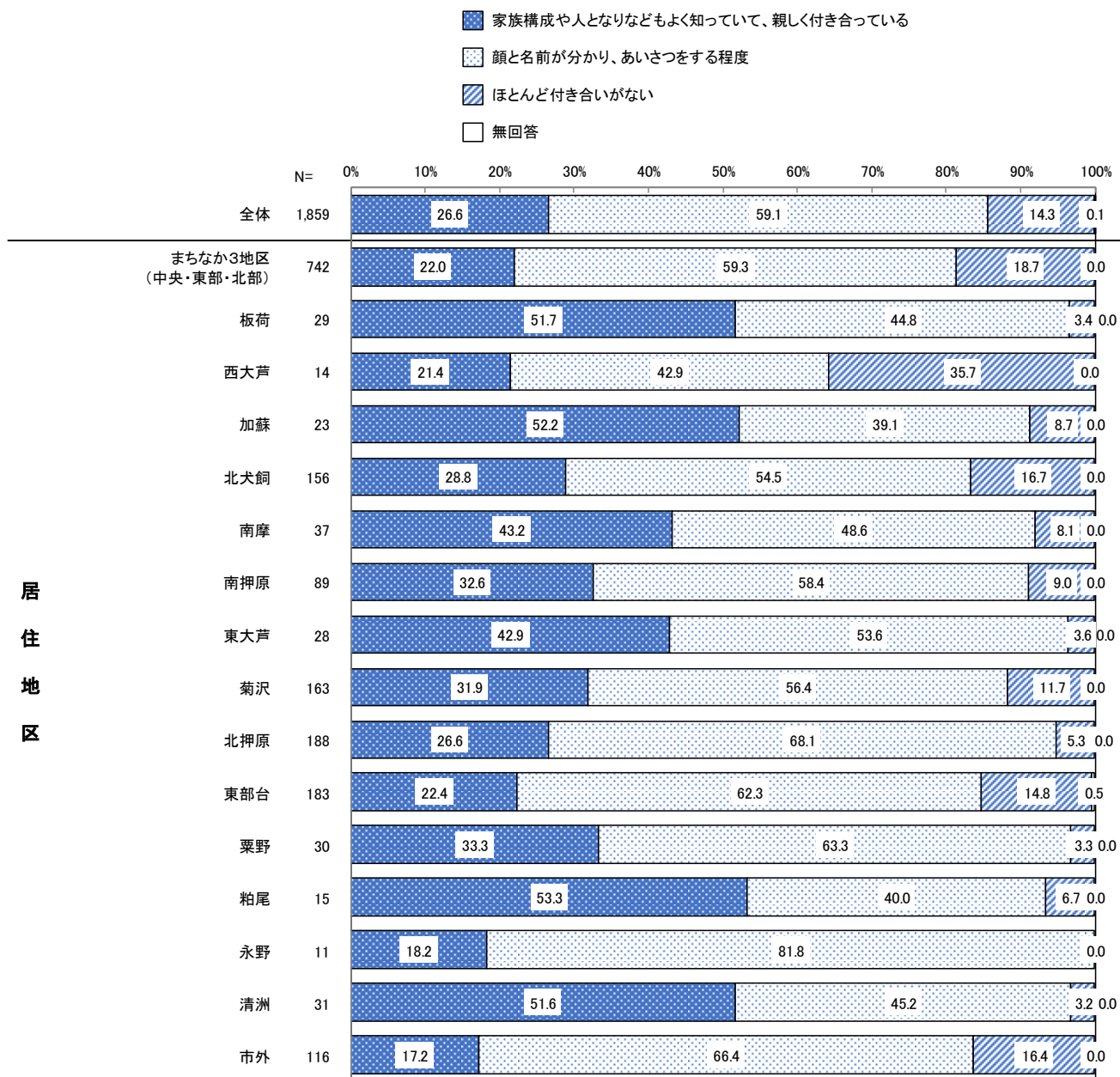
関係性別にみると、生涯学習団体の関係者、文化団体の関係者、スポーツ団体の関係者及びその他で「家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている」の割合が比較的高く、4割弱から5割強を占めている。幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者では「ほとんど付き合いがない」の割合が22.0%と他の関係性よりも高くなっている。

年齢別にみると、60歳代以上で「家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている」の割合が比較的高くなっている。40歳代以下では「ほとんど付き合いがない」の割合が比較的高く、20歳代以下では32.2%と最も高くなっている。



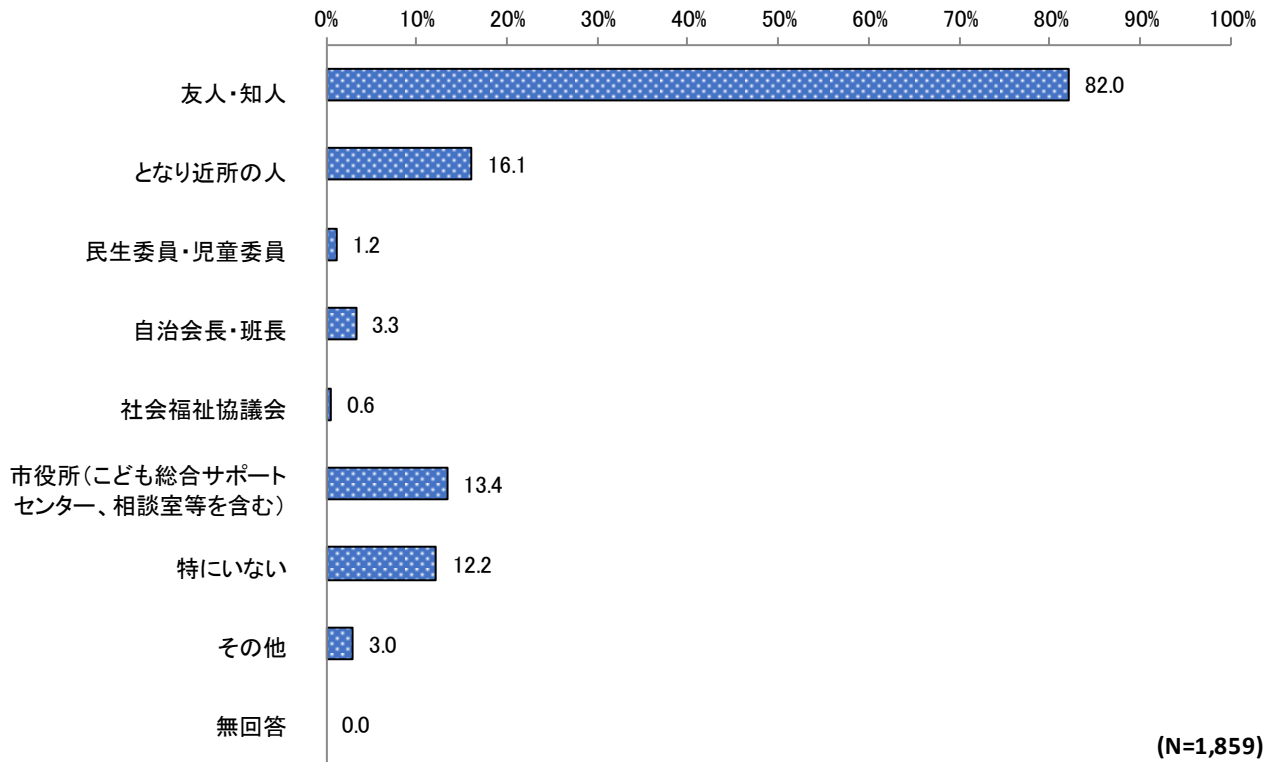
## 【居住地区別】

居住地区別にみると、板荷、加蘇、粕尾及び清洲で「家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている」の割合が比較的高く、5割以上を占めている。西大芦では「ほとんど付き合いがない」が35.7%と他の地区よりも高くなっている。



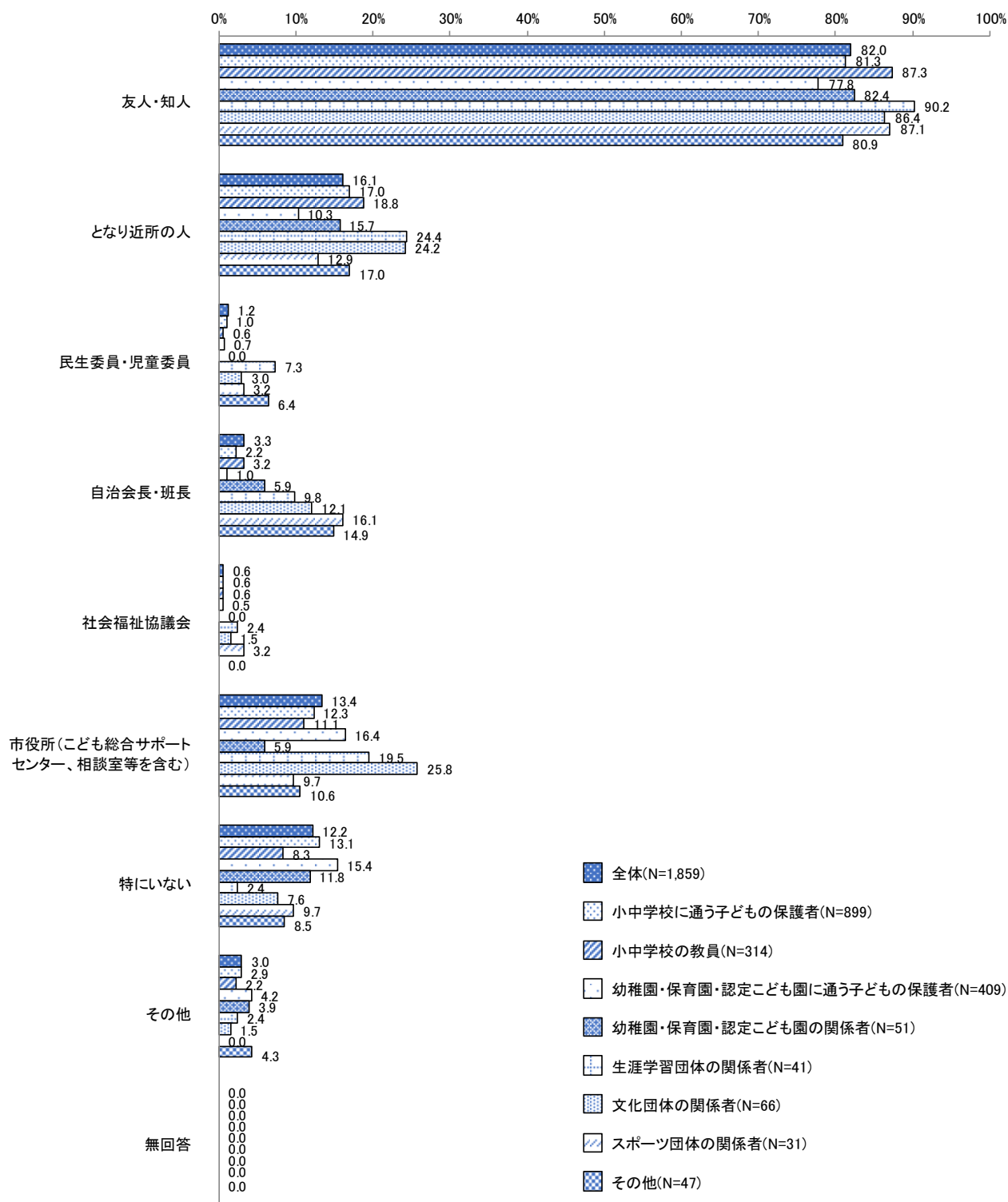
**Q5 日常生活で困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ(相手)はどこ(誰)ですか。【複数選択可】**

「友人・知人」が82.0%と最も高く、次いで「となり近所の人」が16.1%、「市役所(こども総合サポートセンター、相談室等を含む)」が13.4%となっている。



## 【関係性別】

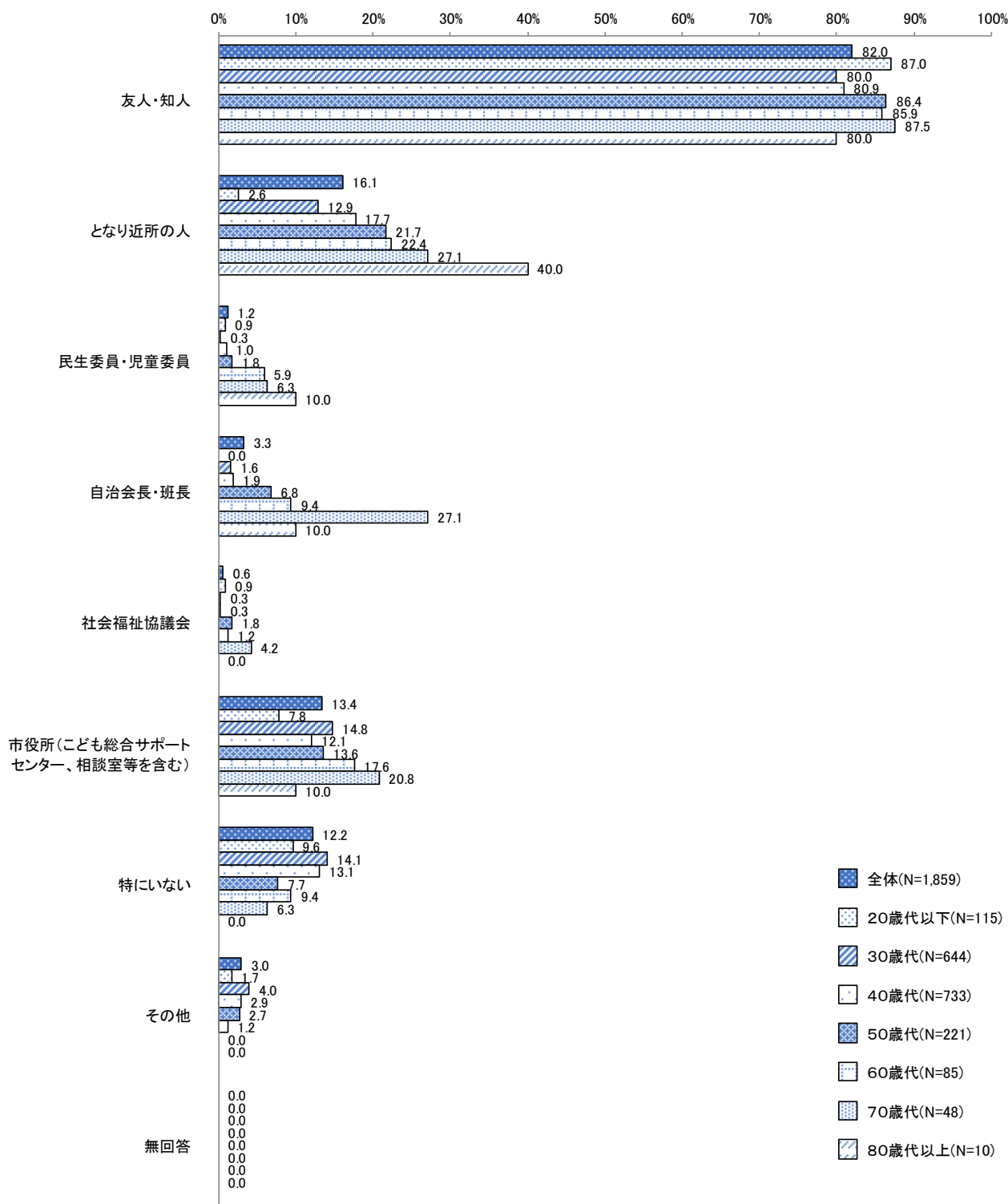
関係性別にみると、すべての関係性で「友人・知人」の割合が最も高く、8割前後から9割となっている。文化団体の関係者では「市役所（こども総合サポートセンター、相談室等を含む）」の割合が25.8%と他の関係性と比べて高くなっている。





## 【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「友人・知人」の割合が最も高く、8割以上となっている。「となり近所の人」の割合は年齢が上がるほど高くなっている。70歳代では「自治会長・班長」が27.1%と他の年代と比べて高くなっている。



【居住地区別】

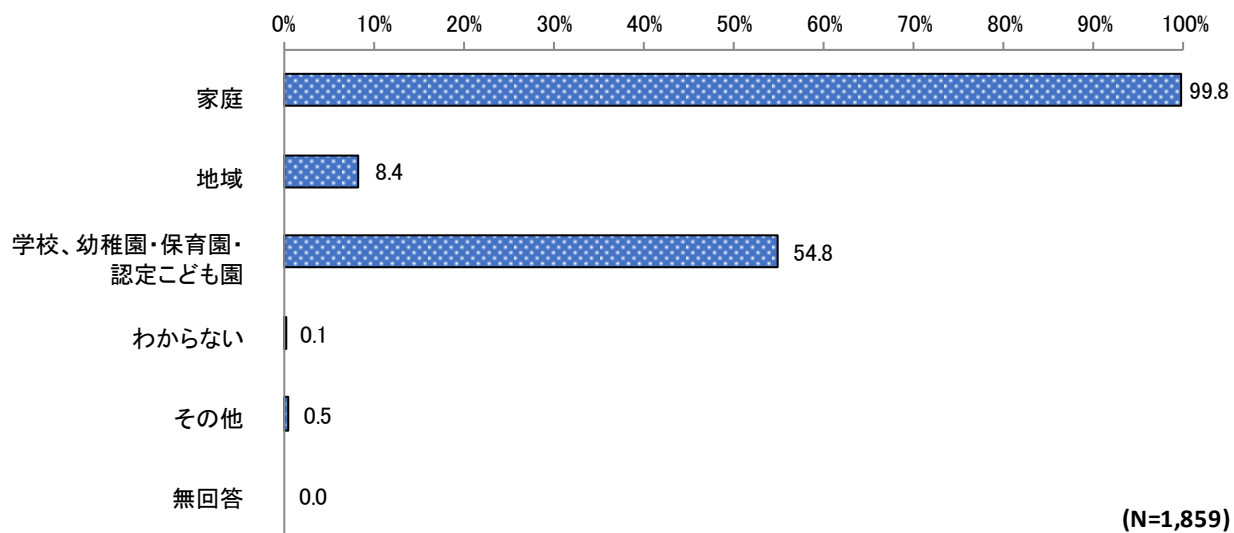
居住地区別にみると、すべての地区で「友人・知人」の割合が最も高く7割以上となっており、粕尾では全員が回答している。清洲では「となり近所の人」の割合が32.3%、板荷では「自治会長・班長」の割合が20.7%と他の地区と比べて高くなっている。

		(上段:件数、下段:%)									
	全体	友人・知人	となり近所の人	民生委員・児童委員	自治会長・班長	社会福祉協議会	市役所(子ども総合サポートセンター等を含む)	特にいない	その他	無回答	
全体	1,859	1,524	300	23	62	12	249	226	56	0	
	100.0	82.0	16.1	1.2	3.3	0.6	13.4	12.2	3.0	0.0	
居住地区	まちなか3地区(中央・東部・北部)	742	580	118	8	17	4	104	110	19	0
		100.0	78.2	15.9	1.1	2.3	0.5	14.0	14.8	2.6	0.0
	板荷	29	22	5	2	6	0	7	4	0	0
		100.0	75.9	17.2	6.9	20.7	0.0	24.1	13.8	0.0	0.0
	西大芦	14	12	4	0	0	0	1	2	0	0
		100.0	85.7	28.6	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0
	加蘇	23	20	5	1	2	1	5	1	2	0
		100.0	87.0	21.7	4.3	8.7	4.3	21.7	4.3	8.7	0.0
	北大飼	156	133	25	1	7	3	16	19	5	0
		100.0	85.3	16.0	0.6	4.5	1.9	10.3	12.2	3.2	0.0
	南摩	37	29	7	2	2	0	8	5	0	0
		100.0	78.4	18.9	5.4	5.4	0.0	21.6	13.5	0.0	0.0
	南押原	89	71	10	4	6	1	8	13	2	0
		100.0	79.8	11.2	4.5	6.7	1.1	9.0	14.6	2.2	0.0
	東大芦	28	25	3	0	2	0	5	2	2	0
		100.0	89.3	10.7	0.0	7.1	0.0	17.9	7.1	7.1	0.0
	菊沢	163	135	37	0	4	0	21	19	9	0
		100.0	82.8	22.7	0.0	2.5	0.0	12.9	11.7	5.5	0.0
北押原	188	164	27	2	2	0	28	16	3	0	
	100.0	87.2	14.4	1.1	1.1	0.0	14.9	8.5	1.6	0.0	
東部台	183	153	26	0	2	2	20	19	8	0	
	100.0	83.6	14.2	0.0	1.1	1.1	10.9	10.4	4.4	0.0	
粟野	30	24	6	0	1	0	4	4	1	0	
	100.0	80.0	20.0	0.0	3.3	0.0	13.3	13.3	3.3	0.0	
粕尾	15	15	2	0	2	0	2	0	0	0	
	100.0	100.0	13.3	0.0	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	
永野	11	9	0	1	0	0	1	1	0	0	
	100.0	81.8	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	
清洲	31	27	10	2	4	1	7	3	2	0	
	100.0	87.1	32.3	6.5	12.9	3.2	22.6	9.7	6.5	0.0	
市外	116	103	15	0	4	0	12	7	2	0	
	100.0	88.8	12.9	0.0	3.4	0.0	10.3	6.0	1.7	0.0	

## 2-3 教育全般について

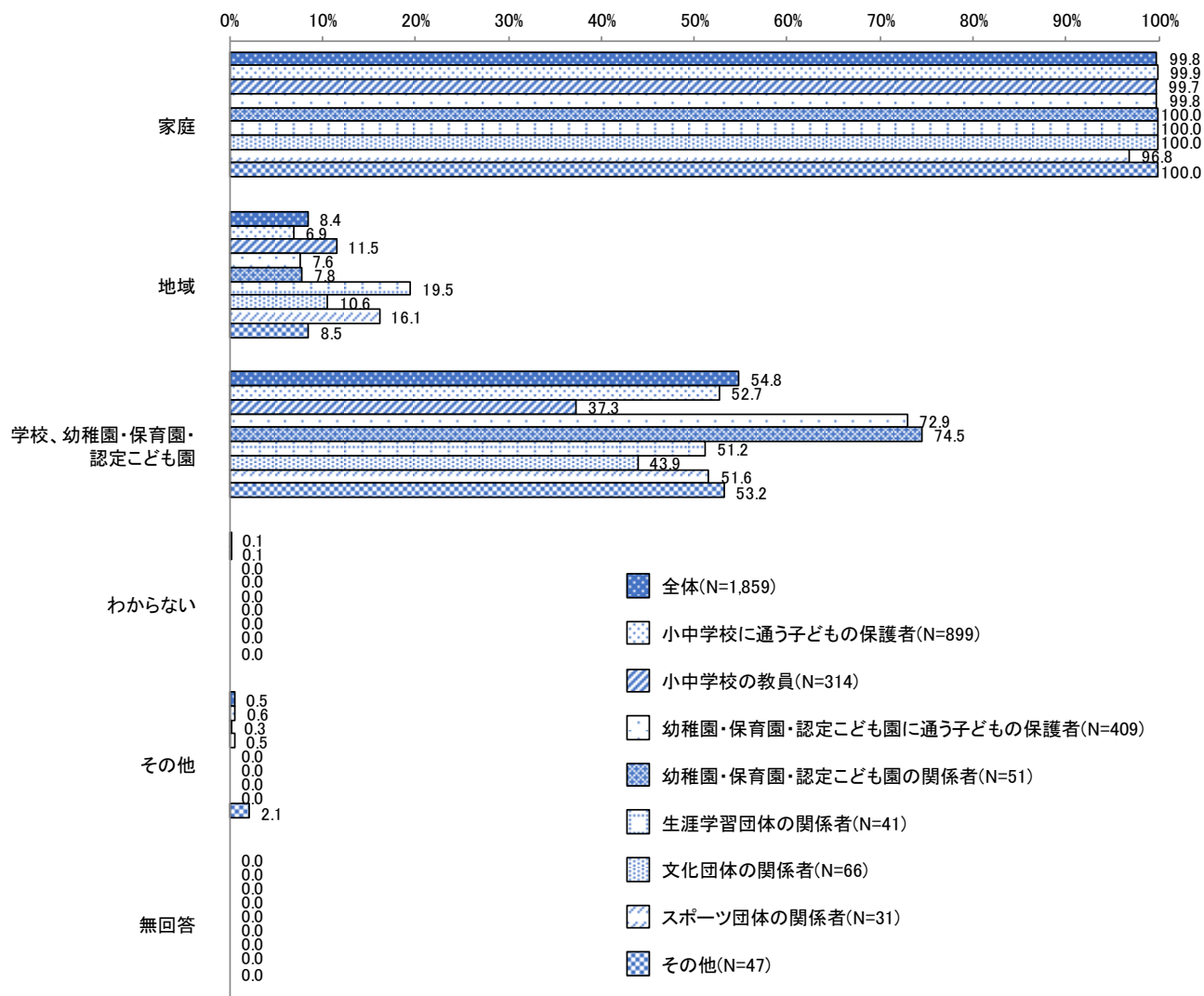
Q6 子どもの基本的な生活習慣(早寝早起き、整理整頓など)は、どこで身につけるべきだと思いますか。  
【複数選択可】

「家庭」が99.8%と最も高く、次いで「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」が54.8%、「地域」が8.4%となっている。



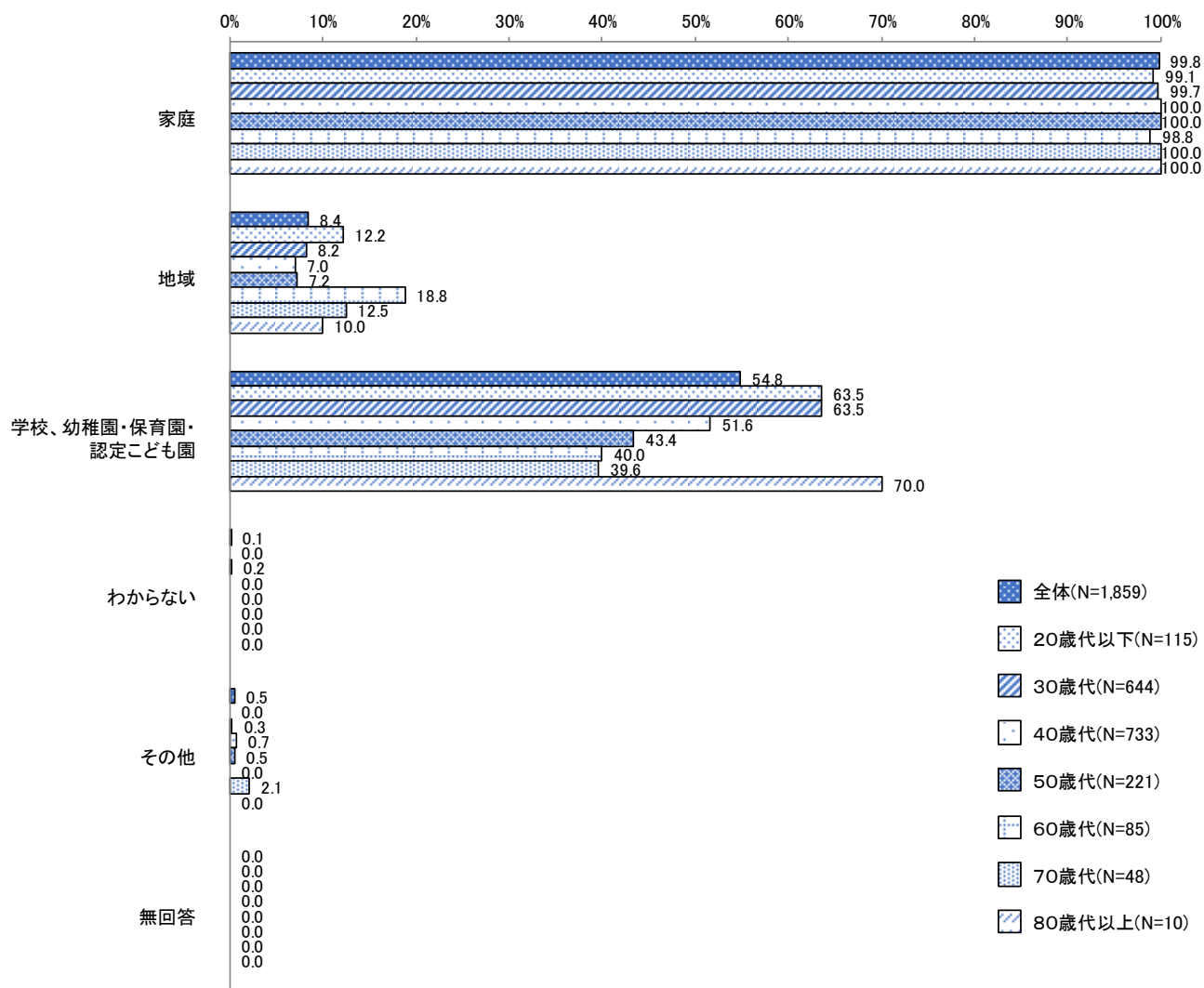
### 【関係性別】

関係性別にみると、すべての関係性で「家庭」の割合が最も高く、9割以上となっている。次いで、すべての関係性で「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」の割合が高く、特に幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者及び幼稚園・保育園・認定こども園の関係者では7割を超えており、他と比べて高くなっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「家庭」の割合が最も高く、9割以上となっている。次いで、すべての年代で「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」が高く、30歳代以下及び80歳代以上では6割以上となっている。



【居住地区別】

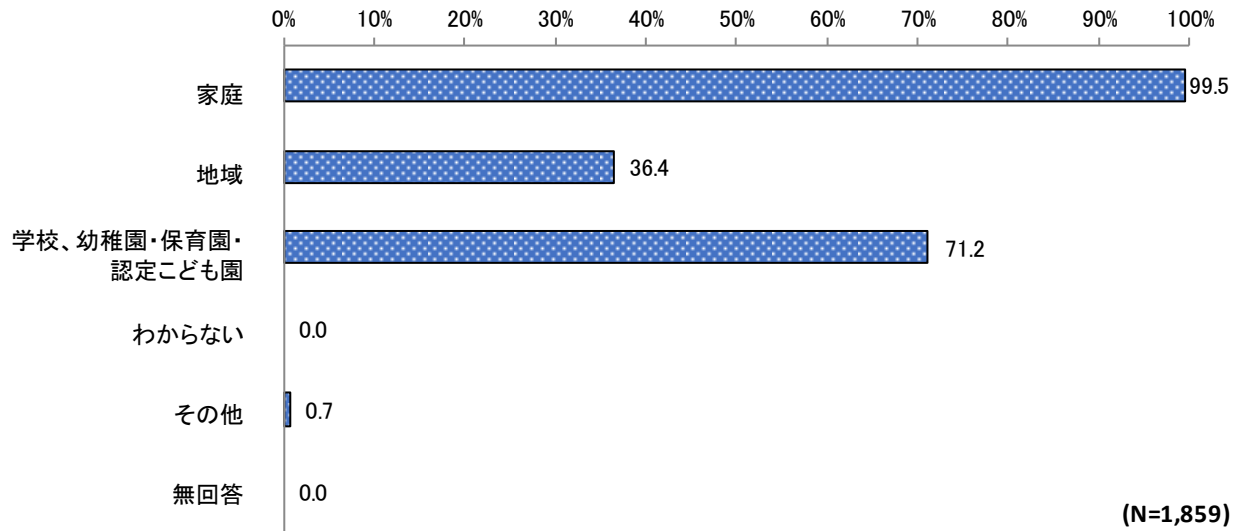
居住地区別にみると、すべての地区で「家庭」の割合が最も高く9割を超え、次いで「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」が高くなっている。

(上段:件数、下段:%)

	全体	家庭	地域	学校、幼稚園・保育園・認定こども園	わからない	その他	無回答	
全体	1,859 100.0	1,855 99.8	157 8.4	1,018 54.8	1 0.1	9 0.5	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	742 100.0	58 7.8	442 59.6	0 0.0	4 0.5	0 0.0
	板荷	29 100.0	29 100.0	3 10.3	18 62.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西大芦	14 100.0	14 100.0	4 28.6	10 71.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	23 100.0	2 8.7	11 47.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	156 100.0	15 9.6	92 59.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	南摩	37 100.0	37 100.0	3 8.1	17 45.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	89 100.0	7 7.9	46 51.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東大芦	28 100.0	28 100.0	2 7.1	12 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	161 98.8	14 8.6	93 57.1	1 0.6	1 0.6	0 0.0
	北押原	188 100.0	187 99.5	16 8.5	99 52.7	0 0.0	3 1.6	0 0.0
	東部台	183 100.0	183 100.0	13 7.1	80 43.7	0 0.0	1 0.5	0 0.0
	粟野	30 100.0	30 100.0	1 3.3	16 53.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	15 100.0	2 13.3	9 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	11 100.0	0 0.0	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	31 100.0	5 16.1	19 61.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	115 99.1	12 10.3	46 39.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

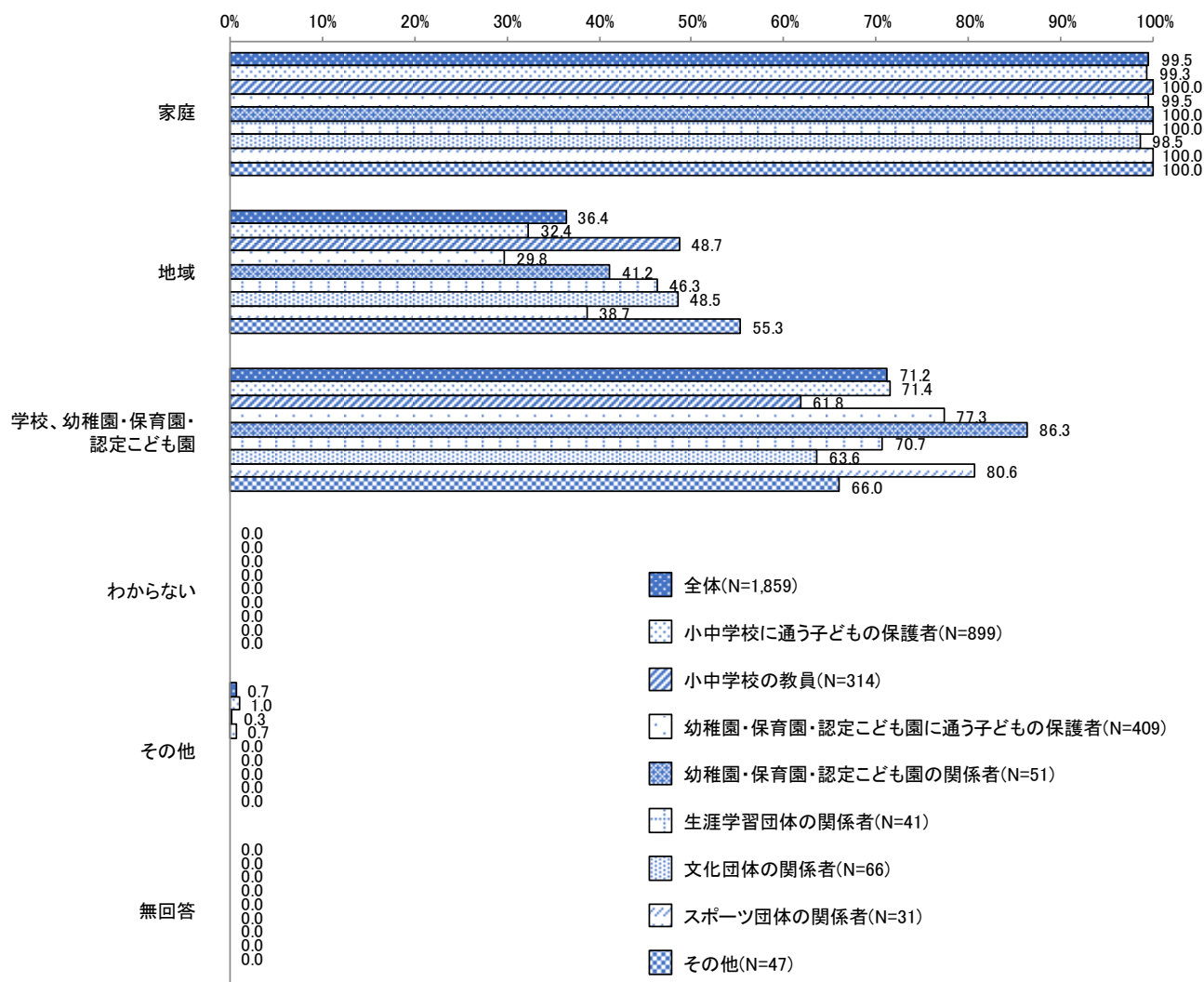
**Q7 子どもへのしつけ(あいさつする、お礼を言うなど)は、どこで行うべきだと思いますか。【複数選択可】**

「家庭」が99.5%と最も高く、次いで「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」が71.2%、「地域」が36.4%となっている。



### 【関係性別】

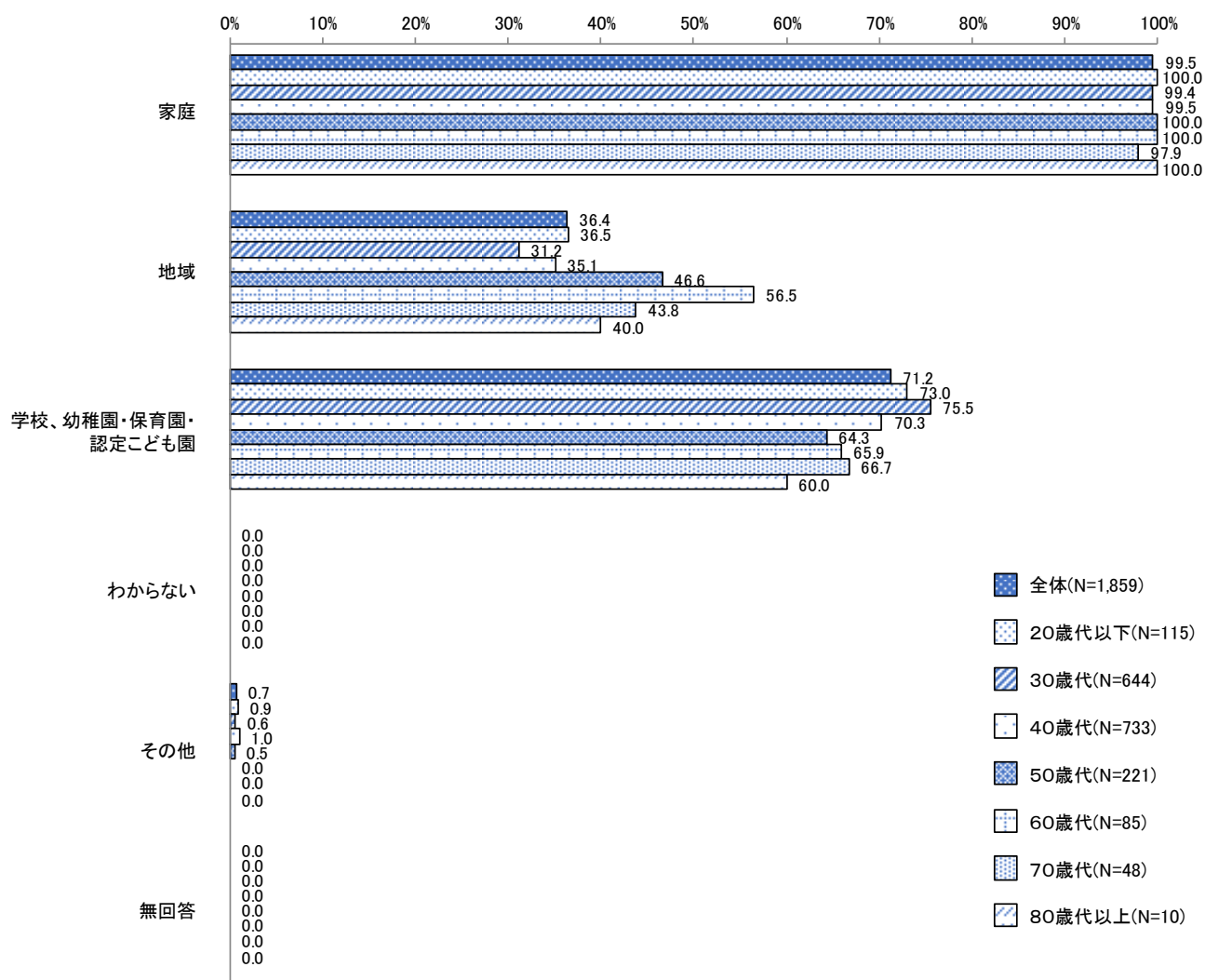
関係性別にみると、すべての関係性で「家庭」の割合が最も高く、9割以上となっている。次いで、すべての関係性で「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」が高くなっており、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者及びスポーツ団体の関係者では8割を超えている。





### 【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「家庭」の割合が最も高く、9割以上となっている。60歳代では「地域」が56.5%と他の年代と比べて高くなっている。



## 【居住地区別】

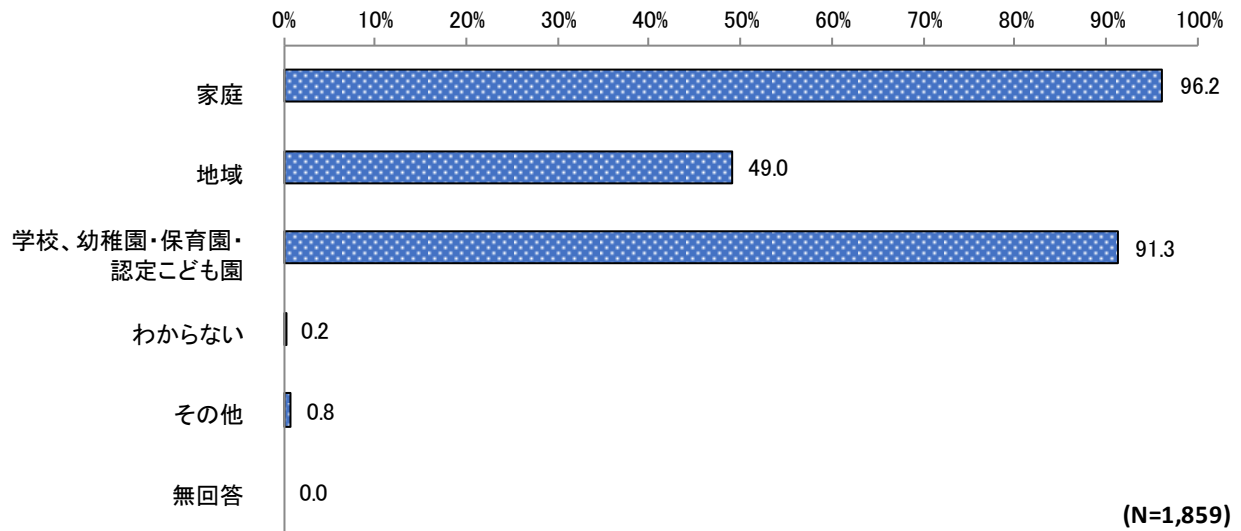
居住地区別にみると、すべての地区で「家庭」の割合が最も高く9割以上となっている。西大芦では「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」も同率で最も高い。

(上段:件数、下段:%)

	全体	家庭	地域	学校、 認定こども園・ 幼稚園・ 保育園・	わからない	その他	無回答	
全体	1,859 100.0	1,850 99.5	676 36.4	1,324 71.2	0 0.0	13 0.7	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	738 99.5	245 33.0	548 73.9	0 0.0	8 1.1	0 0.0
	板荷	29 100.0	29 100.0	15 51.7	25 86.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西大芦	14 100.0	13 92.9	8 57.1	13 92.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	23 100.0	7 30.4	16 69.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	156 100.0	56 35.9	111 71.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	南摩	37 100.0	36 97.3	12 32.4	20 54.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	89 100.0	37 41.6	58 65.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東大芦	28 100.0	28 100.0	13 46.4	19 67.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	161 98.8	68 41.7	119 73.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0
	北押原	188 100.0	188 100.0	63 33.5	126 67.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0
	東部台	183 100.0	182 99.5	59 32.2	131 71.6	0 0.0	3 1.6	0 0.0
	粟野	30 100.0	30 100.0	11 36.7	22 73.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	15 100.0	6 40.0	12 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	11 100.0	3 27.3	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	31 100.0	13 41.9	22 71.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	116 100.0	59 50.9	72 62.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0

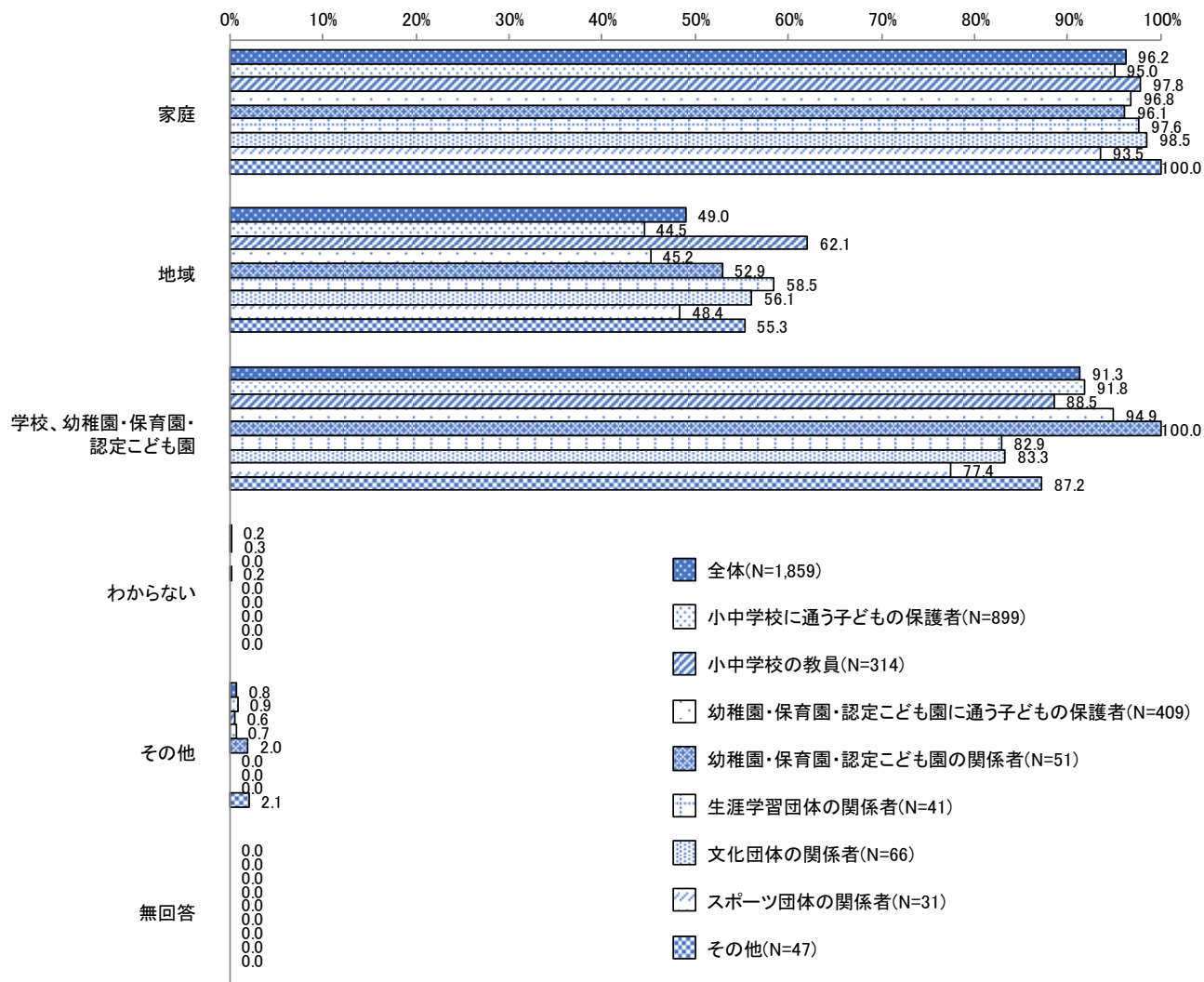
**Q8 他人を思いやるなどの豊かな心は、どこで身につけるべきだと思いますか。【複数選択可】**

「家庭」が96.2%と最も高く、次いで「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」が91.3%、「地域」が49.0%となっている。



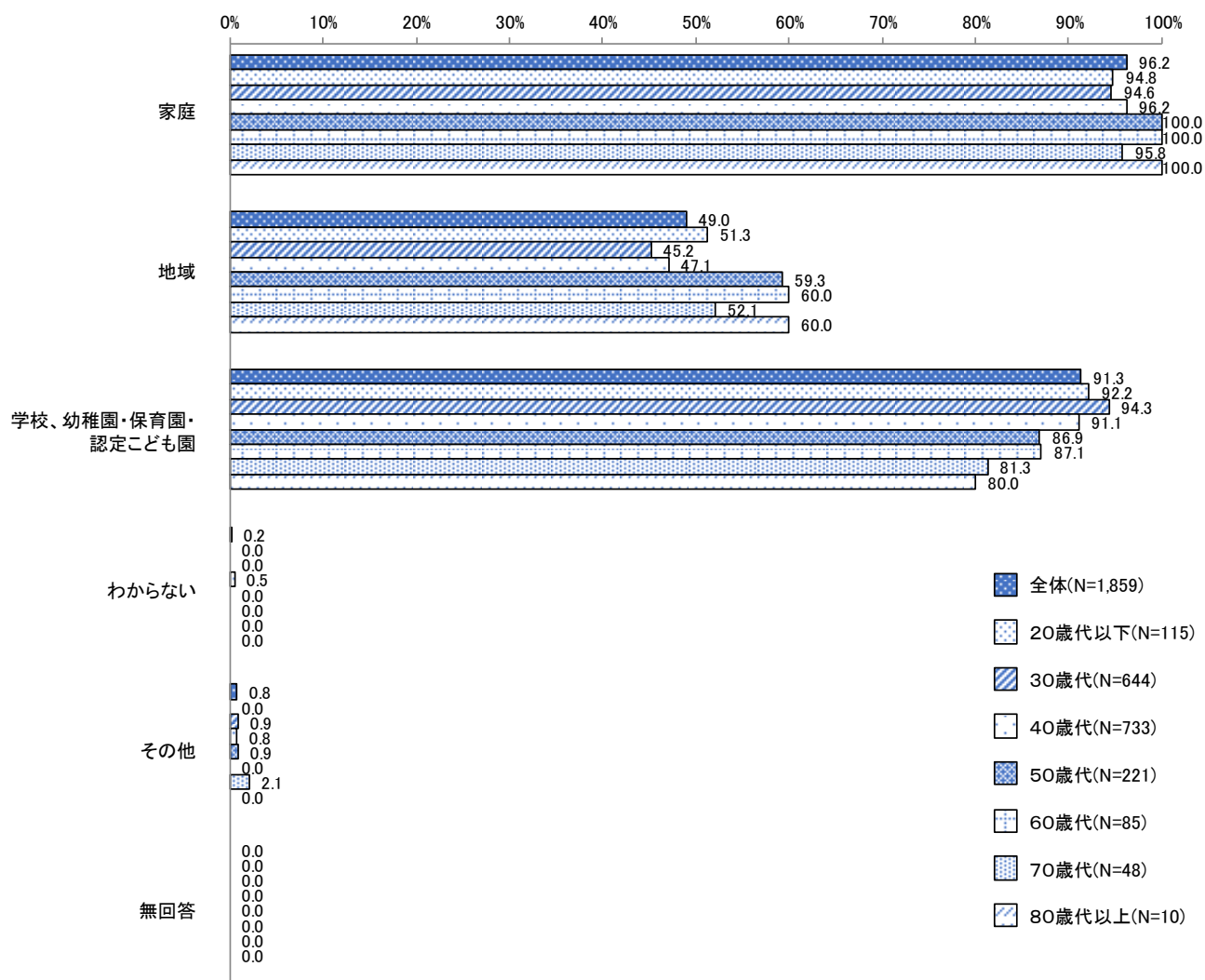
## 【関係性別】

関係性別にみると、すべての関係性で「家庭」の割合が最も高く、9割以上となっている。小中学校の教員では「地域」の割合が62.1%と他の関係性と比べて高くなっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「家庭」の割合が最も高く、9割以上となっている。50歳代、60歳代及び80歳代以上では「地域」が6割前後となっており、他の年代と比べて高くなっている。



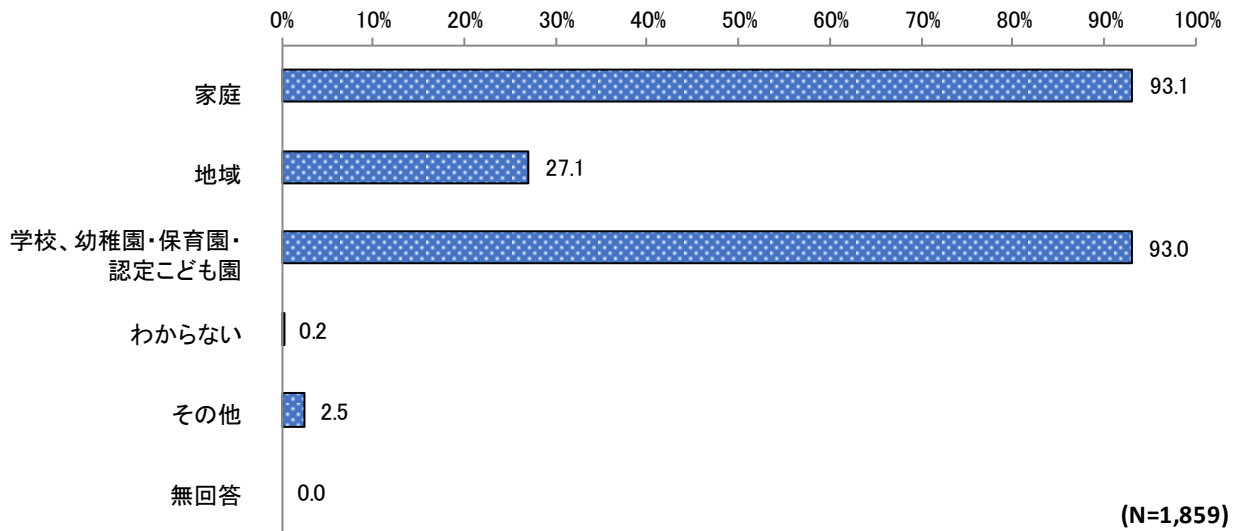
### 【居住地区別】

居住地区別にみると、西大芦を除いたすべての地区で「家庭」の割合が最も高く9割以上となっており、加蘇、南摩及び清洲では全員が回答している。粟野及び粕尾では「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」も同率で最も高い。西大芦では「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」が100%と最も高くなっている。

		(上段:件数、下段:%)						
	全体	家庭	地域	学校、 認定こども園・ 幼稚園・ 保育園・	わからない	その他	無回答	
全体	1,859 100.0	1,788 96.2	910 49.0	1,697 91.3	4 0.2	15 0.8	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	709 95.6	350 47.2	675 91.0	2 0.3	6 0.8	0 0.0
	板荷	29 100.0	28 96.6	19 65.5	26 89.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西大芦	14 100.0	13 92.9	8 57.1	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	23 100.0	11 47.8	20 87.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	150 96.2	75 48.1	142 91.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0
	南摩	37 100.0	37 100.0	24 64.9	33 89.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	85 95.5	36 40.4	79 88.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東大芦	28 100.0	27 96.4	15 53.6	25 89.3	0 0.0	1 3.6	0 0.0
	菊沢	163 100.0	156 95.7	89 54.6	148 90.8	0 0.0	1 0.6	0 0.0
	北押原	188 100.0	185 98.4	80 42.6	175 93.1	1 0.5	2 1.1	0 0.0
	東部台	183 100.0	174 95.1	72 39.3	171 93.4	0 0.0	4 2.2	0 0.0
	粟野	30 100.0	29 96.7	19 63.3	29 96.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	14 93.3	10 66.7	14 93.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	10 90.9	8 72.7	9 81.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	31 100.0	14 45.2	30 96.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	113 97.4	79 68.1	103 88.8	0 0.0	1 0.9	0 0.0

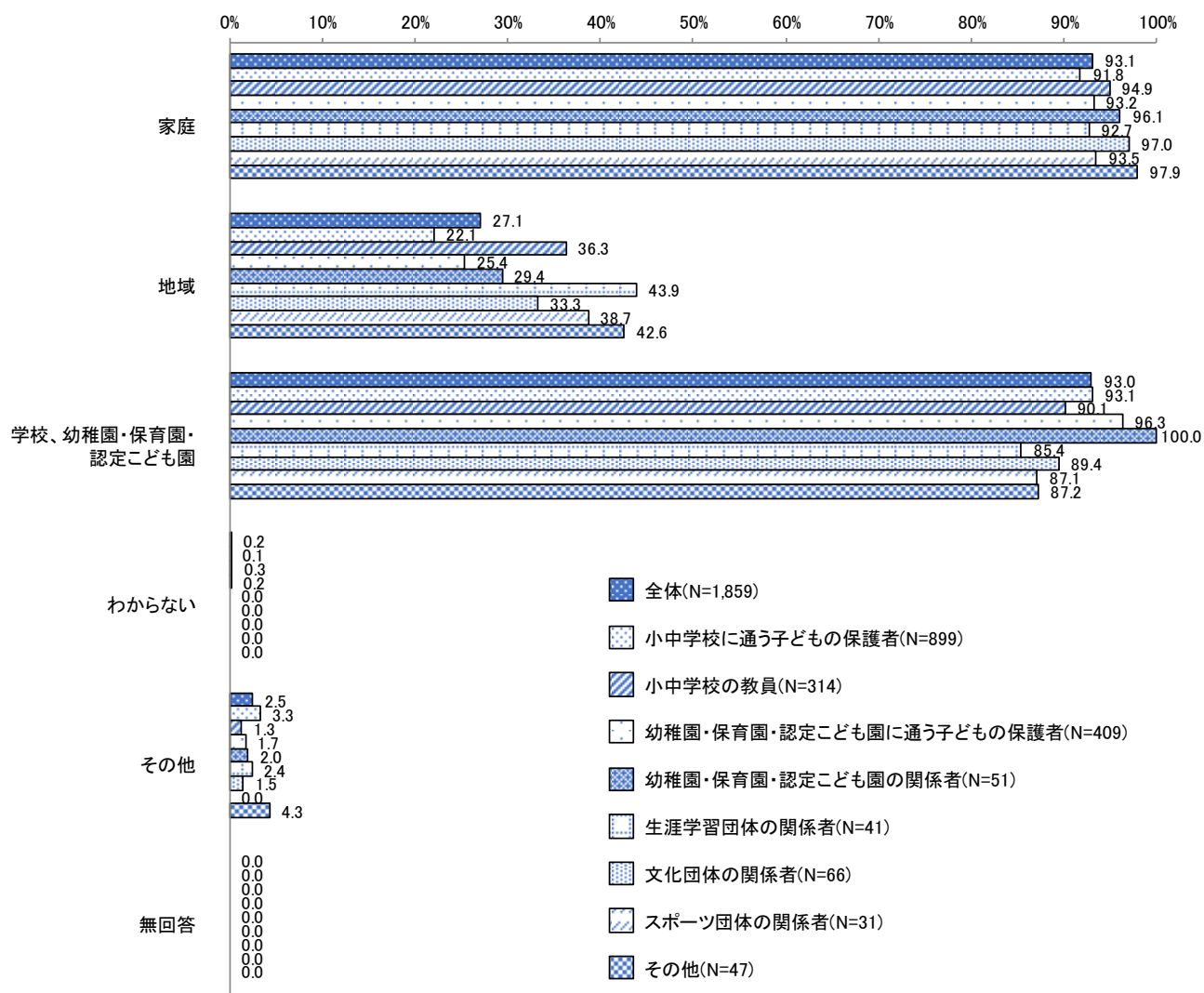
**Q9 忍耐力、我慢すること、諦めない心は、どこで身につけるべきだと思いますか。【複数選択可】**

「家庭」及び「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」がともに93%台と高く、次いで「地域」が27.1%となっている。



### 【関係性別】

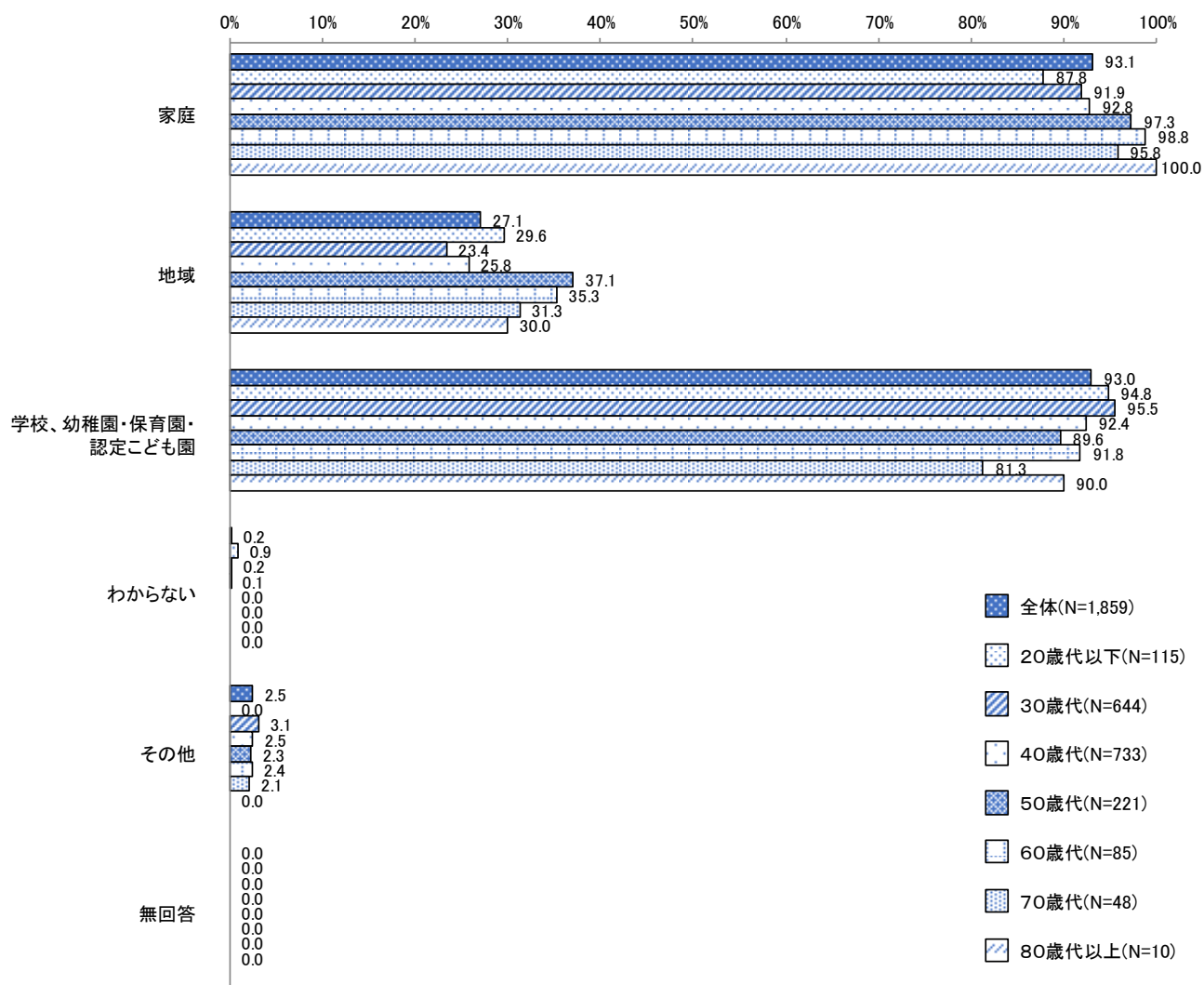
関係性別にみると、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者を除いたすべての関係性で「家庭」の割合が最も高く、9割以上となっている。小中学校に通う子どもの保護者、小中学校の教員、幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者及び幼稚園・保育園・認定こども園の関係者では「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」の割合も9割を超えており、他の関係性と比べて高くなっている。





### 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代以下では「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」の割合が最も高く、40歳代以上では「家庭」の割合が最も高くなっている。一方、70歳代では「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」が81.3%と他の年代と比べて低くなっている。



【居住地区別】

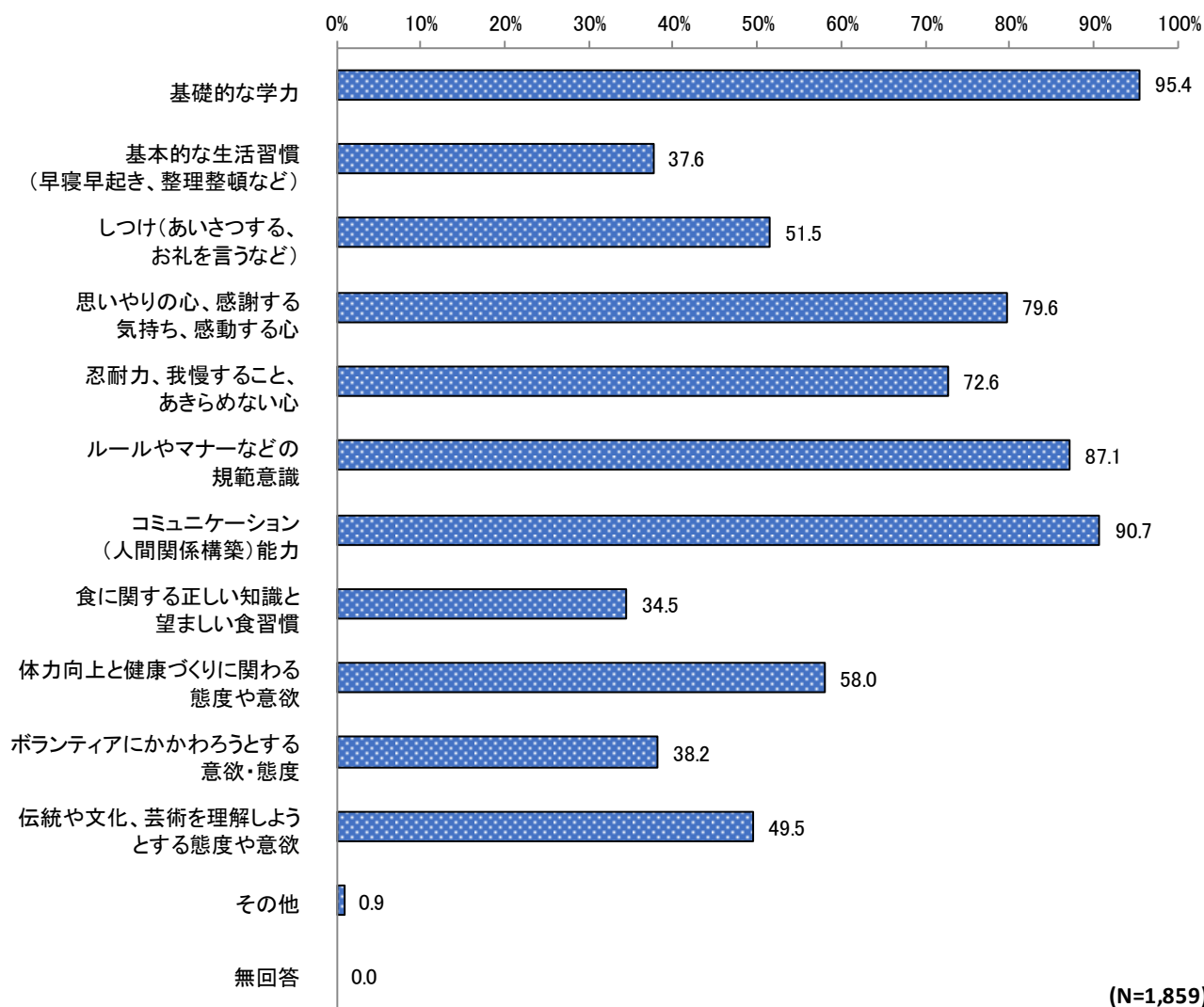
居住地区別にみると、すべての地区で「家庭」または「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」の割合が最も高く、9割前後となっている。東大芦では「地域」の割合が46.4%と他の地区と比べて高くなっている。

		(上段:件数、下段:%)						
		全体	家庭	地域	学校、幼稚園・保育園・認定こども園	わからない	その他	無回答
全体		1,859 100.0	1,730 93.1	504 27.1	1,728 93.0	3 0.2	46 2.5	0 0.0
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	688 92.7	196 26.4	693 93.4	1 0.1	18 2.4	0 0.0
	板荷	29 100.0	27 93.1	8 27.6	27 93.1	0 0.0	1 3.4	0 0.0
	西大芦	14 100.0	11 78.6	5 35.7	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	20 87.0	7 30.4	19 82.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	148 94.9	39 25.0	146 93.6	0 0.0	3 1.9	0 0.0
	南摩	37 100.0	36 97.3	13 35.1	36 97.3	0 0.0	3 8.1	0 0.0
	南押原	89 100.0	82 92.1	18 20.2	80 89.9	0 0.0	3 3.4	0 0.0
	東大芦	28 100.0	27 96.4	13 46.4	26 92.9	0 0.0	1 3.6	0 0.0
	菊沢	163 100.0	151 92.6	55 33.7	154 94.5	0 0.0	2 1.2	0 0.0
	北押原	188 100.0	181 96.3	46 24.5	172 91.5	0 0.0	4 2.1	0 0.0
	東部台	183 100.0	167 91.3	40 21.9	170 92.9	1 0.5	7 3.8	0 0.0
	粟野	30 100.0	29 96.7	10 33.3	28 93.3	0 0.0	1 3.3	0 0.0
	粕尾	15 100.0	13 86.7	3 20.0	14 93.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0
	永野	11 100.0	9 81.8	3 27.3	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	29 93.5	7 22.6	29 93.5	0 0.0	1 3.2	0 0.0
	市外	116 100.0	109 94.0	41 35.3	105 90.5	1 0.9	1 0.9	0 0.0

## 2-4 学校教育について

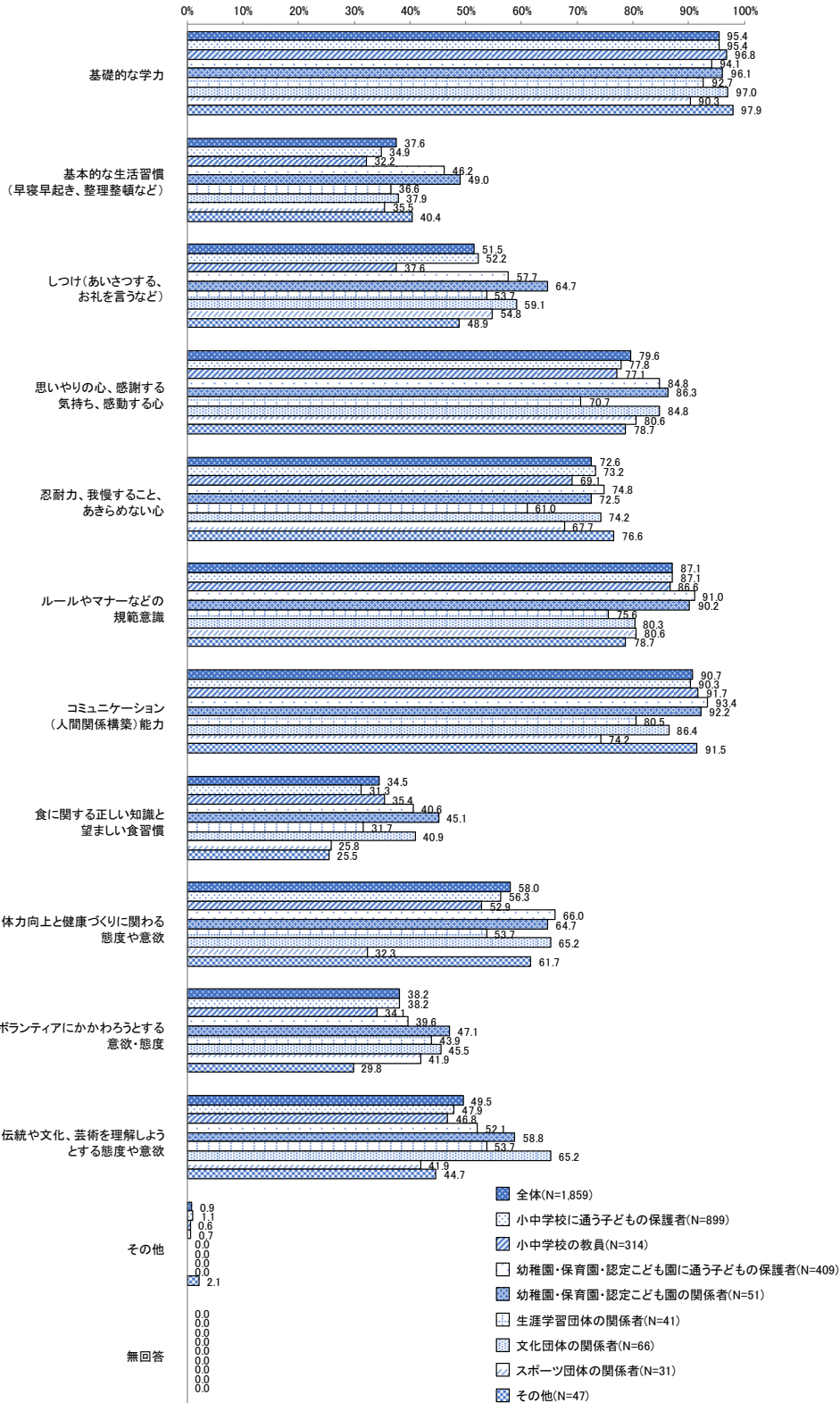
Q10 学校では、何を子どもに身につけさせるべきだと思いますか。【複数選択可】

「基礎的な学力」が95.4%と最も高く、次いで「コミュニケーション（人間関係構築）能力」が90.7%、「ルールやマナーなどの規範意識」が87.1%となっている。



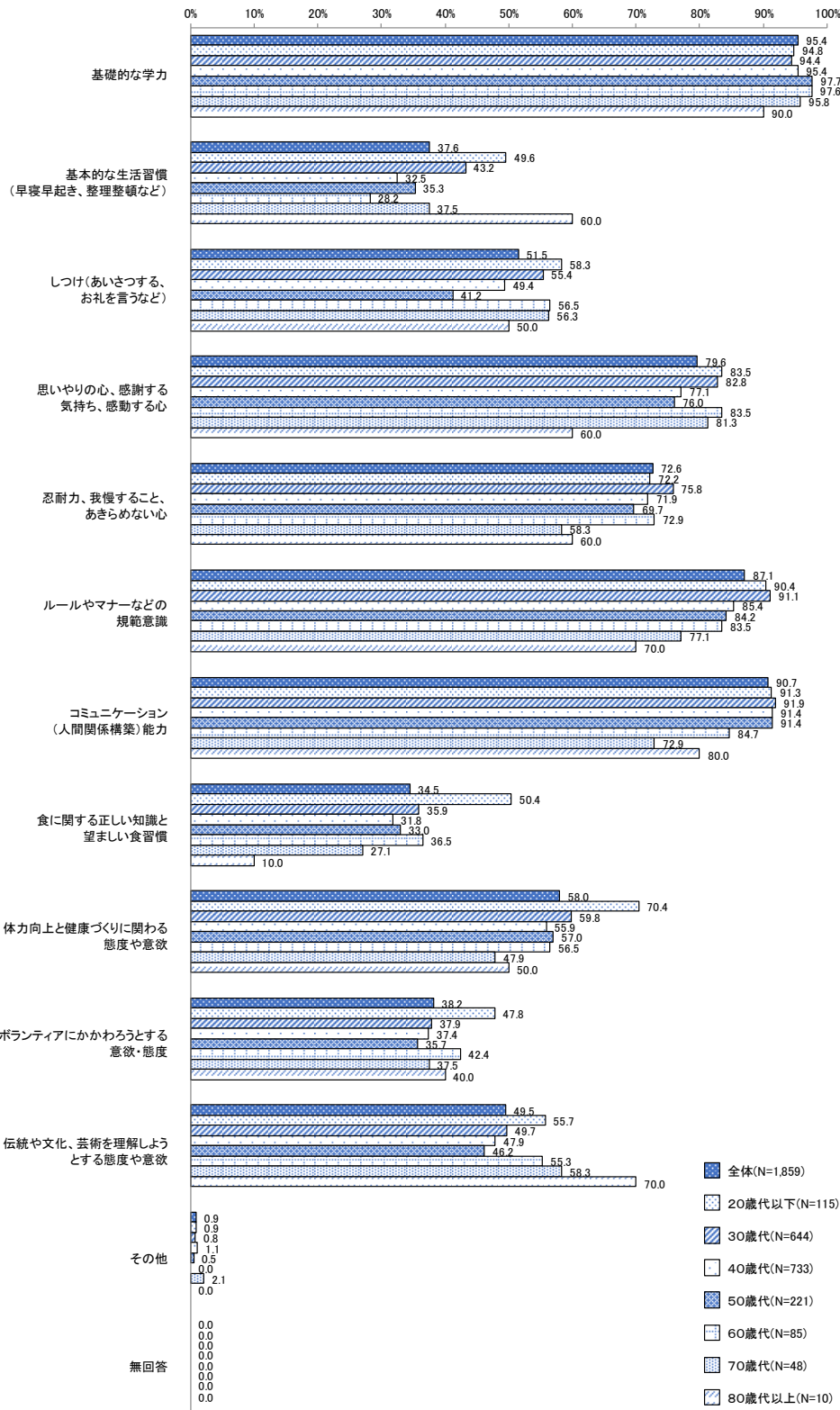
## 【関係性別】

関係性別にみると、すべての関係性で「基礎的な学力」の割合が最も高く、9割以上となっている。幼稚園・保育園・認定こども園の関係者では「しつけ（あいさつする、お礼を言うなど）」の割合が64.7%と他の関係性と比べて高くなっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「基礎的な学力」の割合が最も高く、9割台となっている。20歳代以下では「体力向上と健康づくりに関わる態度や意欲」が70.4%と他の年代と比べて高くなっている。



【居住地区別】

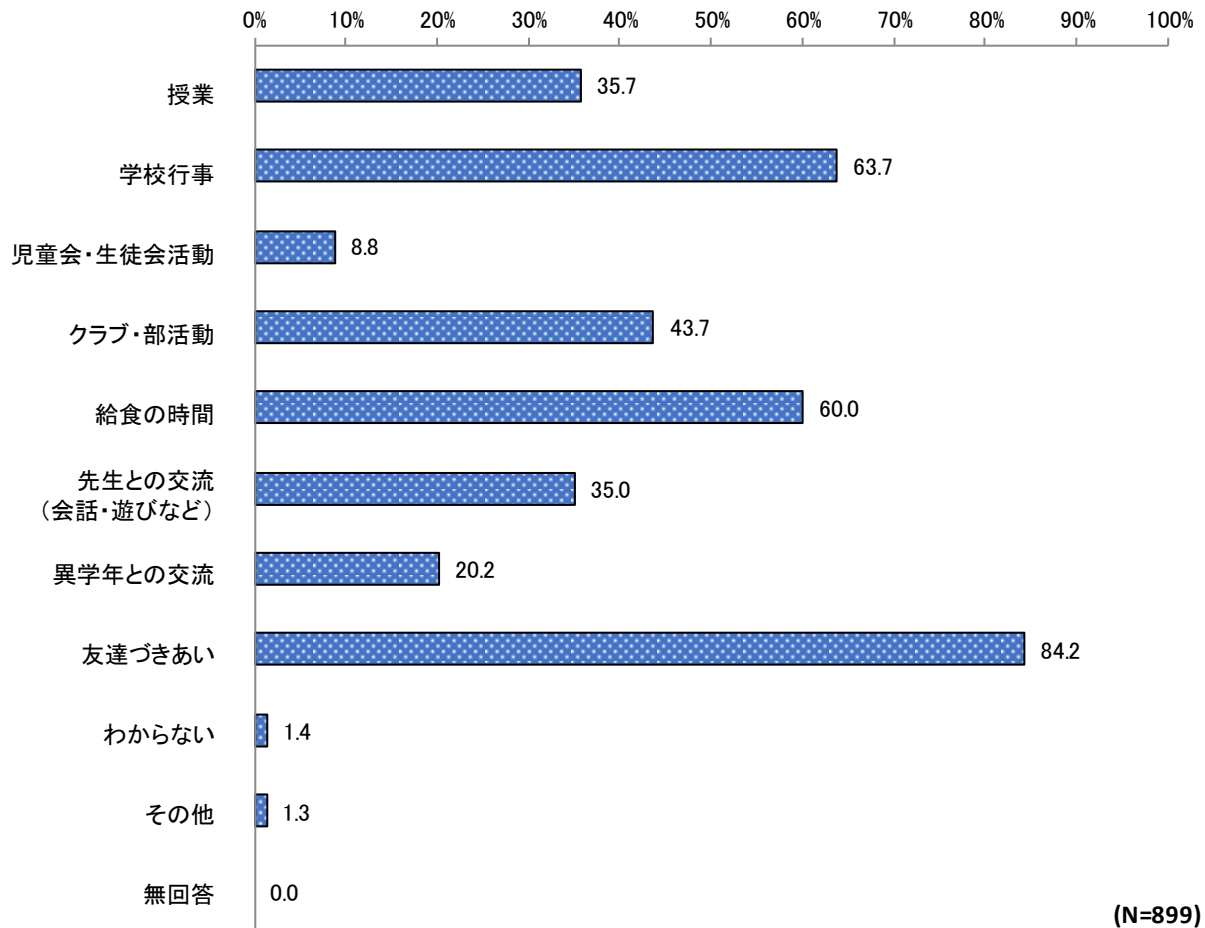
居住地区別にみると、すべての地区で「基礎的な学力」の割合が最も高く、9割以上となっている。永野では「ルールやマナーなどの規範意識」も同率で最も高い。加蘇では「忍耐力、我慢すること、あきらめない心」の割合が82.6%、西大芦では「しつけ（あいさつする、お礼を言うなど）」の割合が71.4%と他の地区と比べて高くなっている。

(上段:件数、下段:%)

	全体	基礎的な学力	早起き、整理整頓など	基本的な生活習慣(早寝)	しつけ(あいさつする、お礼を言うなど)	思いやりの心、感謝する気持ち、感動する心	忍耐力、我慢すること、あきらめない心	規範意識	ルールやマナーなどの規範意識	コミュニケーション(人間関係構築)能力	食に関する正しい知識と望ましい食習慣	体力向上と健康づくりに関わる態度や意欲	ボランティアにかかわる意欲・態度	伝統や文化、芸術や意欲	その他	無回答
全体	1,859 100.0	1,773 95.4	699 37.6	958 51.5	1,480 79.6	1,349 72.6	1,620 87.1	1,686 90.7	641 34.5	1,079 58.0	711 38.2	920 49.5	16 0.9	0 0.0		
居住地区	まちなか3地区(中央・東部・北部)	742 100.0	707 95.3	294 39.6	398 53.6	604 81.4	541 72.9	652 87.9	676 91.1	260 35.0	446 60.1	286 38.5	370 49.9	8 1.1	0 0.0	
	板荷	29 100.0	28 96.6	8 27.6	13 44.8	22 75.9	23 79.3	26 89.7	27 93.1	10 34.5	22 75.9	15 51.7	18 62.1	0 0.0	0 0.0	
	西大芦	14 100.0	14 100.0	8 57.1	10 71.4	11 78.6	11 78.6	13 92.9	11 78.6	7 50.0	9 64.3	6 42.9	8 57.1	0 0.0	0 0.0	
	加蘇	23 100.0	23 100.0	10 43.5	14 60.9	21 91.3	19 82.6	21 91.3	21 91.3	10 43.5	14 60.9	10 43.5	15 65.2	0 0.0	0 0.0	
	北犬飼	156 100.0	147 94.2	60 38.5	79 50.6	119 76.3	106 67.9	134 85.9	134 85.9	55 35.3	88 56.4	70 44.9	80 51.3	2 1.3	0 0.0	
	南摩	37 100.0	37 100.0	15 40.5	19 51.4	28 75.7	26 70.3	35 94.6	32 86.5	16 43.2	21 56.8	13 35.1	21 56.8	0 0.0	0 0.0	
	南押原	89 100.0	85 95.5	32 36.0	45 50.6	69 77.5	72 80.9	69 77.5	82 92.1	31 34.8	49 55.1	33 37.1	37 41.6	1 1.1	0 0.0	
	東大芦	28 100.0	28 100.0	11 39.3	14 50.0	23 82.1	19 67.9	25 89.3	27 96.4	9 32.1	17 60.7	9 32.1	14 50.0	0 0.0	0 0.0	
	菊沢	163 100.0	152 93.3	55 33.7	83 50.9	126 77.3	124 76.1	144 88.3	146 89.6	50 30.7	92 56.4	61 37.4	80 49.1	1 0.6	0 0.0	
	北押原	188 100.0	179 95.2	73 38.8	96 51.1	150 79.8	131 69.7	165 87.8	174 92.6	69 36.7	108 57.4	77 41.0	92 48.9	2 1.1	0 0.0	
	東部台	183 100.0	175 95.6	58 31.7	94 51.4	138 75.4	125 68.3	153 83.6	169 92.3	51 27.9	87 47.5	63 34.4	84 45.9	1 0.5	0 0.0	
	粟野	30 100.0	30 100.0	9 30.0	14 46.7	24 80.0	21 70.0	25 83.3	26 86.7	9 30.0	17 56.7	6 20.0	12 40.0	0 0.0	0 0.0	
	粕尾	15 100.0	14 93.3	6 40.0	8 53.3	12 80.0	8 53.3	13 86.7	13 86.7	3 20.0	7 46.7	5 33.3	7 46.7	0 0.0	0 0.0	
	永野	11 100.0	11 100.0	4 36.4	5 45.5	10 90.9	8 72.7	11 100.0	10 90.9	6 54.5	9 81.8	7 63.6	10 90.9	0 0.0	0 0.0	
	清洲	31 100.0	30 96.6	15 48.4	14 45.2	27 87.1	23 74.2	27 87.1	29 93.5	11 35.5	21 67.7	8 25.8	11 35.5	0 0.0	0 0.0	
	市外	116 100.0	110 94.8	41 35.3	51 44.0	94 81.0	91 78.4	104 89.7	106 91.4	43 37.1	71 61.2	42 36.2	61 52.6	1 0.9	0 0.0	

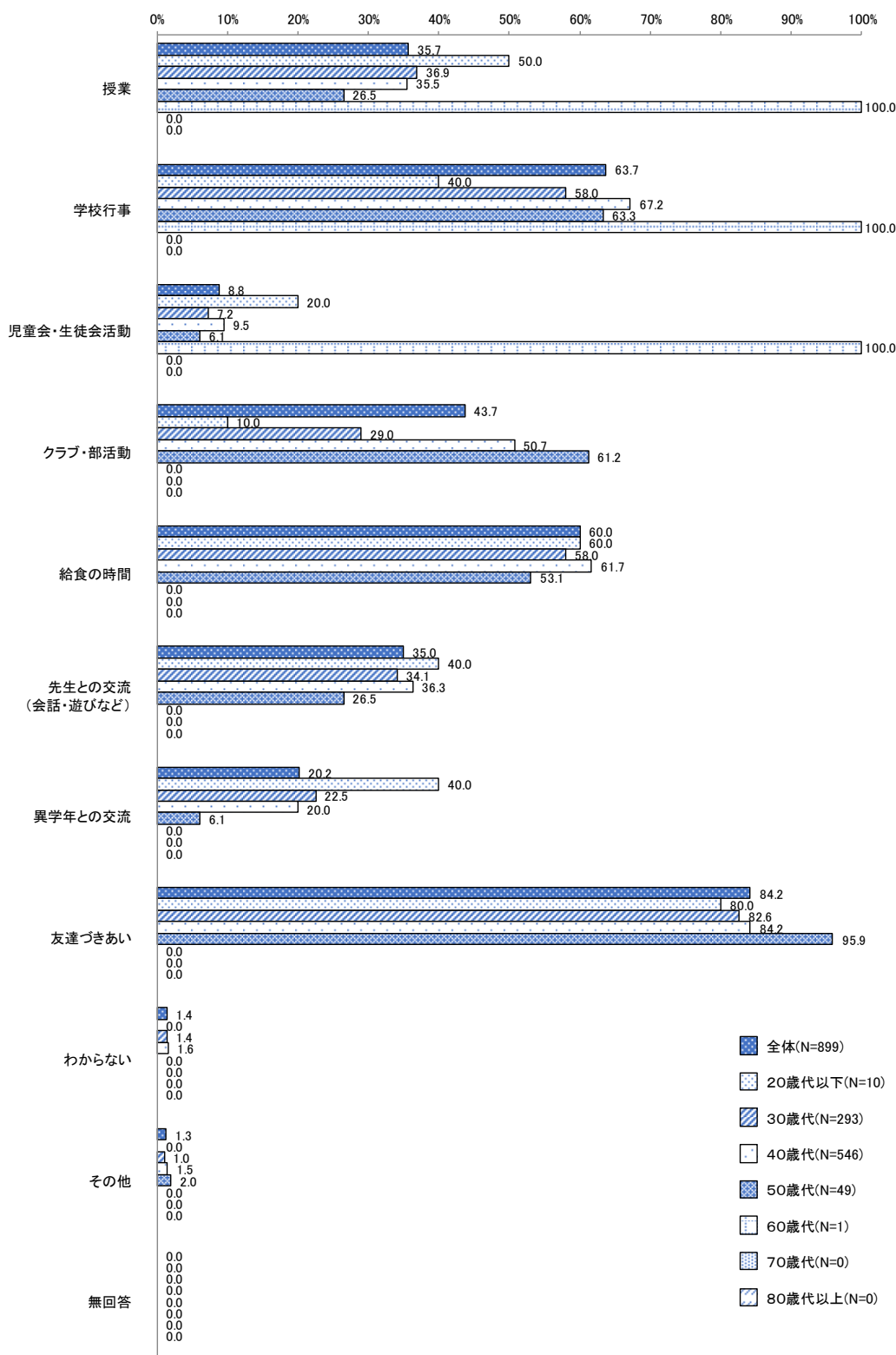
Q11 お子さんが学校で楽しみにしていることは何ですか。【複数選択可】

「友達つきあい」が84.2%と最も高く、次いで「学校行事」が63.7%、「給食の時間」が60.0%となっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「友達つきあい」の割合が最も高く、8割以上となっている。50歳代では「クラブ・部活動」の割合が61.2%と他の年代と比べて高くなっている。





【居住地区別】

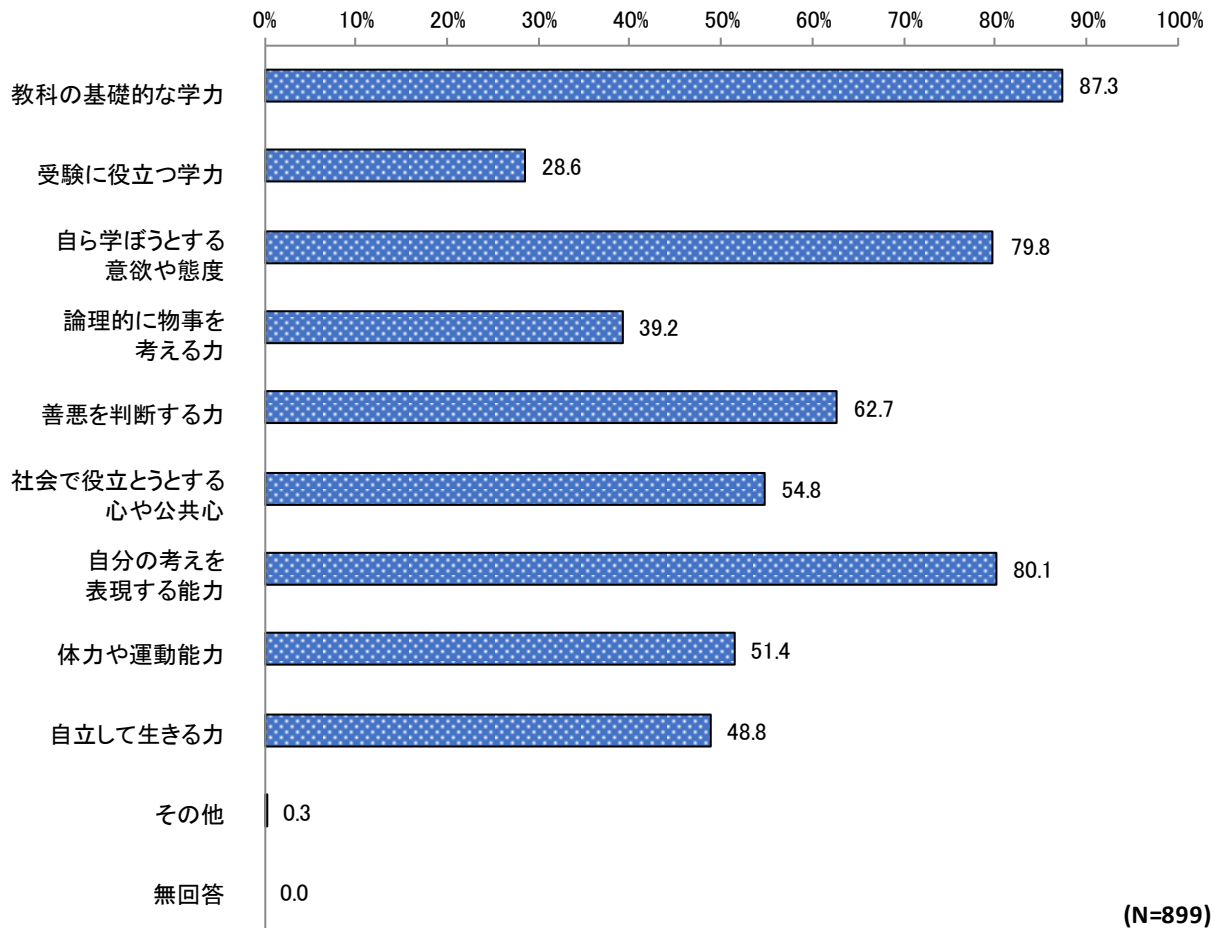
居住地区別にみると、板荷を除いたすべての地区で「友達つきあい」の割合が最も高くなっている。  
板荷では「給食の時間」の割合が82.4%で最も高くなっている。

(上段:件数、下段:%)

	全体	授業	学校行事	児童会・生徒会活動	クラブ・部活動	給食の時間	遊びなどの交流（会話・	異学年との交流	友達つきあい	わからない	その他	無回答	
全体	899 100.0	321 35.7	573 63.7	79 8.8	393 43.7	539 60.0	315 35.0	182 20.2	757 84.2	13 1.4	12 1.3	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	352 100.0	120 34.1	222 63.1	29 8.2	143 40.6	203 57.7	135 38.4	67 19.0	295 83.8	7 2.0	4 1.1	0 0.0
	板荷	17 100.0	6 35.3	12 70.6	2 11.8	10 58.8	14 82.4	6 35.3	6 35.3	9 52.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0
	西大芦	7 100.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3	6 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	加蘇	15 100.0	6 40.0	10 66.7	1 6.7	5 33.3	9 60.0	5 33.3	4 26.7	13 86.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	84 100.0	26 31.0	46 54.8	9 10.7	30 35.7	56 66.7	24 28.6	18 21.4	71 84.5	2 2.4	1 1.2	0 0.0
	南摩	20 100.0	10 50.0	9 45.0	4 20.0	6 30.0	15 75.0	8 40.0	9 45.0	19 95.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	南押原	54 100.0	13 24.1	37 68.5	4 7.4	29 53.7	32 59.3	18 33.3	11 20.4	47 87.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東大芦	13 100.0	6 46.2	7 53.8	0 0.0	4 30.8	6 46.2	3 23.1	2 15.4	11 84.6	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	菊沢	81 100.0	38 46.9	55 67.9	6 7.4	42 51.9	49 60.5	30 37.0	17 21.0	67 82.7	0 0.0	3 3.7	0 0.0
	北押原	101 100.0	34 33.7	62 61.4	8 7.9	49 48.5	63 62.4	32 31.7	19 18.8	85 84.2	2 2.0	2 2.0	0 0.0
	東部台	112 100.0	44 39.3	76 67.9	9 8.0	47 42.0	64 57.1	39 34.8	16 14.3	95 84.8	1 0.9	0 0.0	0 0.0
	粟野	12 100.0	3 25.0	11 91.7	0 0.0	7 58.3	6 50.0	3 25.0	3 25.0	11 91.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	粕尾	5 100.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	永野	6 100.0	4 66.7	6 100.0	1 16.7	5 83.3	5 83.3	3 50.0	2 33.3	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	清洲	15 100.0	7 46.7	10 66.7	4 26.7	11 73.3	8 53.3	5 33.3	4 26.7	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	市外	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

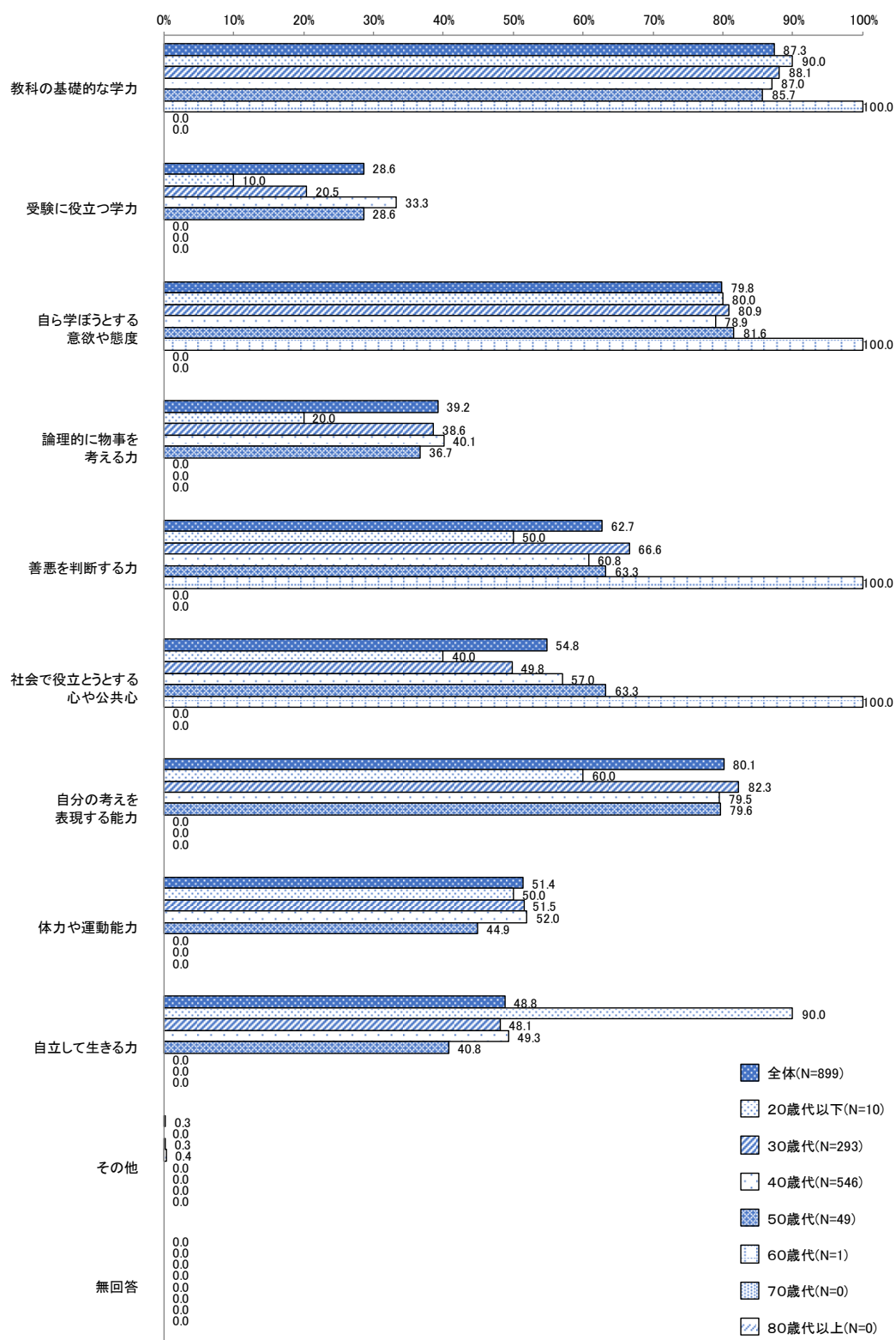
Q12 お子さんが、学校でどんな能力や態度を身につけてほしいと思いますか。【複数選択可】

「教科の基礎的な学力」が87.3%と最も高く、次いで「自分の考えを表現する能力」が80.1%、「自ら学ぼうとする意欲や態度」が79.8%となっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、すべての年代で「教科の基礎的な学力」の割合が最も高く、8割以上となっている。20歳代以下では「自立して生きる力」の割合が90.0%と他の年代と比べて高くなっている。



【居住地区別】

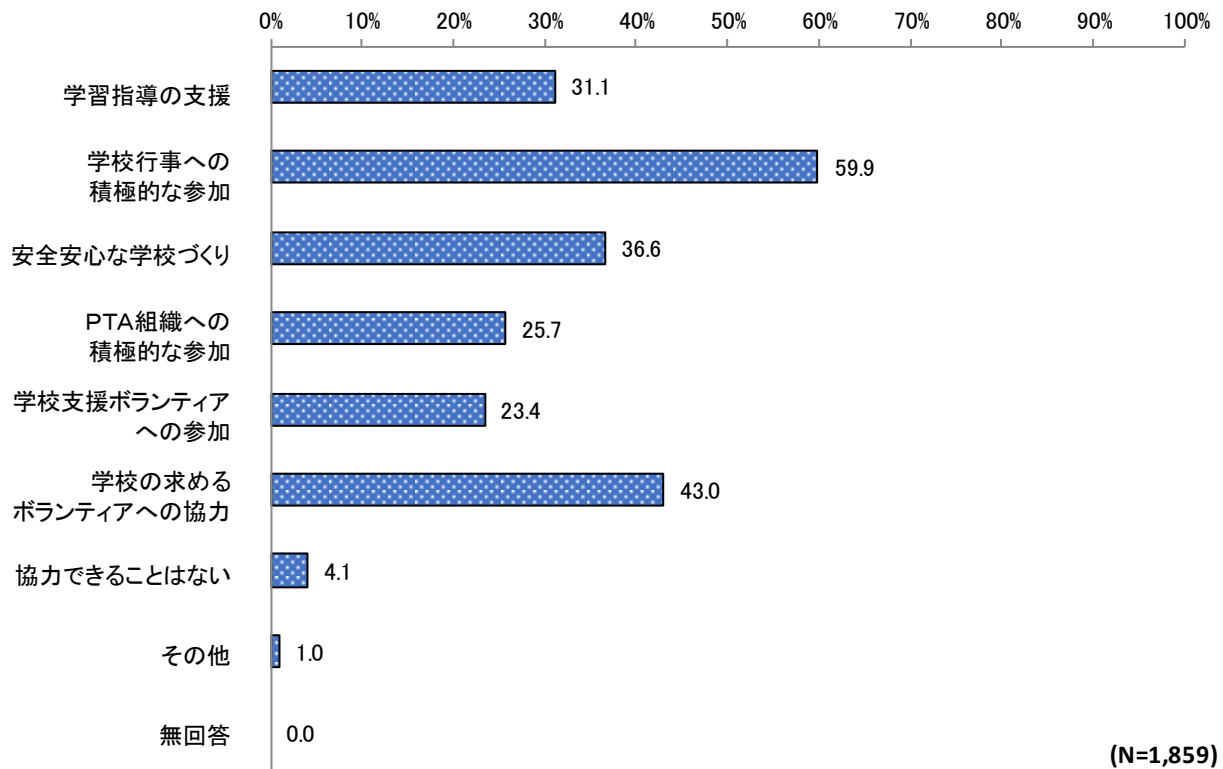
居住地区別にみると、北押原、栗野を除いたすべての地区で「教科の基礎的な学力」の割合が最も高く、8割以上となっている。北押原、栗野では「自ら学ぼうとする意欲や態度」の割合が、栗野では「自分の考えを表現する能力」も同率で、最も高くなっている。

(上段:件数、下段:%)

	全体	教科の基礎的な学力	受験に役立つ学力	自ら学ぼうとする意欲や態度	論理的に物事を考える力	善悪を判断する力	社会で役立つ心	自分の考えを表現する能力	体力や運動能力	自立して生きる力	その他	無回答	
全体	899 100.0	785 87.3	257 28.6	717 79.8	352 39.2	564 62.7	493 54.8	720 80.1	462 51.4	439 48.8	3 0.3	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	352 100.0	309 87.8	101 28.7	275 78.1	131 37.2	226 64.2	198 56.3	279 79.3	173 49.1	184 52.3	1 0.3	0 0.0
	板荷	17 100.0	14 82.4	1 5.9	13 76.5	8 47.1	8 47.1	9 52.9	13 76.5	14 82.4	6 35.3	0 0.0	0 0.0
	西大芦	7 100.0	6 85.7	1 14.3	7 100.0	2 28.6	4 57.1	2 28.6	5 71.4	4 57.1	2 28.6	0 0.0	0 0.0
	加蘇	15 100.0	14 93.3	7 46.7	13 86.7	4 26.7	9 60.0	8 53.3	11 73.3	8 53.3	8 53.3	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	84 100.0	71 84.5	16 19.0	62 73.8	32 38.1	53 63.1	39 46.4	64 76.2	31 36.9	32 38.1	2 2.4	0 0.0
	南摩	20 100.0	18 90.0	3 15.0	17 85.0	7 35.0	10 50.0	11 55.0	18 90.0	10 50.0	10 50.0	0 0.0	0 0.0
	南押原	54 100.0	45 83.3	19 35.2	45 83.3	19 35.2	36 66.7	28 51.9	44 81.5	28 51.9	27 50.0	0 0.0	0 0.0
	東大芦	13 100.0	11 84.6	6 46.2	11 84.6	8 61.5	8 61.5	8 61.5	11 84.6	4 30.8	4 30.8	0 0.0	0 0.0
	菊沢	81 100.0	72 88.9	25 30.9	67 82.7	35 43.2	50 61.7	50 61.7	65 80.2	53 65.4	42 51.9	0 0.0	0 0.0
	北押原	101 100.0	83 82.2	29 28.7	85 84.2	35 34.7	63 62.4	52 51.5	80 79.2	49 48.5	49 48.5	0 0.0	0 0.0
	東部台	112 100.0	102 91.1	33 29.5	86 76.8	50 44.6	65 58.0	60 53.6	93 83.0	61 54.5	50 44.6	0 0.0	0 0.0
	栗野	12 100.0	10 83.3	4 33.3	11 91.7	5 41.7	10 83.3	6 50.0	11 91.7	7 58.3	5 41.7	0 0.0	0 0.0
	粕尾	5 100.0	5 100.0	2 40.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
	永野	6 100.0	6 100.0	2 33.3	6 100.0	4 66.7	6 100.0	5 83.3	6 100.0	6 100.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0
	清洲	15 100.0	15 100.0	8 53.3	14 93.3	9 60.0	12 80.0	14 93.3	14 93.3	12 80.0	11 73.3	0 0.0	0 0.0
	市外	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0

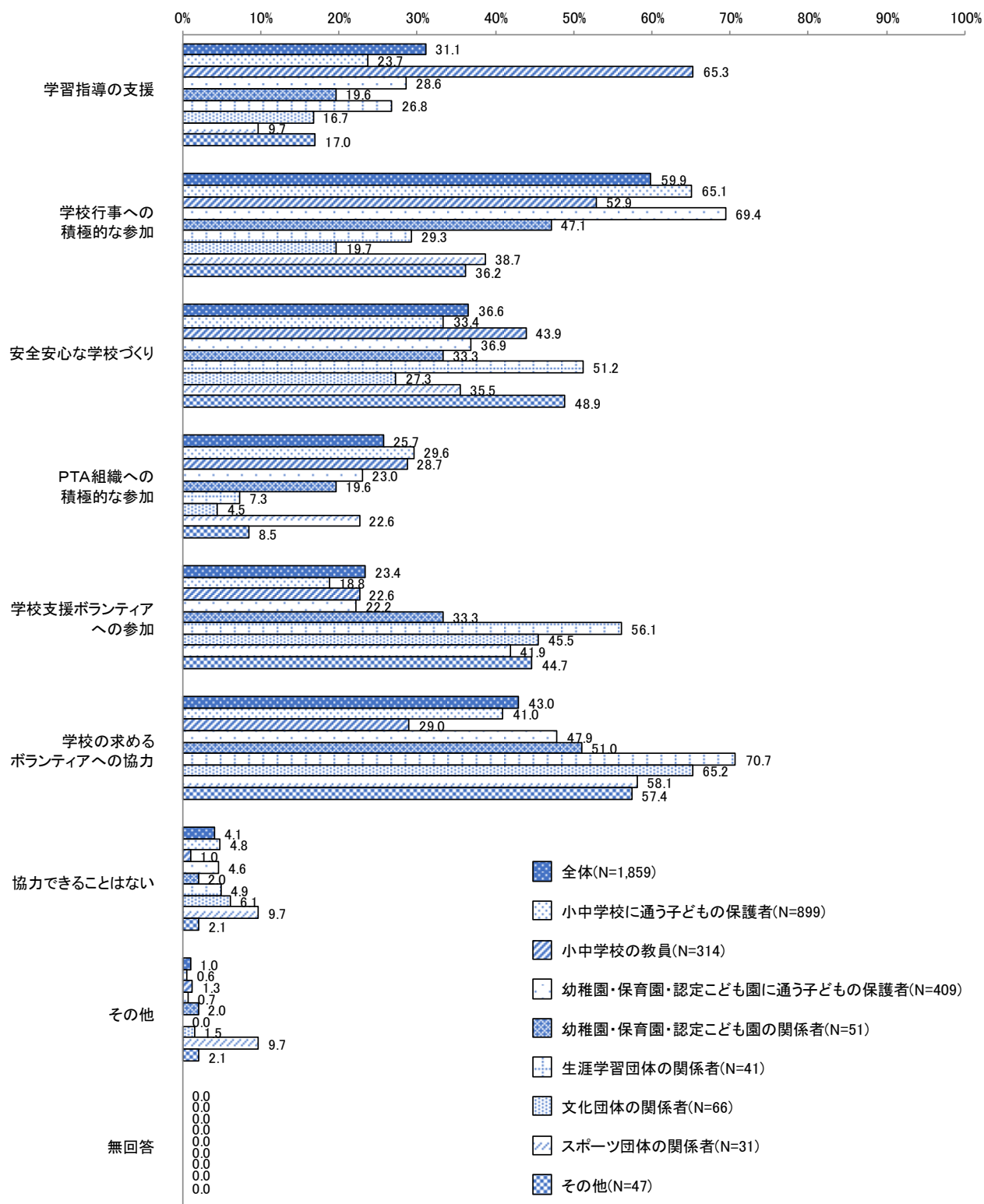
**Q13 あなたは、学校教育にどういふことで協力できると思いますか。【複数選択可】**

「学校行事への積極的な参加」が59.9%と最も高く、次いで「学校の求めるボランティアへの協力」が43.0%、「安全安心な学校づくり」が36.6%となっている。



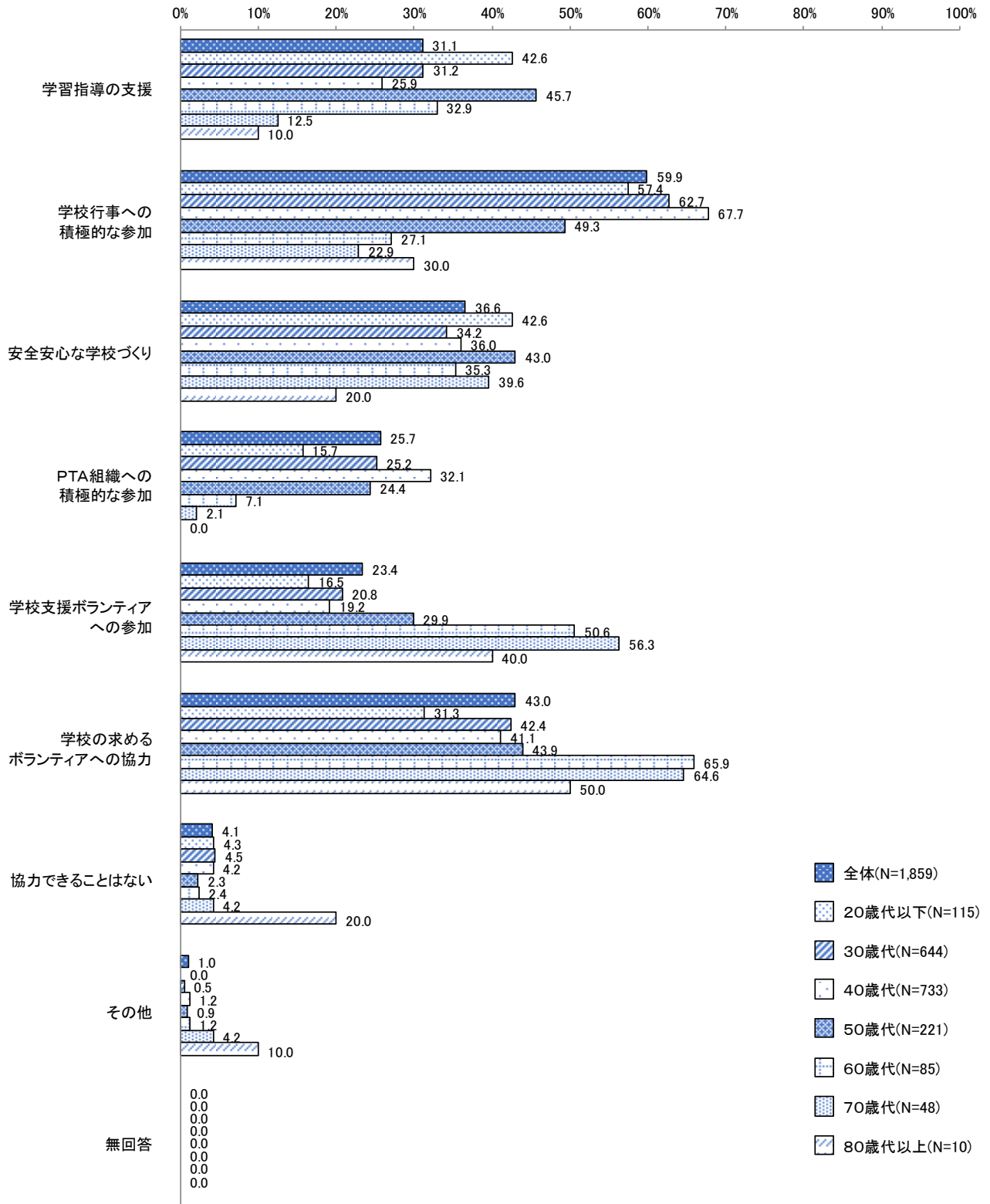
## 【関係性別】

関係性別にみると、小中学校の教員では「学習指導の支援」が65.3%と最も高く、小中学校に通う子どもの保護者及び幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者では「学校行事への積極的な参加」が6割を超え、最も高くなっている。それ以外の関係性では「学校の求めるボランティアへの協力」が最も高くなっており、生涯学習団体の関係者では7割を超えている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以下では「学校行事への積極的な参加」の割合が最も高く、5割弱から7割弱となっている。60歳代以上では「学校の求めるボランティアへの協力」が5割以上と他の年代と比べて高くなっている。



## 【居住地区別】

居住地区別にみると、西大芦、東大芦、市外を除いたすべての地区で「学校行事への積極的な参加」の割合が最も高く5割以上となっており、永野では全員が回答している。西大芦及び東大芦では「学校の求めるボランティアへの協力」の割合が最も高く、市外では「学習指導の支援」の割合が55.2%と最も高くなっている。

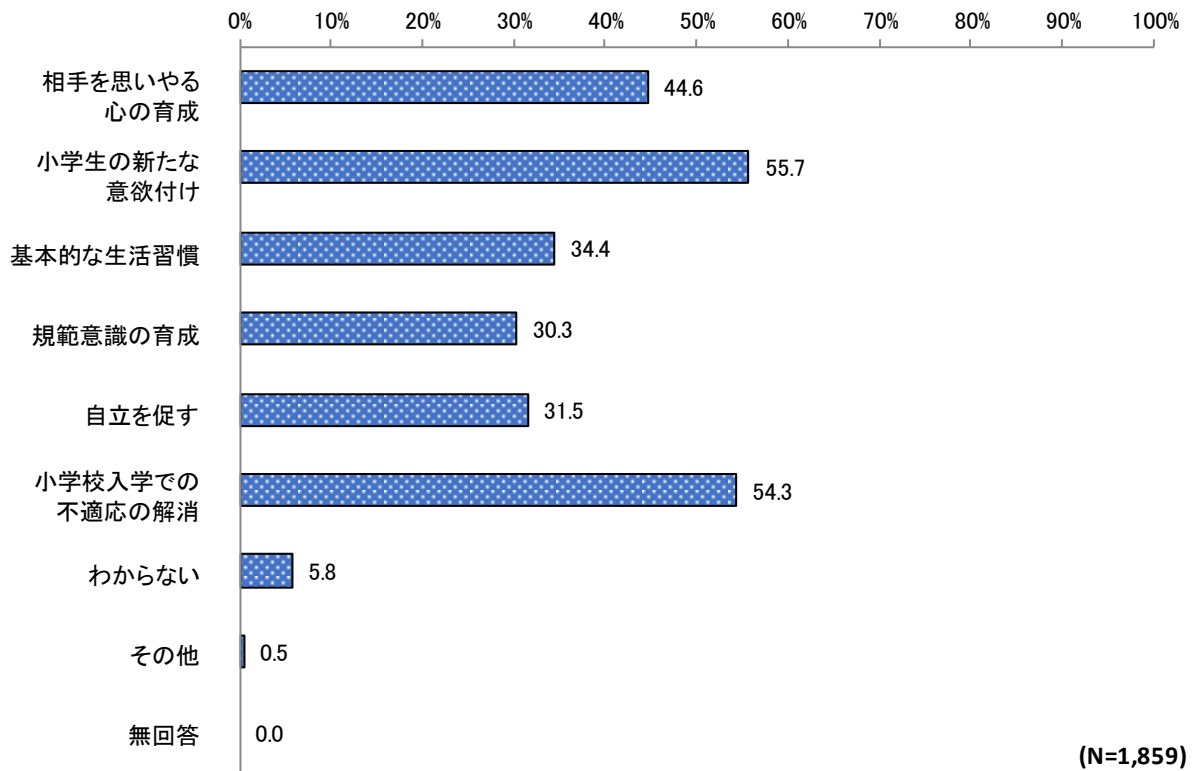
(上段:件数、下段:%)

	全体	学習指導の支援	学校行事への積極的な参加	安全安心な学校づくり	PTA組織への積極的な参加	学校支援ボランティアへの参加	学校の求めるボランティアへの協力	協力できることはない	その他	無回答	
全体	1,859	579	1,113	680	477	435	799	76	18	0	
	100.0	31.1	59.9	36.6	25.7	23.4	43.0	4.1	1.0	0.0	
居住地区	まちなか3地区(中央・東部・北部)	742	238	411	272	145	151	295	35	7	0
		100.0	32.1	55.4	36.7	19.5	20.4	39.8	4.7	0.9	0.0
	板荷	29	7	23	10	18	6	9	0	0	0
		100.0	24.1	79.3	34.5	62.1	20.7	31.0	0.0	0.0	0.0
	西大芦	14	2	7	4	4	4	8	2	0	0
		100.0	14.3	50.0	28.6	28.6	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0
	加蘇	23	7	17	10	10	8	9	0	1	0
		100.0	30.4	73.9	43.5	43.5	34.8	39.1	0.0	4.3	0.0
	北大飼	156	47	99	63	47	42	84	4	1	0
		100.0	30.1	63.5	40.4	30.1	26.9	53.8	2.6	0.6	0.0
	南摩	37	8	25	13	16	11	20	1	0	0
		100.0	21.6	67.6	35.1	43.2	29.7	54.1	2.7	0.0	0.0
	南押原	89	22	62	34	36	25	38	4	1	0
		100.0	24.7	69.7	38.2	40.4	28.1	42.7	4.5	1.1	0.0
	東大芦	28	13	13	6	4	9	14	0	0	0
		100.0	46.4	46.4	21.4	14.3	32.1	50.0	0.0	0.0	0.0
	菊沢	163	55	94	52	38	39	75	9	4	0
	100.0	33.7	57.7	31.9	23.3	23.9	46.0	5.5	2.5	0.0	
北押原	188	47	123	76	53	44	94	6	2	0	
	100.0	25.0	65.4	40.4	28.2	23.4	50.0	3.2	1.1	0.0	
東部台	183	41	117	48	36	40	72	12	1	0	
	100.0	22.4	63.9	26.2	19.7	21.9	39.3	6.6	0.5	0.0	
粟野	30	11	19	13	9	7	9	0	0	0	
	100.0	36.7	63.3	43.3	30.0	23.3	30.0	0.0	0.0	0.0	
粕尾	15	2	9	4	5	7	9	0	0	0	
	100.0	13.3	60.0	26.7	33.3	46.7	60.0	0.0	0.0	0.0	
永野	11	4	11	8	8	6	8	0	0	0	
	100.0	36.4	100.0	72.7	72.7	54.5	72.7	0.0	0.0	0.0	
清洲	31	9	19	13	12	9	14	0	0	0	
	100.0	29.0	61.3	41.9	38.7	29.0	45.2	0.0	0.0	0.0	
市外	116	64	63	53	36	26	41	2	1	0	
	100.0	55.2	54.3	45.7	31.0	22.4	35.3	1.7	0.9	0.0	



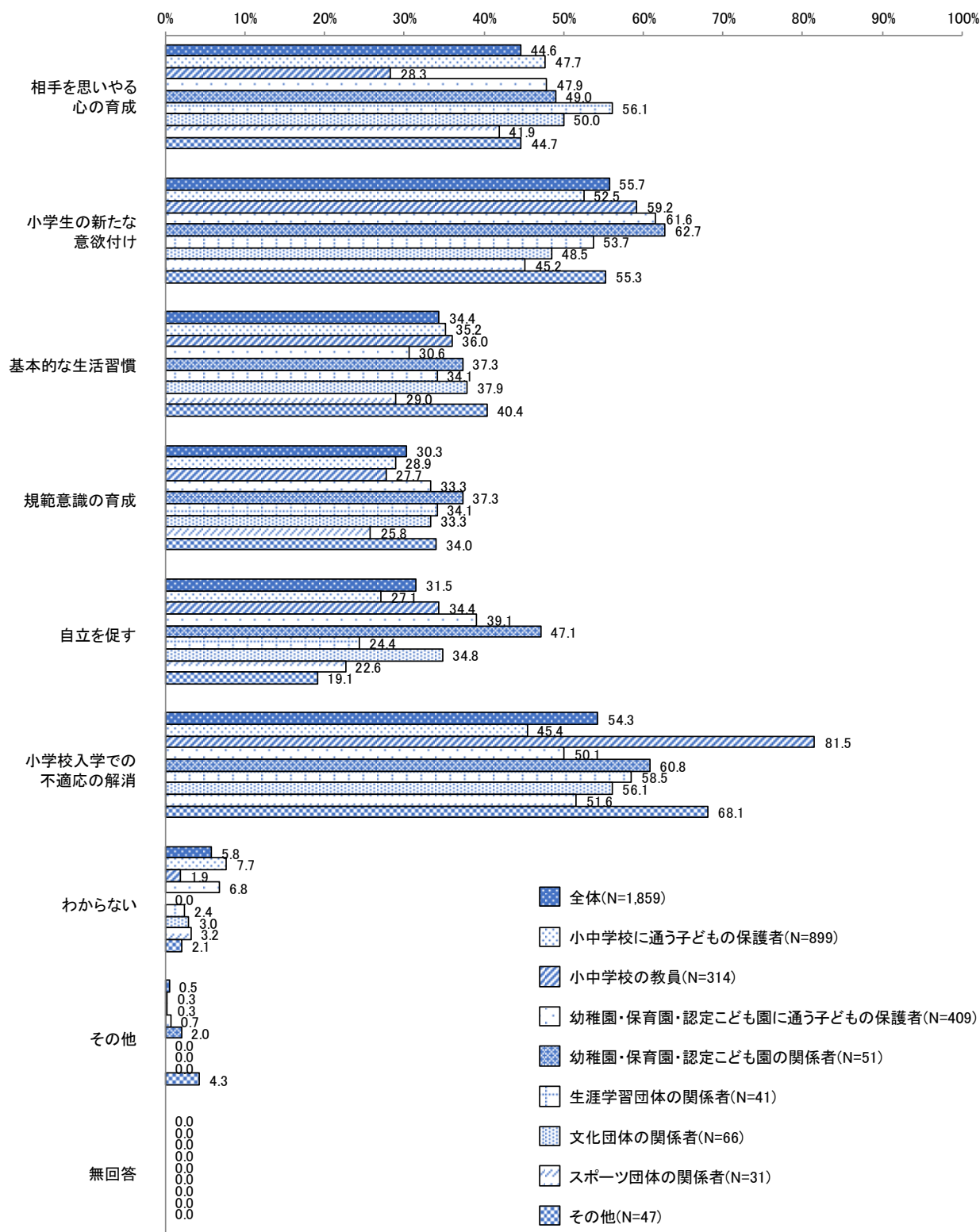
Q14 幼稚園・保育園・認定こども園と小学校が連携することで、どのような効果があると思いますか。  
【複数選択可】

「小学生の新たな意欲付け」が55.7%と最も高く、次いで「小学校入学での不適應の解消」が54.3%、「相手を思いやる心の育成」が44.6%となっている。



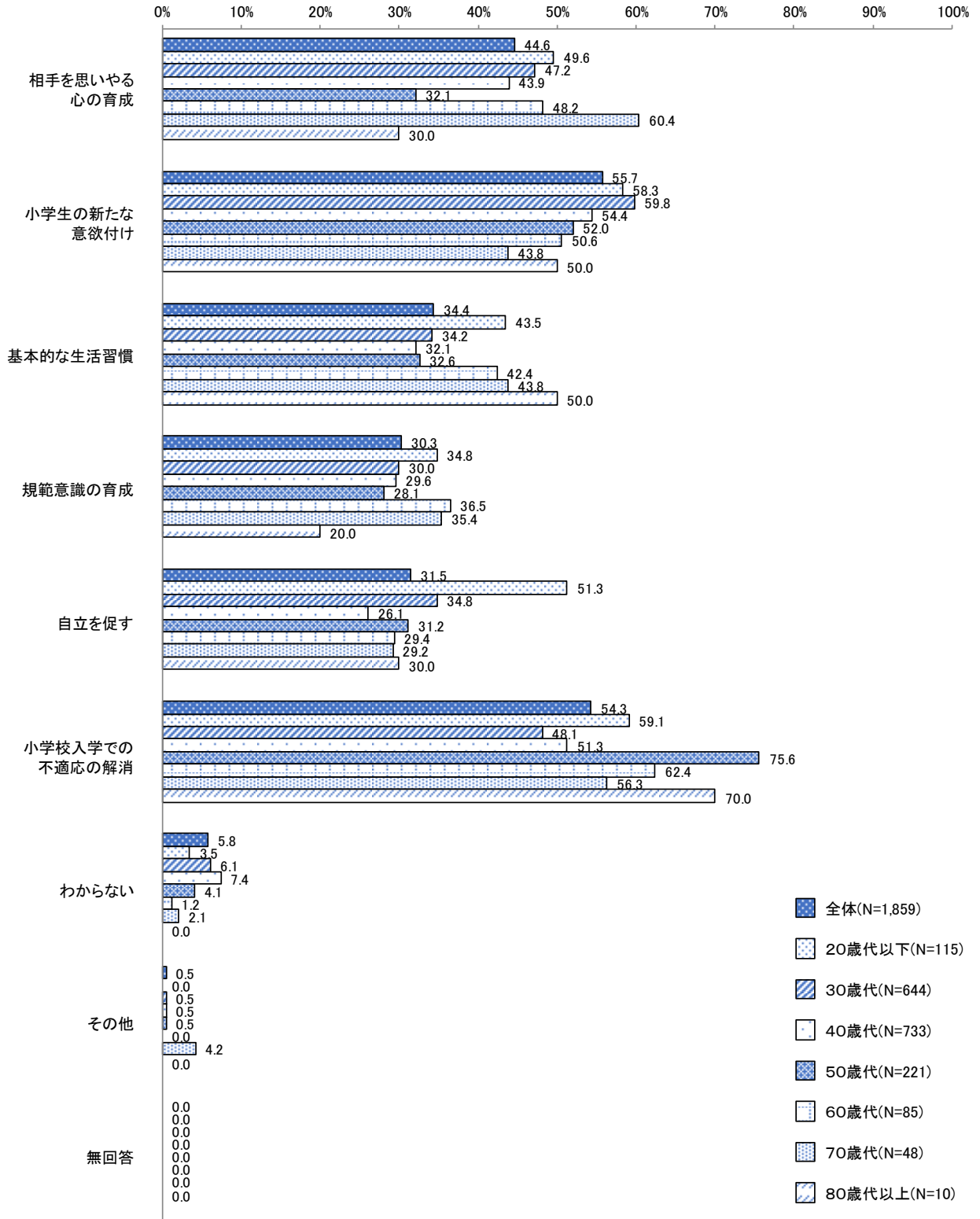
## 【関係性別】

関係性別にみると、小中学校に通う子どもの保護者、幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者及び幼稚園・保育園・認定こども園の関係者で「小学生の新たな意欲付け」の割合が最も高く、5割以上となっている。それ以外の関係性では「小学校入学での不適應の解消」の割合が最も高く、特に小中学校の教員では81.5%と他の関係性と比べて高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳代では「小学校入学での不適応の解消」が75.6%、70歳代では「相手を思いやる心の育成」が60.4%、20歳代以下では「自立を促す」が51.3%と他の関係性と比べて高くなっている。



【居住地区別】

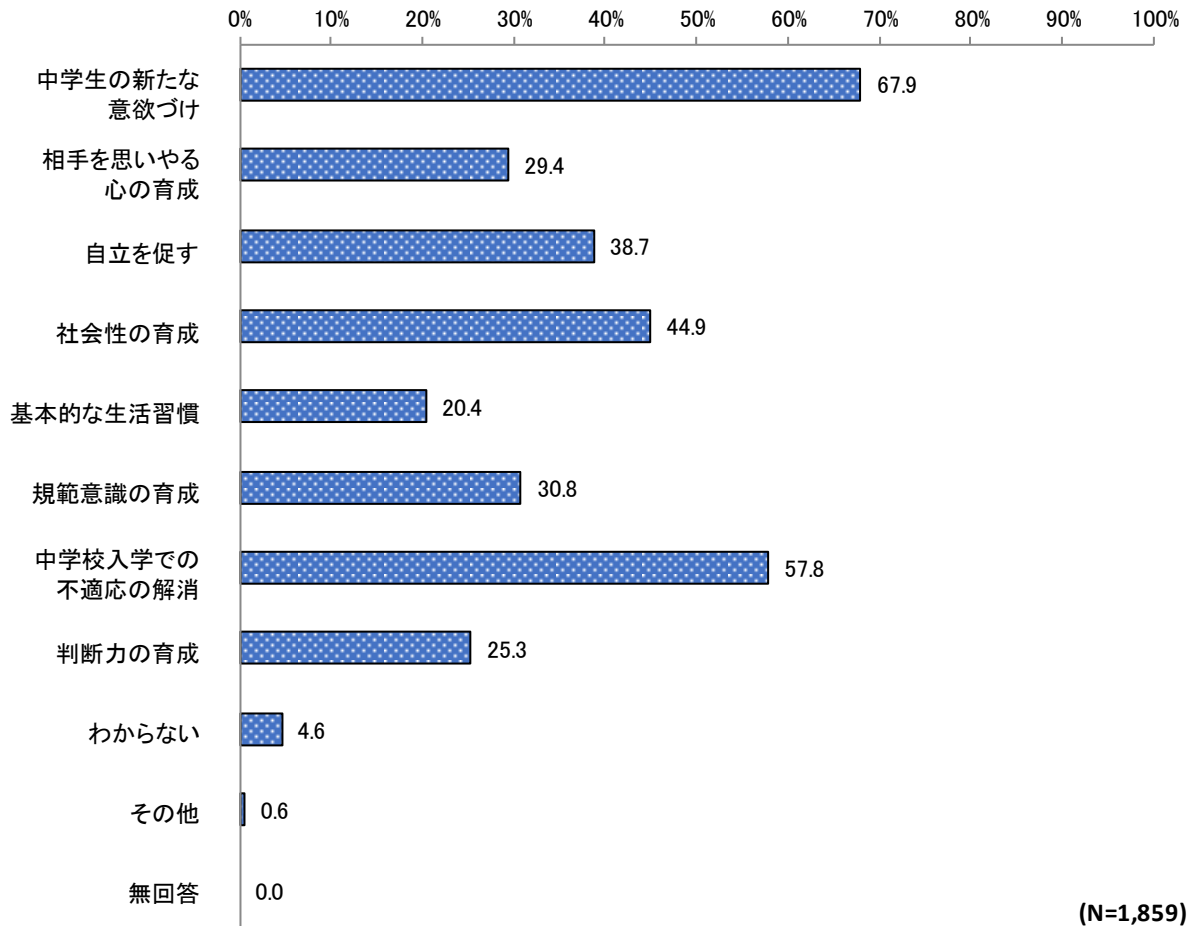
居住地区別にみると、粕尾及び永野では「相手を思いやる心の育成」が8割を超え、他の地区と比べて高くなっている。それ以外の地区では「小学生の新たな意欲付け」または「小学校入学での不適応の解消」が最も高くなっている。

(上段:件数、下段:%)

	全体	相手を思いやる心の育成	小学生の新たな意欲付け	基本的な生活習慣	規範意識の育成	自立を促す	解消小学校入学での不適応の	わからない	その他	無回答
全体	1,859	830	1,036	640	563	586	1,009	108	10	0
	100.0	44.6	55.7	34.4	30.3	31.5	54.3	5.8	0.5	0.0
まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742	341	410	238	218	244	372	52	3	0
	100.0	46.0	55.3	32.1	29.4	32.9	50.1	7.0	0.4	0.0
板荷	29	13	17	5	9	6	15	3	0	0
	100.0	44.8	58.6	17.2	31.0	20.7	51.7	10.3	0.0	0.0
西大芦	14	8	10	6	6	5	9	0	0	0
	100.0	57.1	71.4	42.9	42.9	35.7	64.3	0.0	0.0	0.0
加蘇	23	11	10	8	8	8	14	3	0	0
	100.0	47.8	43.5	34.8	34.8	34.8	60.9	13.0	0.0	0.0
北大飼	156	69	91	50	50	52	83	7	2	0
	100.0	44.2	58.3	32.1	32.1	33.3	53.2	4.5	1.3	0.0
南摩	37	17	22	11	14	6	20	2	0	0
	100.0	45.9	59.5	29.7	37.8	16.2	54.1	5.4	0.0	0.0
南押原	89	43	49	36	27	21	39	5	0	0
	100.0	48.3	55.1	40.4	30.3	23.6	43.8	5.6	0.0	0.0
東大芦	28	13	15	8	5	6	18	3	0	0
	100.0	46.4	53.6	28.6	17.9	21.4	64.3	10.7	0.0	0.0
菊沢	163	62	95	51	50	50	87	8	1	0
	100.0	38.0	58.3	31.3	30.7	30.7	53.4	4.9	0.6	0.0
北押原	188	80	96	79	57	52	106	13	1	0
	100.0	42.6	51.1	42.0	30.3	27.7	56.4	6.9	0.5	0.0
東部台	183	77	99	65	50	50	105	10	2	0
	100.0	42.1	54.1	35.5	27.3	27.3	57.4	5.5	1.1	0.0
粟野	30	16	16	12	9	11	17	0	0	0
	100.0	53.3	53.3	40.0	30.0	36.7	56.7	0.0	0.0	0.0
粕尾	15	12	8	5	7	6	6	0	0	0
	100.0	80.0	53.3	33.3	46.7	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
永野	11	11	9	4	4	4	4	0	0	0
	100.0	100.0	81.8	36.4	36.4	36.4	36.4	0.0	0.0	0.0
清洲	31	15	22	13	9	8	23	1	0	0
	100.0	48.4	71.0	41.9	29.0	25.8	74.2	3.2	0.0	0.0
市外	116	39	67	49	38	55	90	1	1	0
	100.0	33.6	57.8	42.2	32.8	47.4	77.6	0.9	0.9	0.0

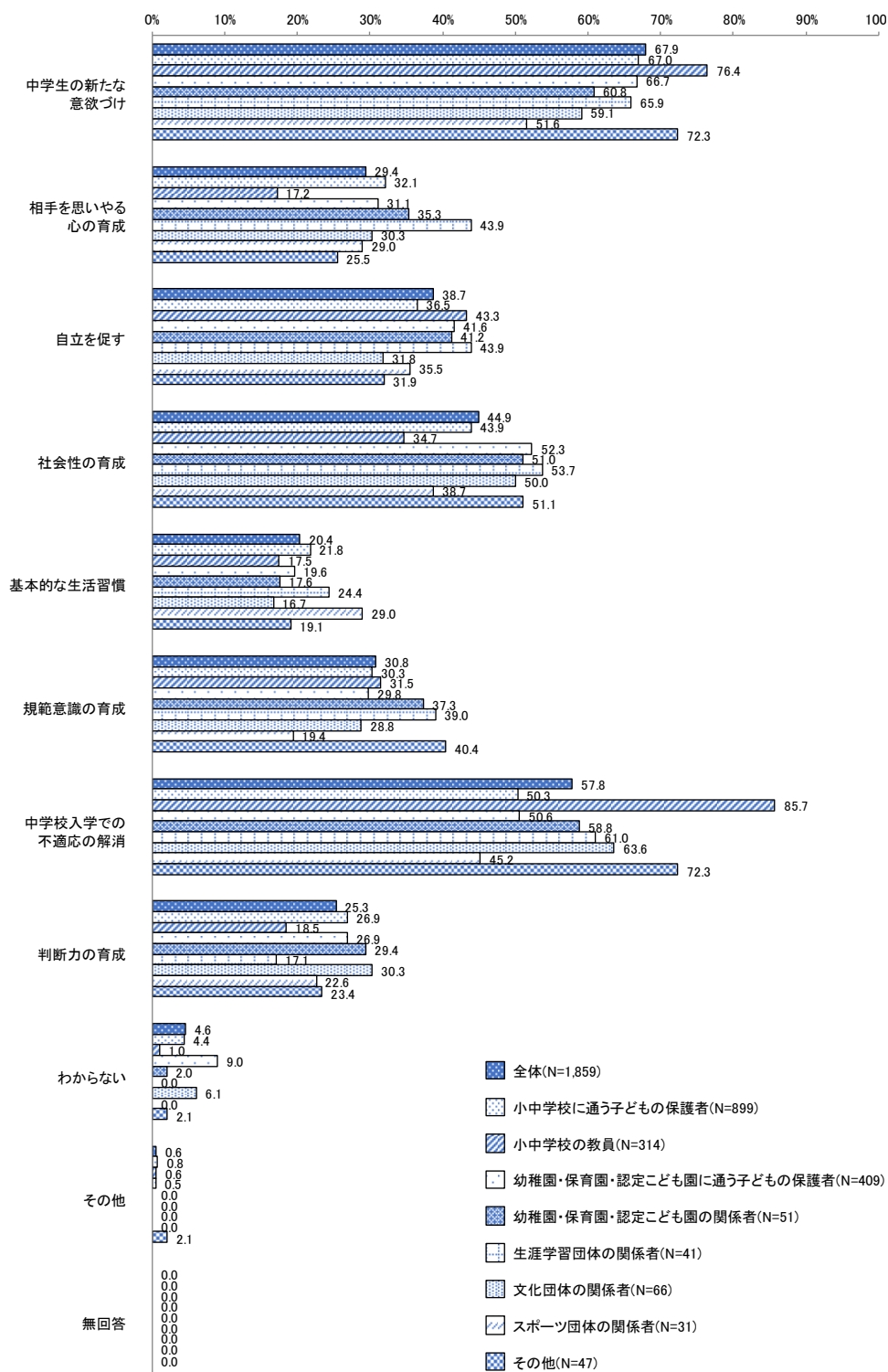
Q15 小学校と中学校が連携することで、どのような効果があると思いますか。【複数選択可】

「中学生の新たな意欲づけ」が67.9%と最も高く、次いで「中学校入学での不適應の解消」が57.8%、「社会性の育成」が44.9%となっている。



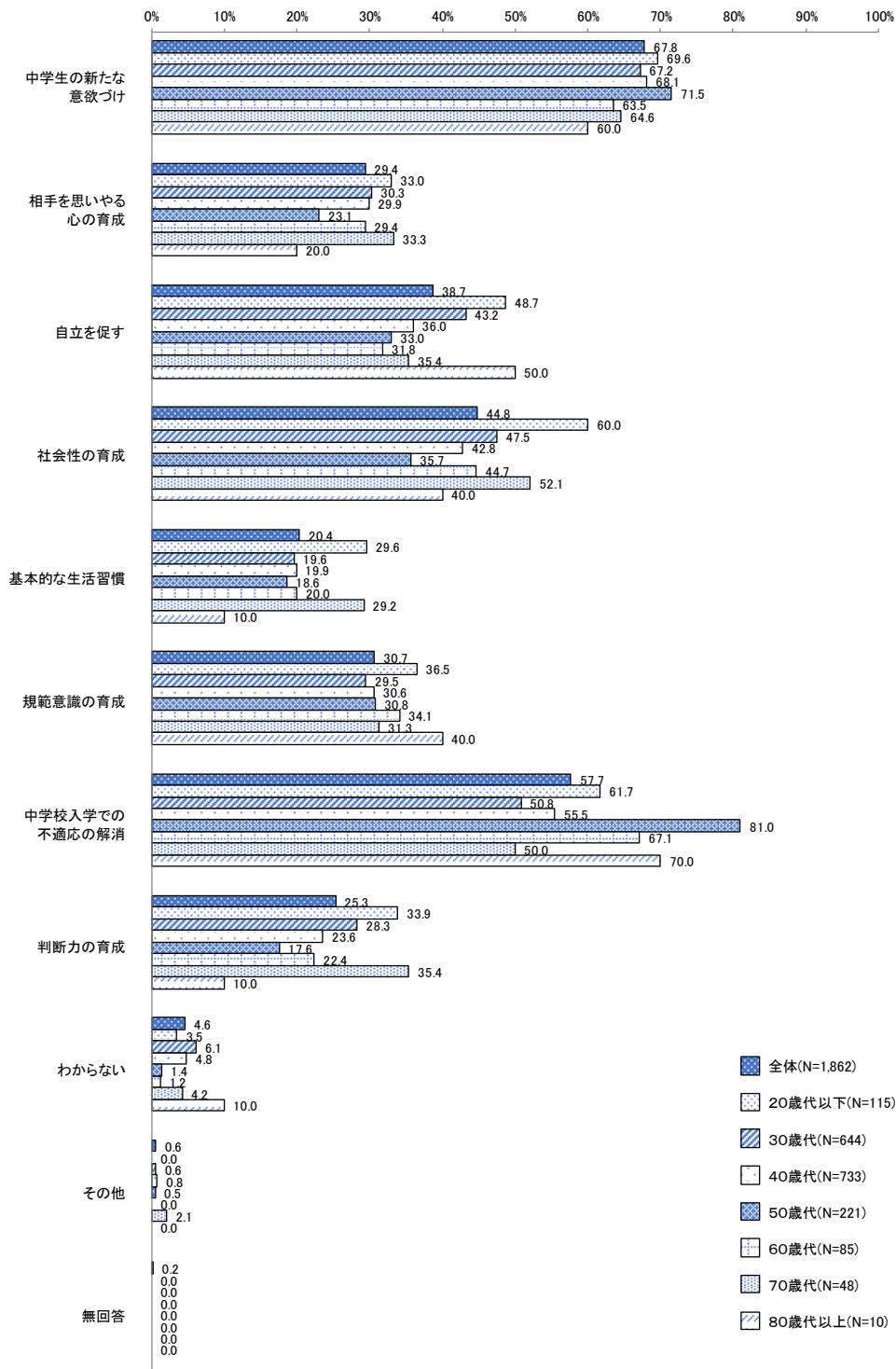
## 【関係性別】

関係性別にみると、小中学校の教員及び文化団体の関係者を除いたすべての関係性で「中学生の新たな意欲付け」の割合が最も高くなっている。その他では「中学校入学での不適應の解消」も同率となっている。小中学校の教員及び文化団体の関係者では「中学校入学での不適應の解消」の割合が最も高く、特に小中学校の教員では85.7%と他の関係性と比べて高くなっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、40歳代以下及び70歳代では「中学生の新たな意欲付け」の割合が最も高く、6割以上となっている。50歳代から60歳代及び80歳代以上では「中学校入学での不適応の解消」の割合が最も高く、特に50歳代では81.0%と他の年代と比べて高くなっている。



【居住地区別】

居住地区別にみると、東大芦と市外を除いたすべての地区で「中学生の新たな意欲づけ」の割合が最も高く、6割以上となっている。東大芦と市外では「中学校入学での不適応の解消」の割合が最も高くなっている。

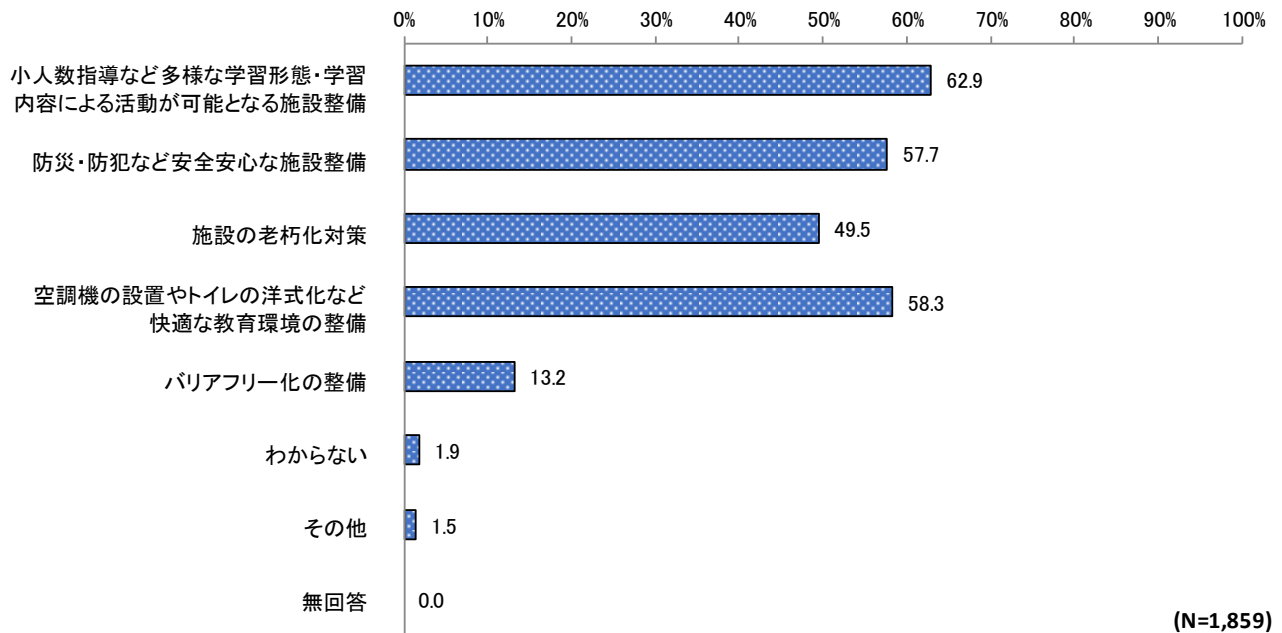
(上段:件数、下段:%)

	全体	中学生の新たな意欲づけ	相手を思いやる心の育成	自立を促す	社会性の育成	基本的な生活習慣	規範意識の育成	解消 中学校入学での不適応の	判断力の育成	わからない	その他	無回答	
全体	1,862 100.0	1,263 67.8	547 29.4	720 38.7	835 44.8	379 20.4	572 30.7	1,074 57.7	471 25.3	86 4.6	12 0.6	3 0.2	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	499 67.3	219 29.5	287 38.7	333 44.9	153 20.6	216 29.1	406 54.7	184 24.8	41 5.5	5 0.7	0 0.0
	板荷	29 100.0	20 69.0	10 34.5	10 34.5	12 41.4	2 6.9	7 24.1	17 58.6	8 27.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西大芦	14 100.0	10 71.4	6 42.9	6 42.9	7 50.0	4 28.6	5 35.7	8 57.1	6 42.9	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	加蘇	23 100.0	15 65.2	6 26.1	10 43.5	9 39.1	4 17.4	10 43.5	12 52.2	9 39.1	3 13.0	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	113 72.4	48 30.8	69 44.2	75 48.1	30 19.2	55 35.3	85 54.5	35 22.4	3 1.9	1 0.6	0 0.0
	南摩	37 100.0	29 78.4	10 27.0	6 16.2	14 37.8	5 13.5	5 13.5	22 59.5	8 21.6	1 2.7	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	65 73.0	34 38.2	31 34.8	38 42.7	17 19.1	29 32.6	46 51.7	18 20.2	5 5.6	0 0.0	0 0.0
	東大芦	28 100.0	19 67.9	11 39.3	7 25.0	14 50.0	7 25.0	9 32.1	20 71.4	6 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	108 66.3	45 27.6	60 36.8	68 41.7	33 20.2	48 29.4	92 56.4	46 28.2	9 5.5	1 0.6	0 0.0
	北押原	188 100.0	126 67.0	46 24.5	73 38.8	86 45.7	45 23.9	55 29.3	116 61.7	40 21.3	8 4.3	1 0.5	0 0.0
	東部台	183 100.0	113 61.7	51 27.9	64 35.0	83 45.4	35 19.1	55 30.1	106 57.9	50 27.3	8 4.4	2 1.1	0 0.0
	粟野	30 100.0	20 66.7	11 36.7	15 50.0	16 53.3	10 33.3	9 30.0	19 63.3	13 43.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	9 60.0	8 53.3	8 53.3	9 60.0	3 20.0	7 46.7	6 40.0	5 33.3	2 13.3	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	9 81.8	8 72.7	4 36.4	7 63.6	3 27.3	6 54.5	3 27.3	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	24 77.4	8 25.8	13 41.9	12 38.7	5 16.1	10 32.3	21 67.7	8 25.8	1 3.2	1 3.2	0 0.0
	市外	116 100.0	83 71.6	26 22.4	57 49.1	50 43.1	23 19.8	46 39.7	93 80.2	27 23.3	4 3.4	0 0.0	0 0.0



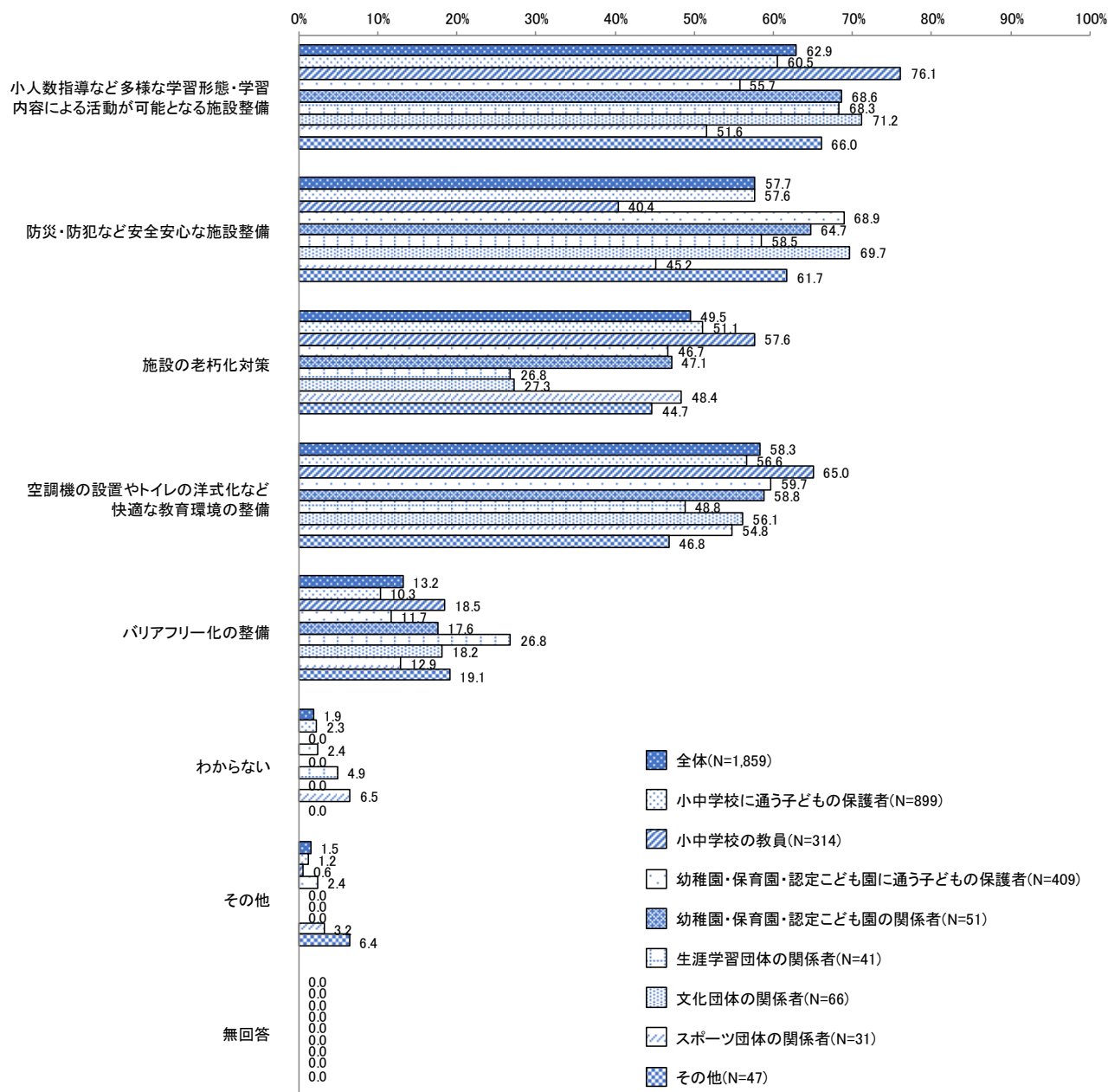
**Q16 学校施設の整備について、今後どのようなことを優先的に行うべきだと思いますか。【3つまで選択可】**

「小人数指導など多様な学習形態・学習内容による活動が可能となる施設整備」が62.9%と最も高く、次いで「空調機の設置やトイレの洋式化など快適な教育環境の整備」が58.3%、「防災・防犯など安全安心な施設整備」が57.7%となっている。



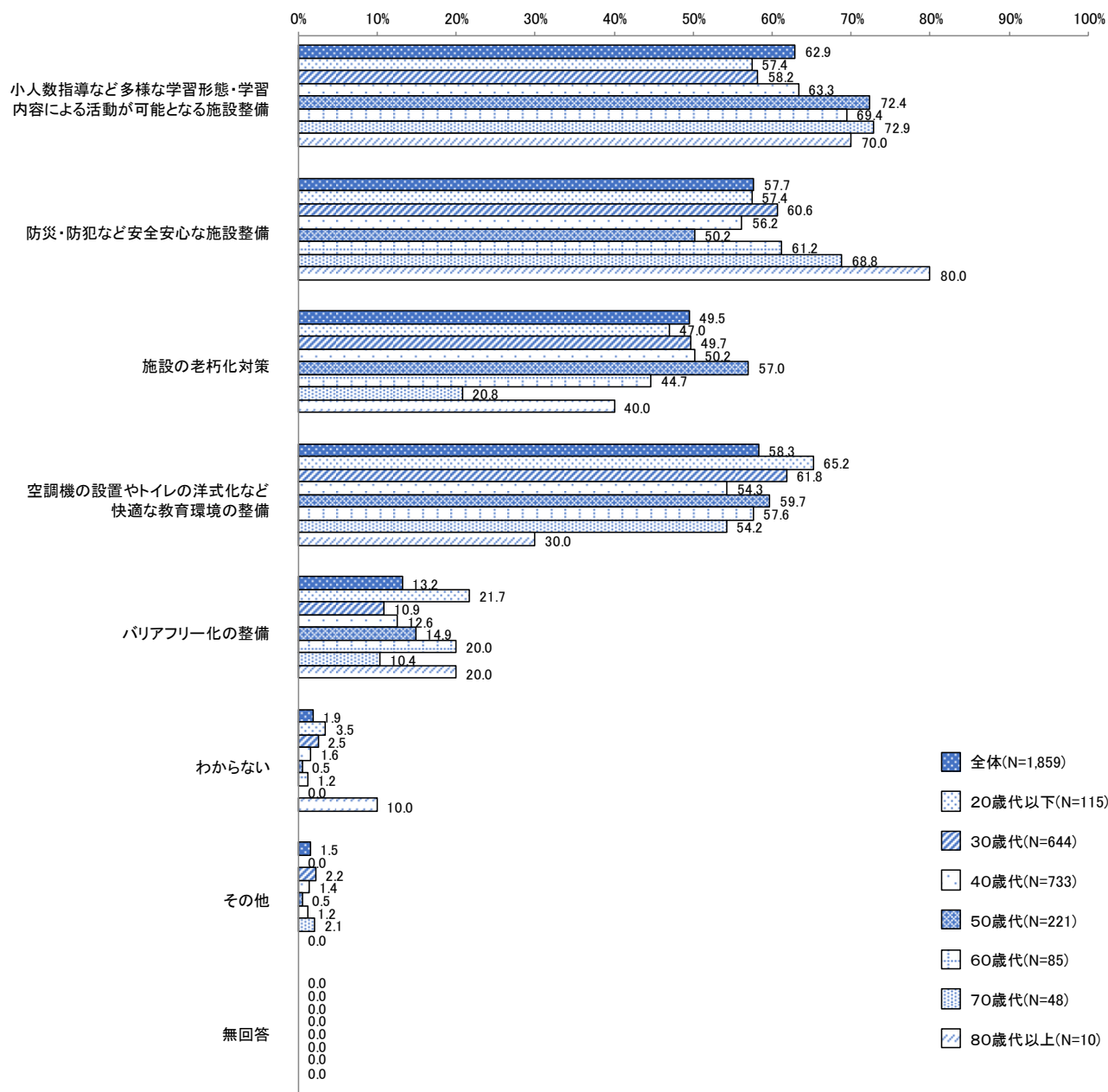
## 【関係性別】

関係性別にみると、幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者及びスポーツ団体の関係者を除いたすべての関係性で「小人数指導など多様な学習形態・学習内容による活動が可能となる施設整備」の割合が最も高く、6割以上となっている。幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者では「防災・防犯など安全安心な施設整備」の割合が、スポーツ団体の関係者では「空調機の設置やトイレの洋式化など快適な教育環境の整備」の割合が最も高くなっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代以下では「空調機の設置やトイレの洋式化など快適な教育環境の整備」の割合が6割を超え最も高く、40歳代から70歳代では「小人数指導など多様な学習形態・学習内容による活動が可能となる施設整備」の割合が6割半ばから7割強と最も高くなっている。



【居住地区別】

居住地区別にみると、9つの地区で「小人数指導など多様な学習形態・学習内容による活動が可能となる施設整備」の割合が最も高く、6割以上となっている。それ以外の地区では「防災・防犯など安全安心な施設整備」または「空調機の設置やトイレの洋式化など快適な教育環境の整備」の割合が最も高くなっている。

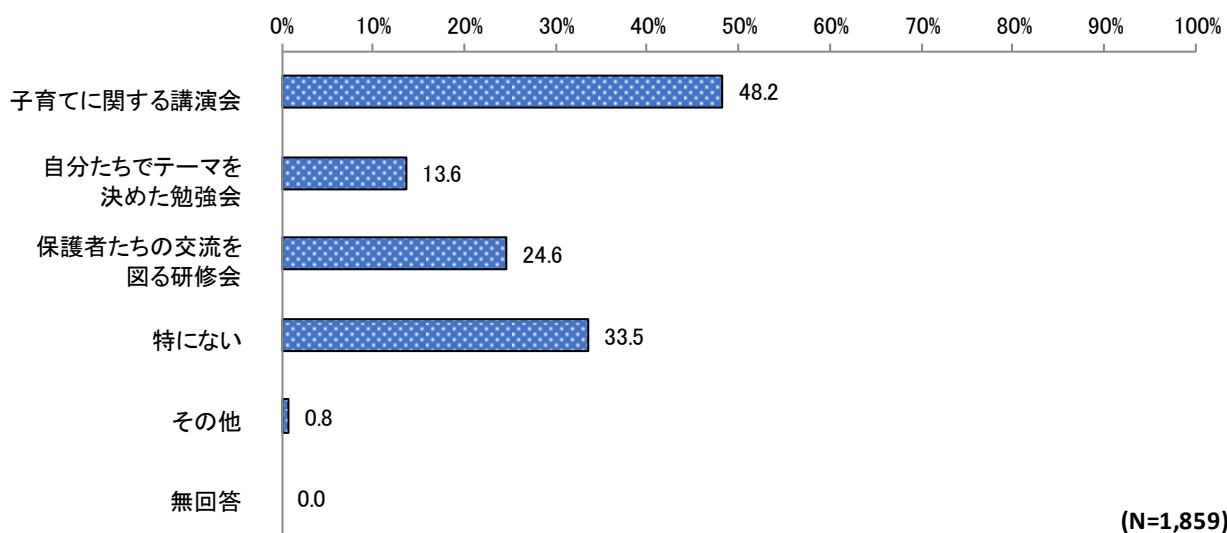
(上段:件数、下段:%)

	全体	小人数指導など多様な学習形態が可能となる施設整備	安心な・防犯など安全な施設整備	施設の老朽化対策	環境の整備	洋式化など快適な教育環境の整備	空調機の設置やトイレの洋式化など快適な教育環境の整備	バリアフリー化の整備	わからない	その他	無回答
全体	1,859 100.0	1,169 62.9	1,073 57.7	921 49.5	1,083 58.3	245 13.2	35 1.9	27 1.5	0 0.0		
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	469 63.2	449 60.5	352 47.4	424 57.1	96 12.9	17 2.3	10 1.3	0 0.0	
	板荷	29 100.0	14 48.3	14 48.3	11 37.9	18 62.1	5 17.2	1 3.4	2 6.9	0 0.0	
	西大芦	14 100.0	8 57.1	7 50.0	8 57.1	9 64.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	加蘇	23 100.0	12 52.2	14 60.9	7 30.4	14 60.9	3 13.0	1 4.3	1 4.3	0 0.0	
	北犬飼	156 100.0	88 56.4	87 55.8	77 49.4	100 64.1	14 9.0	3 1.9	6 3.8	0 0.0	
	南摩	37 100.0	24 64.9	17 45.9	18 48.6	19 51.4	5 13.5	1 2.7	0 0.0	0 0.0	
	南押原	89 100.0	66 74.2	51 57.3	32 36.0	44 49.4	11 12.4	4 4.5	0 0.0	0 0.0	
	東大芦	28 100.0	17 60.7	16 57.1	16 57.1	15 53.6	3 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	菊沢	163 100.0	101 62.0	86 52.8	92 56.4	99 60.7	29 17.8	1 0.6	5 3.1	0 0.0	
	北押原	188 100.0	110 58.5	115 61.2	110 58.5	113 60.1	27 14.4	2 1.1	1 0.5	0 0.0	
	東部台	183 100.0	111 60.7	107 58.5	97 53.0	110 60.1	17 9.3	3 1.6	1 0.5	0 0.0	
	粟野	30 100.0	19 63.3	20 66.7	12 40.0	19 63.3	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	粕尾	15 100.0	10 66.7	13 86.7	5 33.3	5 33.3	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	永野	11 100.0	8 72.7	8 72.7	7 63.6	4 36.4	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	清洲	31 100.0	21 67.7	14 45.2	16 51.6	14 45.2	5 16.1	0 0.0	1 3.2	0 0.0	
	市外	116 100.0	88 75.9	52 44.8	59 50.9	75 64.7	19 16.4	2 1.7	0 0.0	0 0.0	

## 2-5 生涯学習について

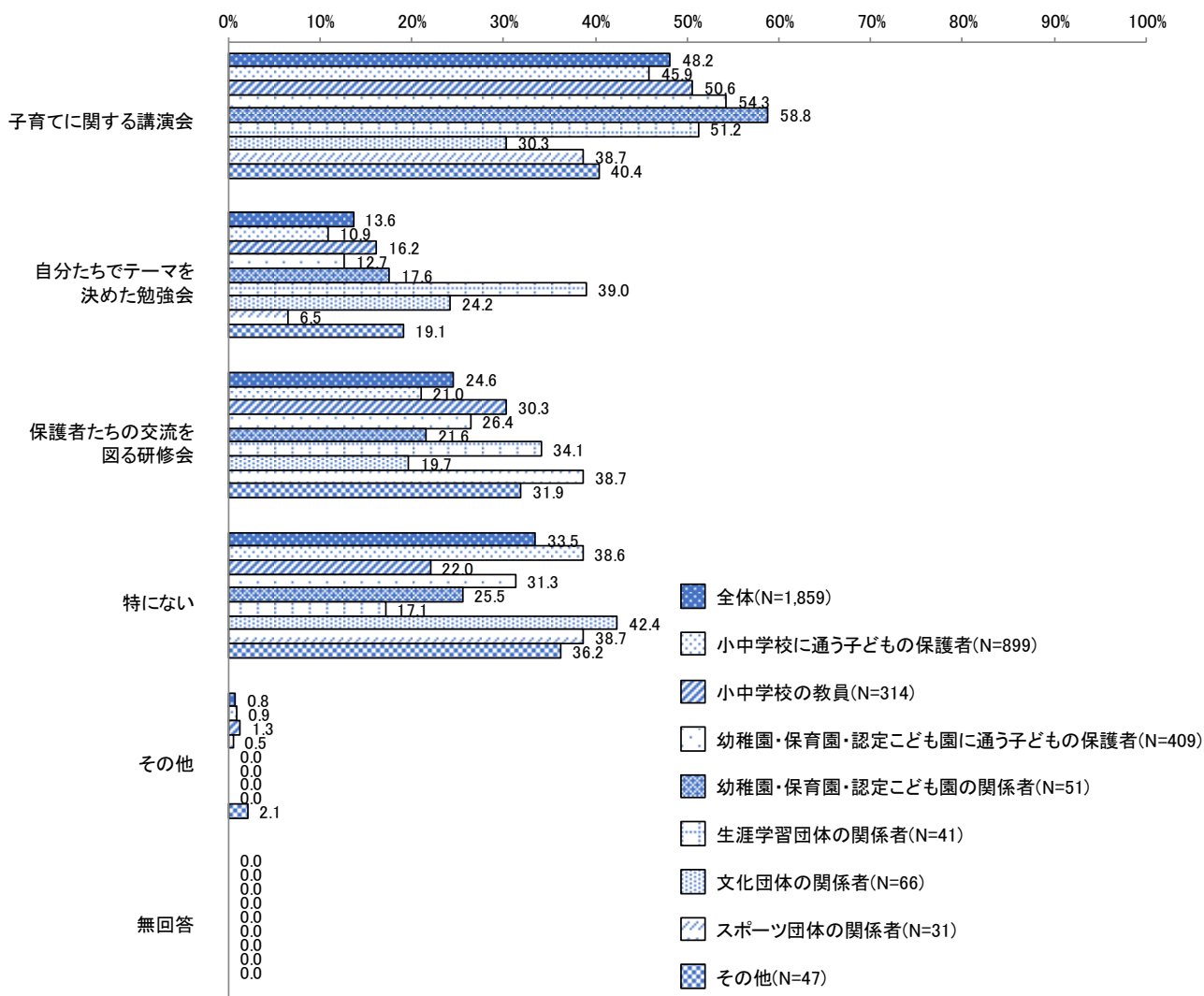
Q17 子育てについて学ぶ機会として、参加してみたいものはどれですか。【複数選択可】

「子育てに関する講演会」が48.2%と最も高く、次いで「特にない」が33.5%、「保護者たちの交流を図る研修会」が24.6%となっている。



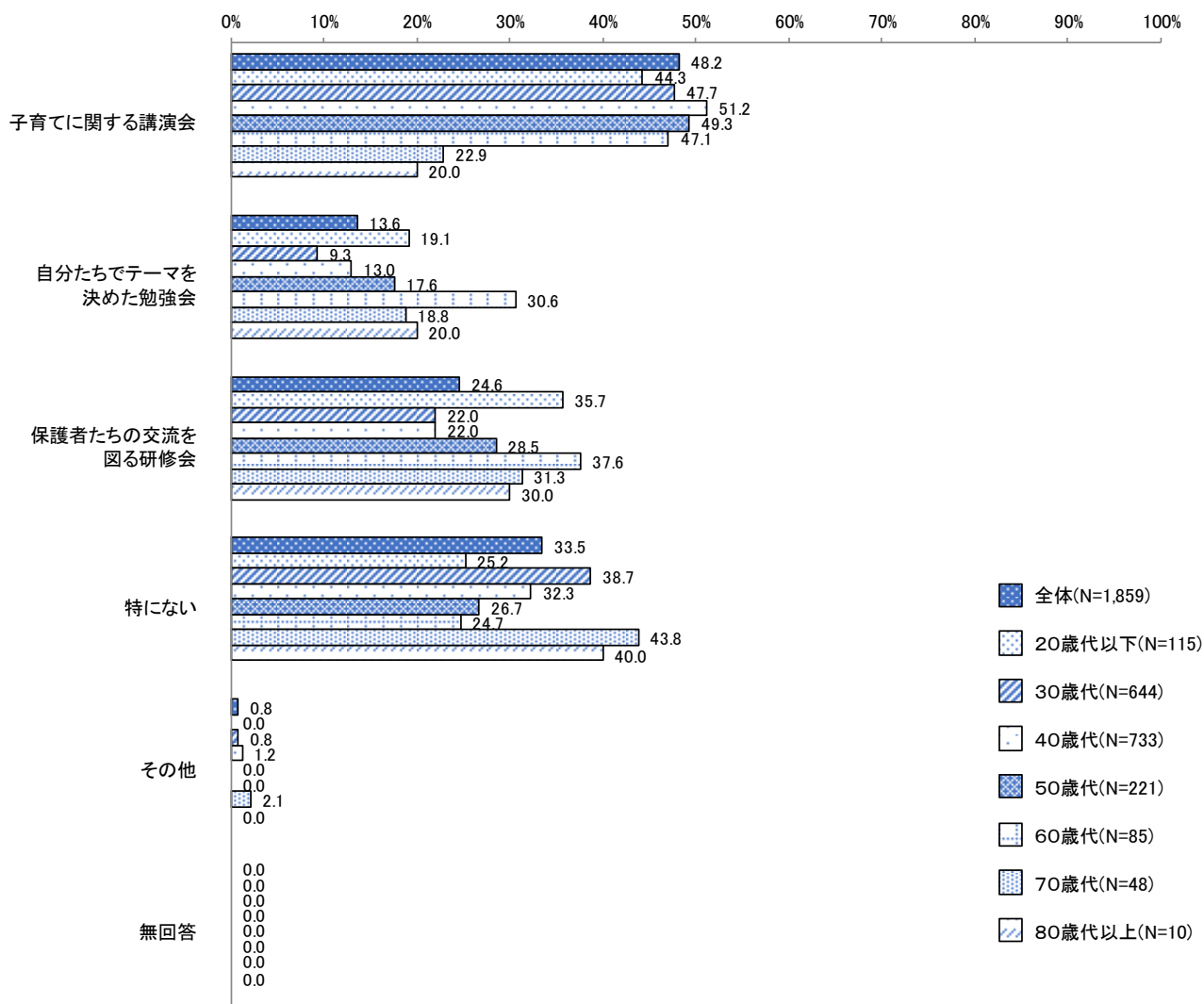
## 【関係性別】

関係性別にみると、文化団体の関係者を除いたすべての関係性で「子育てに関する講演会」の割合が最も高く、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者では58.8%となっている。生涯学習団体の関係者では「自分たちでテーマを決めた勉強会」の割合が39.0%と他の関係性と比べて高くなっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、60歳代以下では「子育てに関する講演会」の割合が最も高く、4割半ばから5割強となっている。60歳代では「自分たちでテーマを決めた勉強会」が30.6%と他の年代と比べて高くなっている。



【居住地区別】

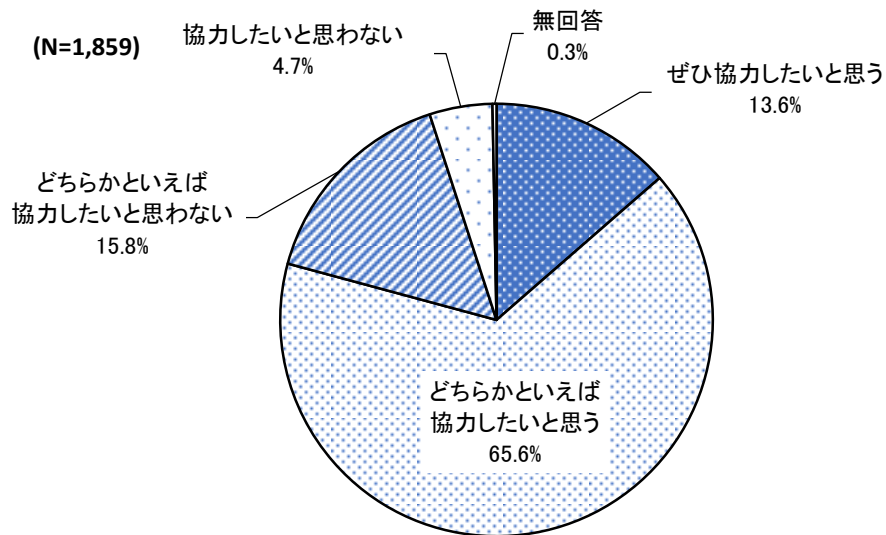
居住地区別にみると、西大芦と加蘇を除いたすべての地区で「子育てに関する講演会」の割合が最も高く4割以上となっている。南摩、南押原、永野では6割を超え、他の地区と比べて高くなっている。東部台では「特にない」も同率で最も高い。

		(上段:件数、下段:%)						
	全体	子育てに関する講演会	自分たちで勉強会	研修者たちの交流を図る	特にない	その他	無回答	
全体	1,859 100.0	896 48.2	253 13.6	457 24.6	622 33.5	15 0.8	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	334 45.0	100 13.5	170 22.9	275 37.1	6 0.8	0 0.0
	板荷	29 100.0	15 51.7	3 10.3	9 31.0	7 24.1	0 0.0	0 0.0
	西大芦	14 100.0	6 42.9	2 14.3	2 14.3	7 50.0	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	9 39.1	3 13.0	3 13.0	12 52.2	1 4.3	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	79 50.6	25 16.0	42 26.9	49 31.4	1 0.6	0 0.0
	南摩	37 100.0	24 64.9	4 10.8	13 35.1	9 24.3	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	54 60.7	9 10.1	23 25.8	20 22.5	0 0.0	0 0.0
	東大芦	28 100.0	15 53.6	5 17.9	12 42.9	8 28.6	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	76 46.6	21 12.9	40 24.5	54 33.1	1 0.6	0 0.0
	北押原	188 100.0	104 55.3	20 10.6	42 22.3	53 28.2	2 1.1	0 0.0
	東部台	183 100.0	74 40.4	27 14.8	40 21.9	74 40.4	2 1.1	0 0.0
	粟野	30 100.0	14 46.7	5 16.7	7 23.3	8 26.7	1 3.3	0 0.0
	粕尾	15 100.0	7 46.7	4 26.7	5 33.3	4 26.7	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	8 72.7	3 27.3	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	18 58.1	3 9.7	5 16.1	12 38.7	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	59 50.9	19 16.4	36 31.0	27 23.3	1 0.9	0 0.0



Q18 地域住民として、子育て・学校支援・見守り活動などのボランティア活動に協力したいと思いますか。  
【1つ選択】

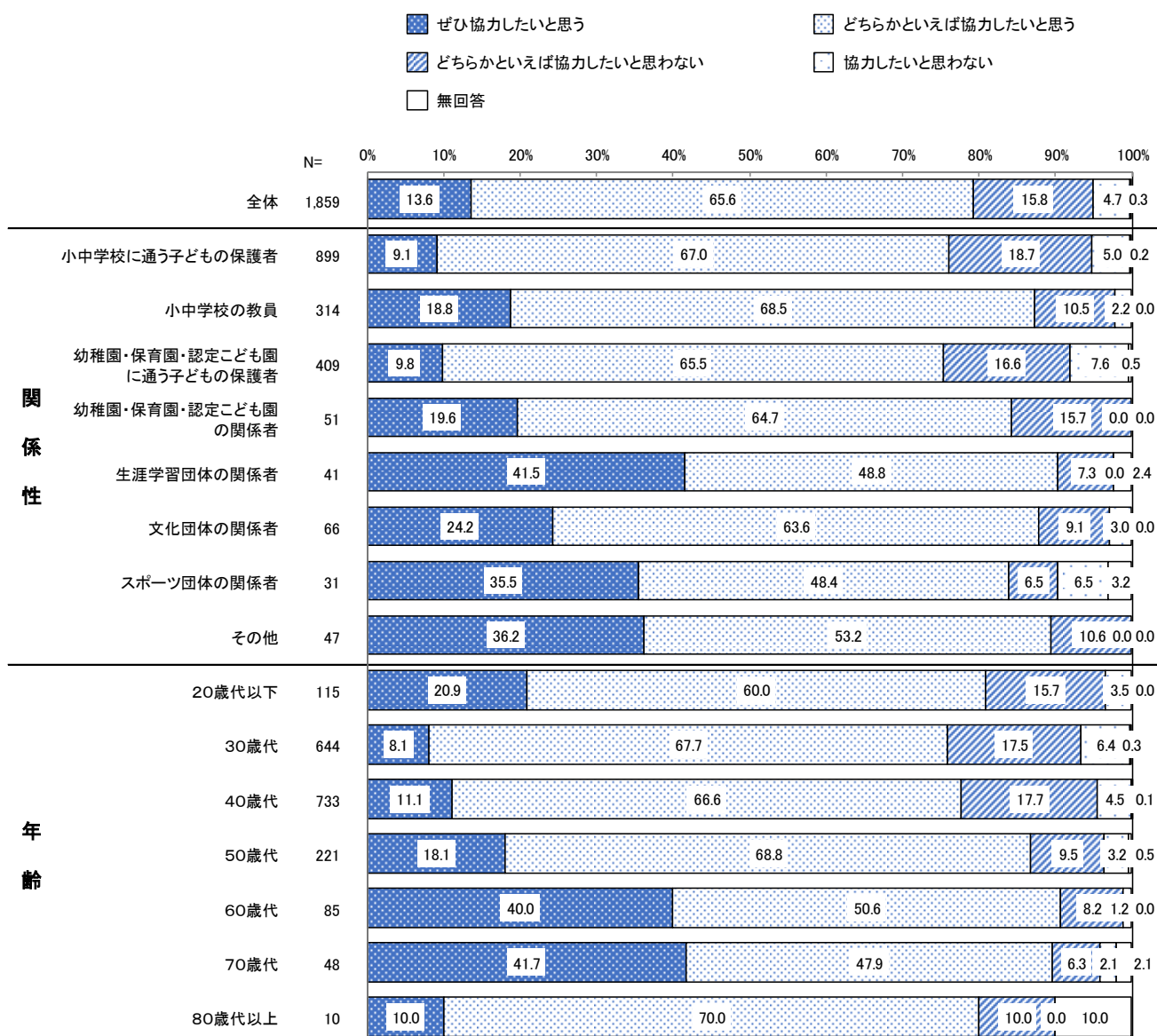
「どちらかといえば協力したいと思う」が65.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば協力したいと思わない」が15.8%、「ぜひ協力したいと思う」が13.6%となっている。



## 【関係性・年齢別】

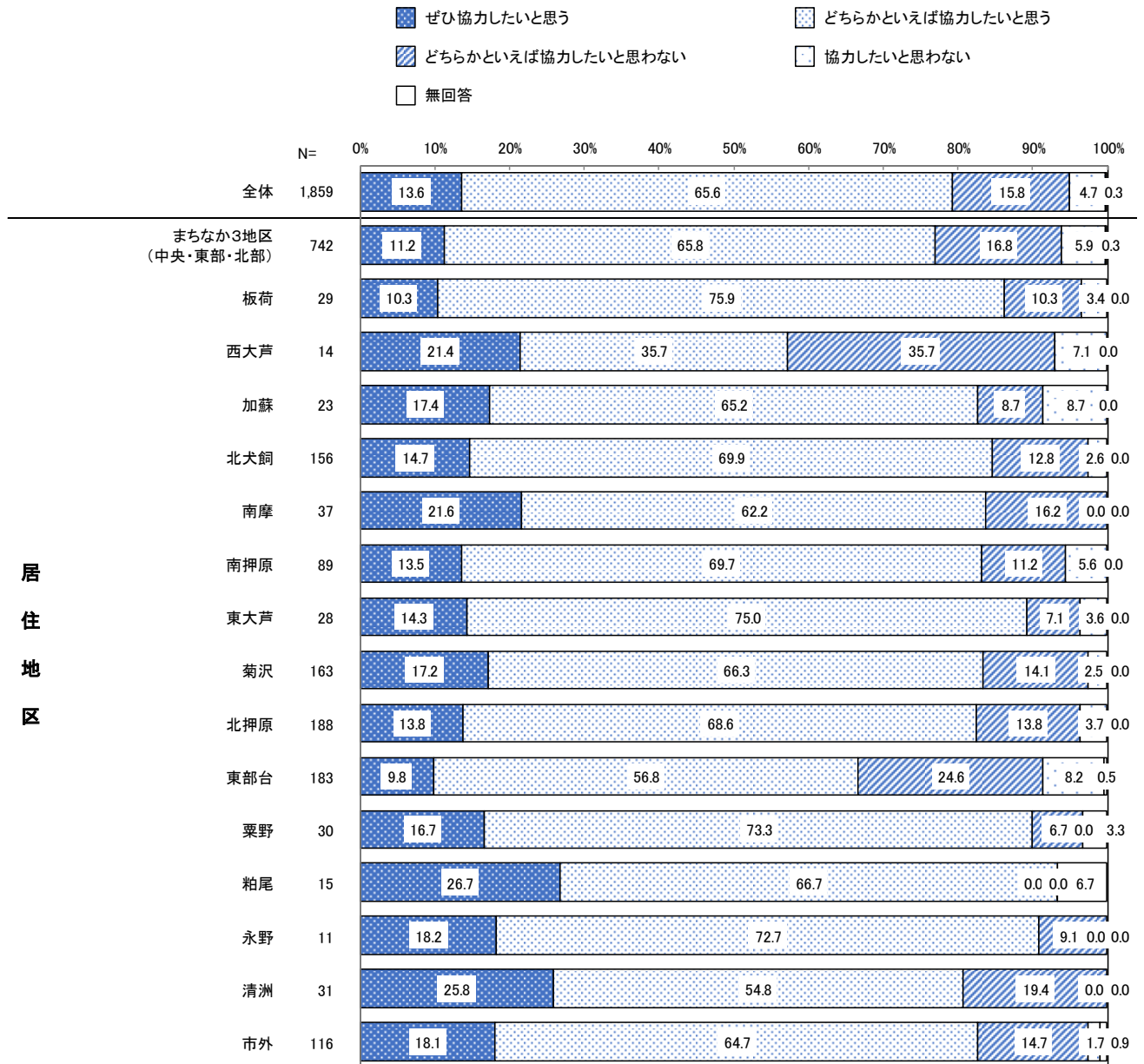
関係性別にみると、生涯学習団体の関係者、スポーツ団体の関係者及びその他で「ぜひ協力したいと思う」の割合が比較的高く、3割半ばから4割強を占めている。幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者では「協力したいと思わない」の割合が7.6%と他の関係性よりもやや高くなっている。

年齢別にみると、60歳代及び70歳代で「ぜひ協力したいと思う」の割合が4割台と比較的高くなっている。40歳代以下では「どちらかといえば協力したいと思わない」の割合が1割台と比較的高く、30歳代では「協力したいと思わない」の割合が6.4%と他の年代よりも高くなっている。



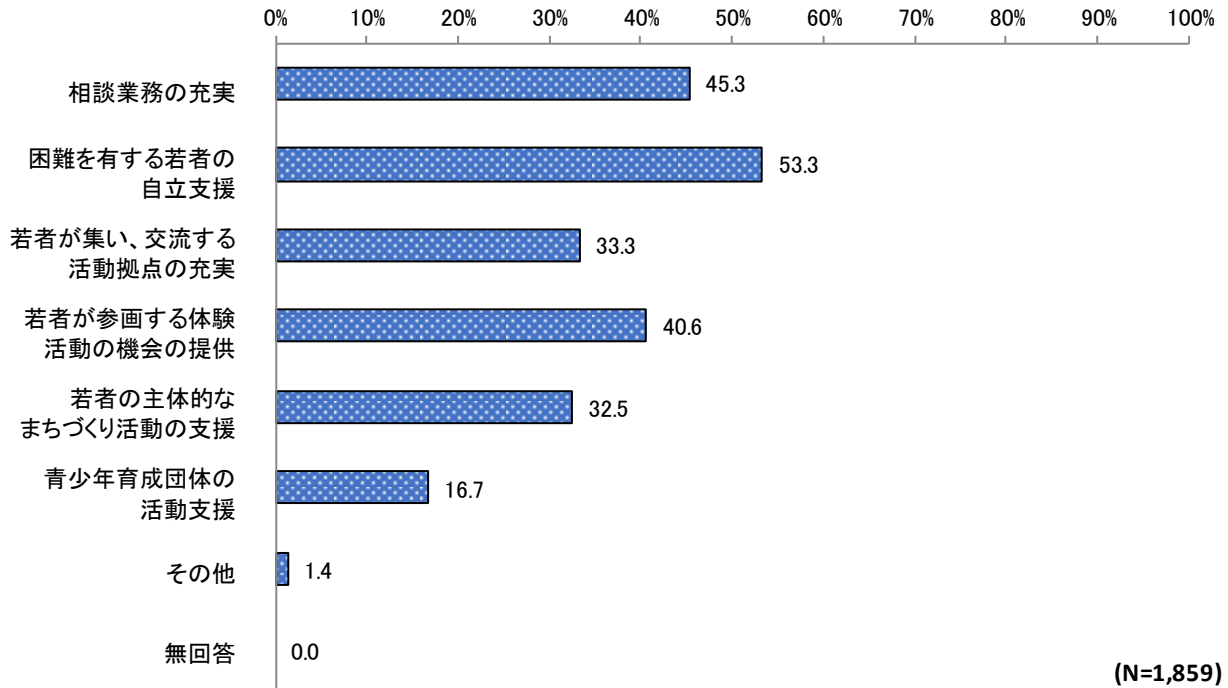
## 【居住地区別】

居住地区別にみると、粕尾及び清洲で「ぜひ協力したいと思う」の割合が比較的高く、2割半ばとなっている。西大芦では「どちらかといえば協力したいと思わない」の割合が35.7%と他の地区よりも高くなっている。



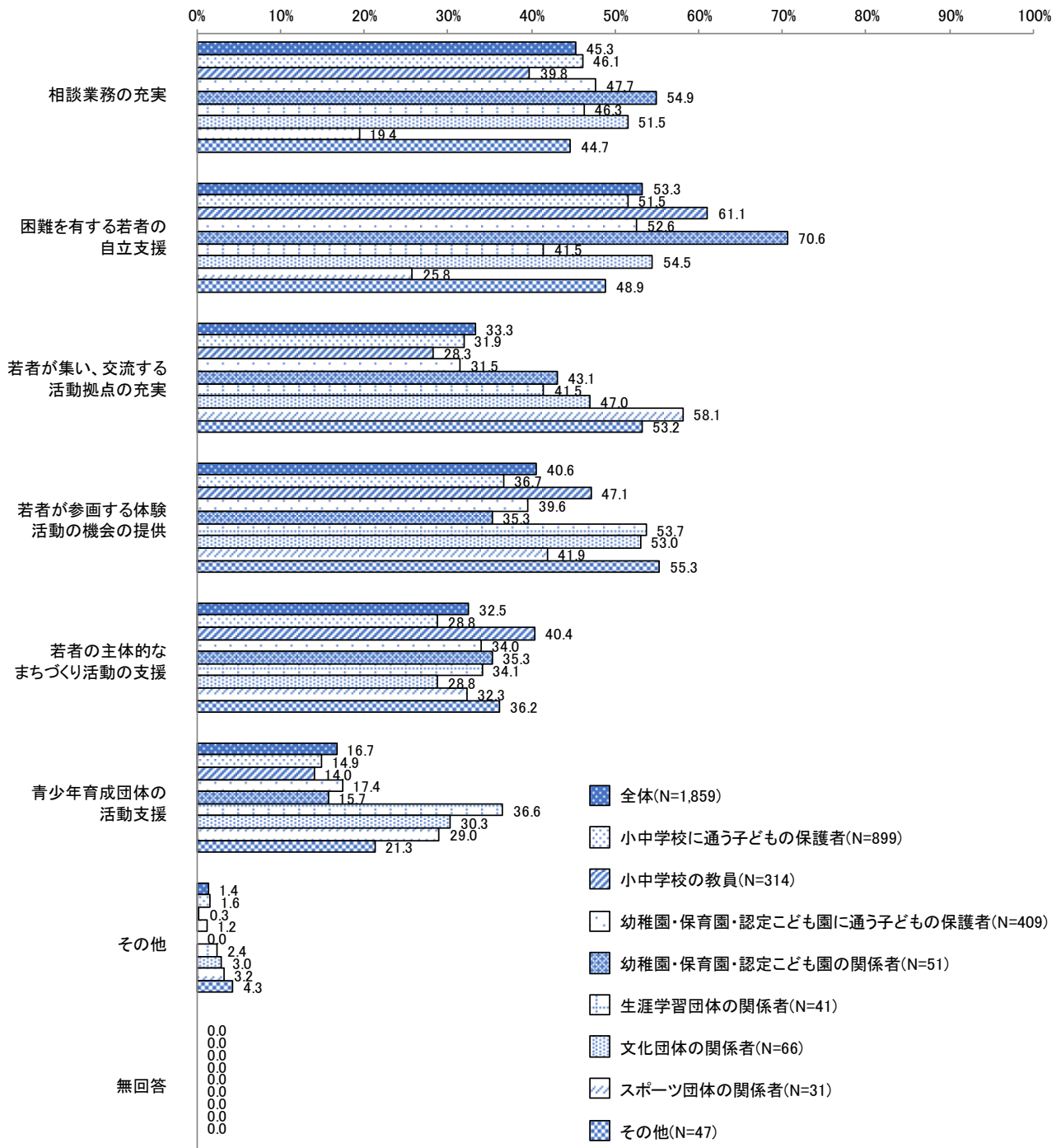
Q19 青少年の健全育成には、どのような取組みが必要だと思いますか。【複数選択可】

「困難を有する若者の自立支援」が53.3%と最も高く、次いで「相談業務の充実」が45.3%、「若者が参画する体験活動の機会の提供」が40.6%となっている。



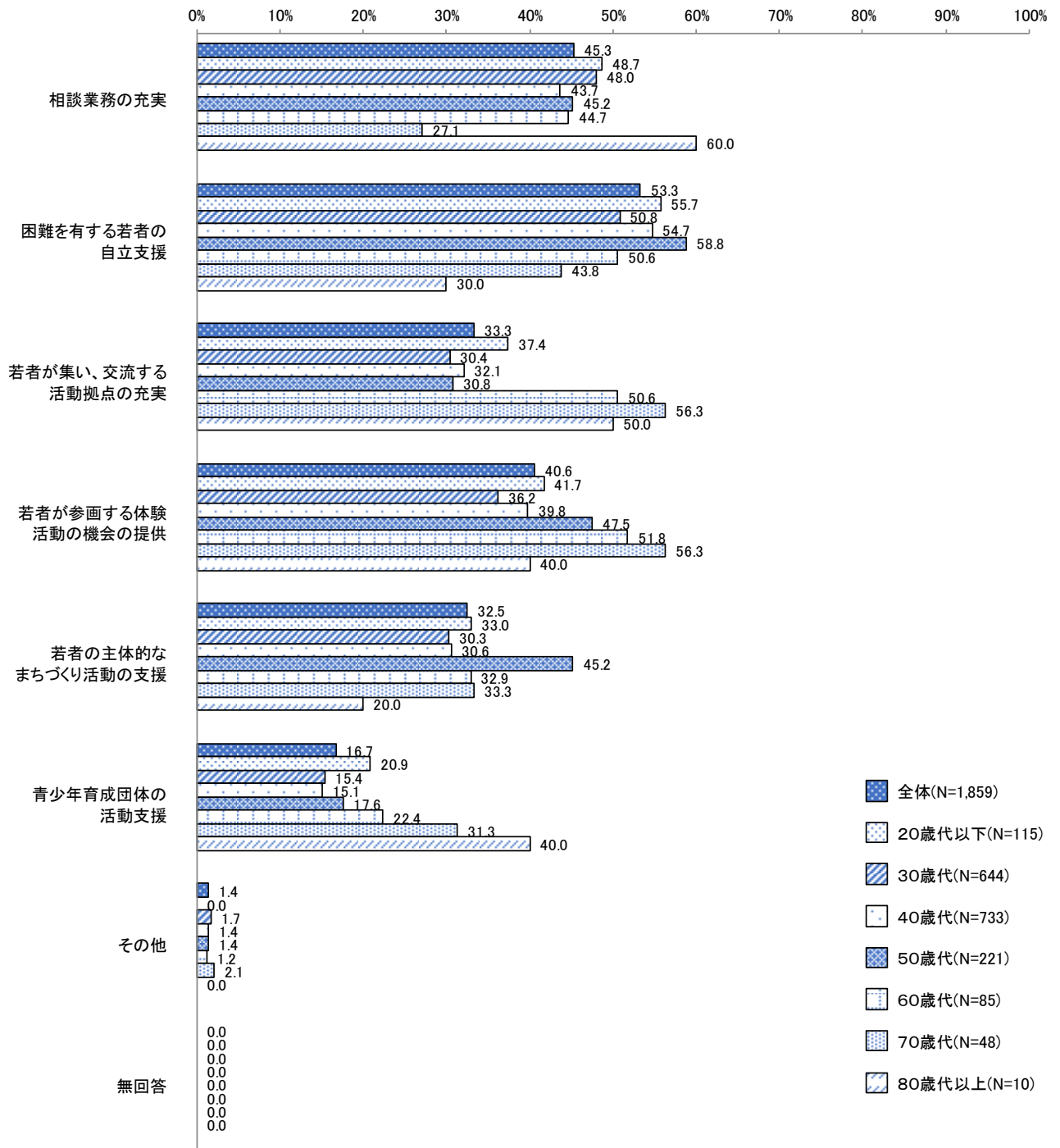
## 【関係性別】

関係性別にみると、生涯学習団体の関係者及びスポーツ団体の関係者を除いたすべての関係性で「困難を有する若者の自立支援」の割合が最も高く、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者では70.6%と唯一7割を超えている。スポーツ団体の関係者では「若者が集い、交流する活動拠点の充実」の割合が最も高く、58.1%と他の関係性と比べて高くなっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以下では「困難を有する若者の自立支援」の割合が最も高く、5割以上となっている。50歳代では「若者の主体的なまちづくり活動の支援」の割合が45.2%と他の年代と比べて高くなっている。60歳代以上では「若者が集い、交流する活動拠点の充実」の割合が比較的高くなっている。



【居住地区別】

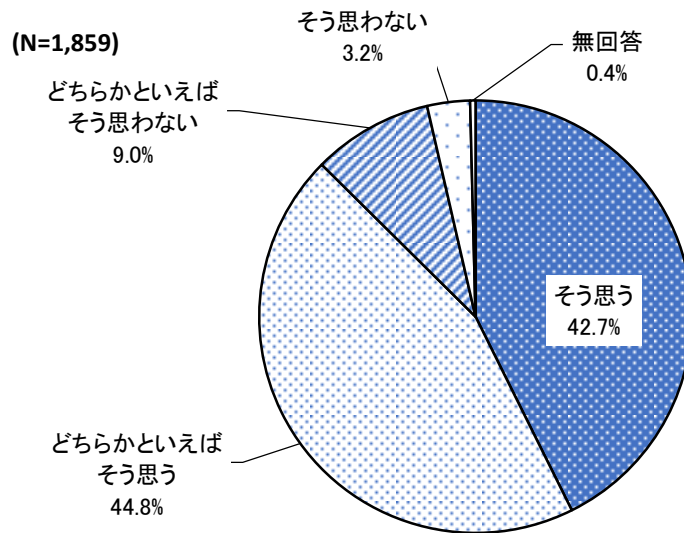
居住地区別にみると、11の地区で「困難を有する若者の自立支援」の割合が最も高く、5割弱から約6割となっている。栗野では「若者の主体的なまちづくり活動の支援」の割合が50.0%と他の地区と比べて高くなっている。

		(上段:件数、下段:%)								
	全体	相談業務の充実	困難を有する若者の自立支援	活動若者が集い、交流する拠点の充実	若者が企画提供する体験活動の機会提供	若者の主体的なまちづくり活動の支援	青少年育成団体の活動支援	その他	無回答	
全体	1,859 100.0	842 45.3	991 53.3	619 33.3	754 40.6	604 32.5	311 16.7	26 1.4	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	354 47.7	396 53.4	248 33.4	286 38.5	249 33.6	134 18.1	7 0.9	0 0.0
	板荷	29 100.0	11 37.9	15 51.7	12 41.4	15 51.7	7 24.1	5 17.2	0 0.0	0 0.0
	西大芦	14 100.0	9 64.3	8 57.1	6 42.9	6 42.9	4 28.6	2 14.3	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	12 52.2	9 39.1	7 30.4	10 43.5	2 8.7	5 21.7	1 4.3	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	75 48.1	85 54.5	57 36.5	69 44.2	51 32.7	23 14.7	2 1.3	0 0.0
	南摩	37 100.0	15 40.5	18 48.6	11 29.7	14 37.8	13 35.1	6 16.2	1 2.7	0 0.0
	南押原	89 100.0	41 46.1	45 50.6	31 34.8	31 34.8	22 24.7	9 10.1	2 2.2	0 0.0
	東大芦	28 100.0	8 28.6	17 60.7	13 46.4	11 39.3	11 39.3	5 17.9	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	76 46.6	89 54.6	51 31.3	61 37.4	56 34.4	30 18.4	4 2.5	0 0.0
	北押原	188 100.0	84 44.7	104 55.3	56 29.8	71 37.8	59 31.4	22 11.7	3 1.6	0 0.0
	東部台	183 100.0	71 38.8	91 49.7	48 26.2	77 42.1	59 32.2	35 19.1	4 2.2	0 0.0
	栗野	30 100.0	11 36.7	13 43.3	9 30.0	12 40.0	15 50.0	3 10.0	1 3.3	0 0.0
	粕尾	15 100.0	4 26.7	6 40.0	8 53.3	8 53.3	4 26.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	7 63.6	6 54.5	6 54.5	5 45.5	3 27.3	3 27.3	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	15 48.4	17 54.8	17 54.8	17 54.8	10 32.3	6 19.4	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	48 41.4	69 59.5	37 31.9	61 52.6	38 32.8	20 17.2	1 0.9	0 0.0

## 2-6 文化について

Q20 地域コミュニティの維持のため、地域の伝統行事は大切だと思いますか。【1つ選択】

「どちらかといえばそう思う」が44.8%と最も高く、次いで「そう思う」が42.7%、「どちらかといえばそう思わない」が9.0%となっている。

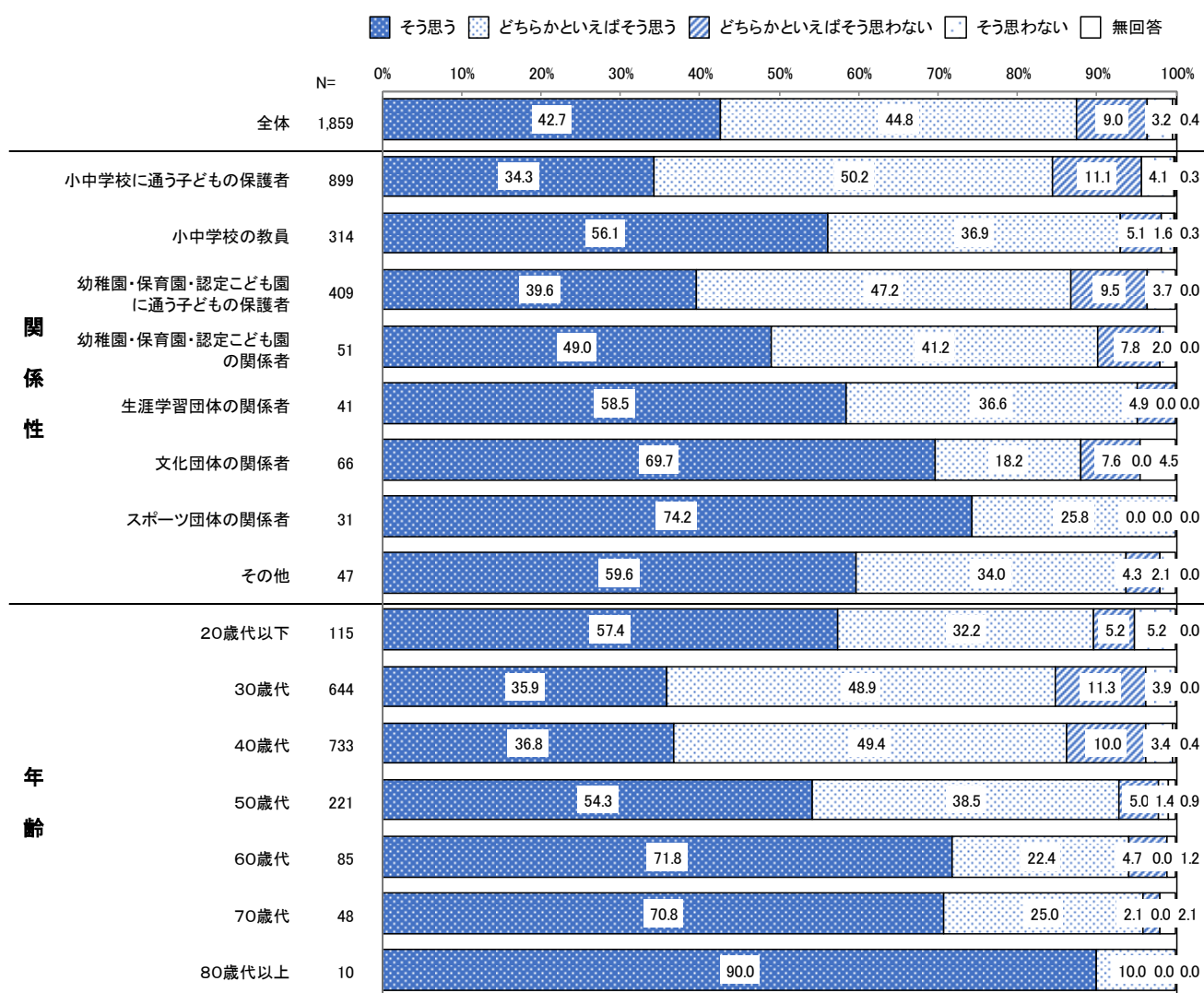




## 【関係性・年齢別】

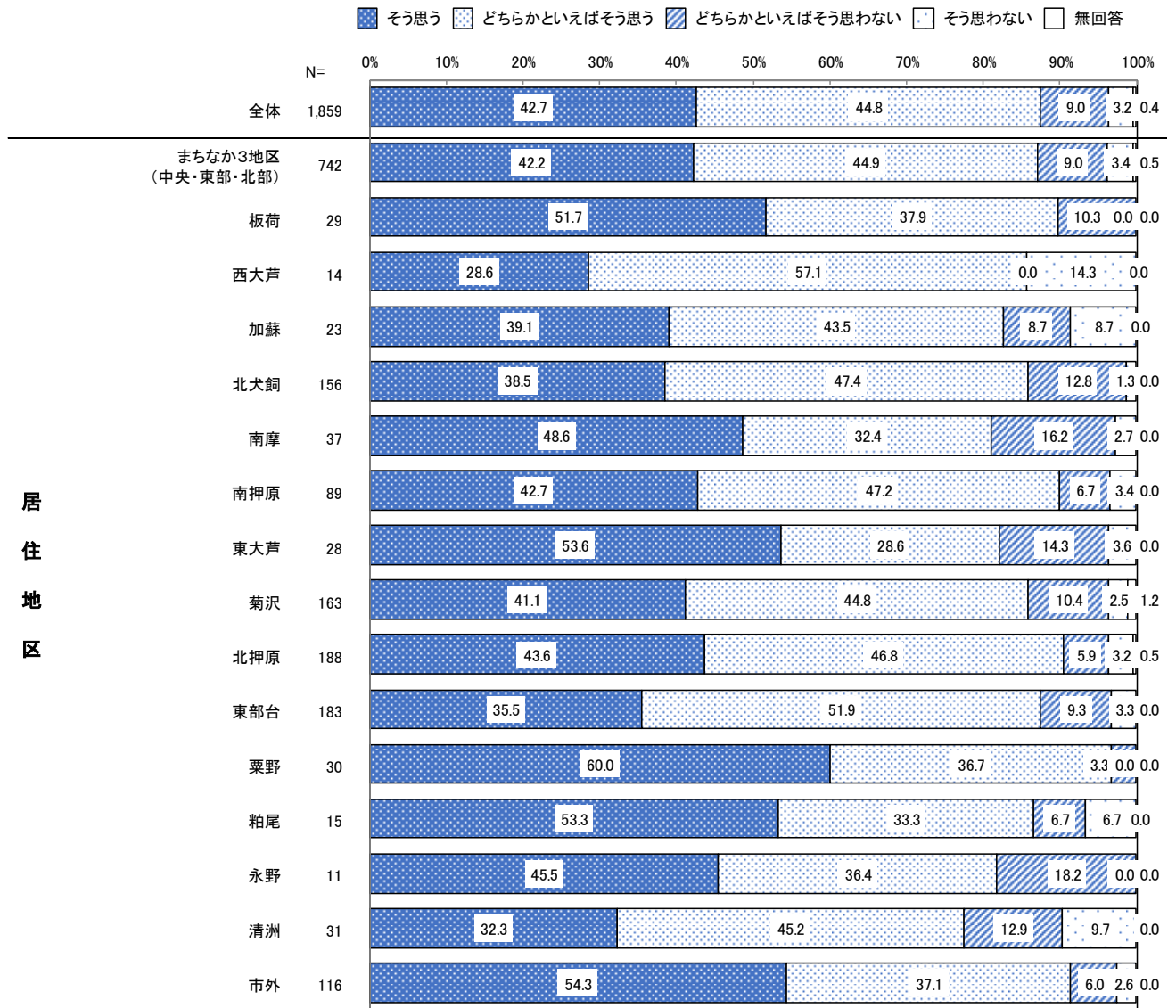
関係性別にみると、小中学校の教員、生涯学習団体の関係者、文化団体の関係者、スポーツ団体の関係者及びその他で「そう思う」の割合が高く、5割以上を占めている。小中学校に通う子どもの保護者では「そう思う」の割合が34.3%とやや低く、「どちらかといえばそう思わない」の割合が11.1%と他の関係性よりもやや高くなっている。

年齢別にみると、30歳代、40歳代を除くすべての年齢で「そう思う」の割合が最も高く、5割以上を占めている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合をみると、50歳代以上では9割以上を占めている。一方、40歳代以下では「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足した割合が比較的高く、1割台となっている。



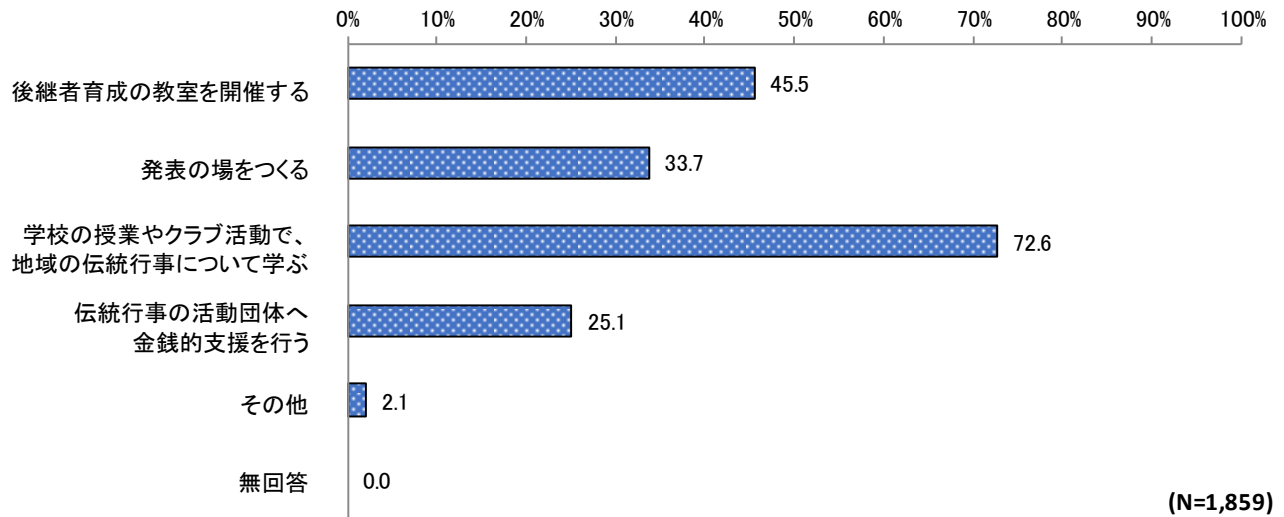
### 【居住地区別】

居住地区別にみると、板荷、東大芦、栗野、粕尾及び市外で「そう思う」の割合が高く、5割以上を占めている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合をみると、北押原、栗野、市外で9割以上を占め、他の地区と比べて高くなっている。



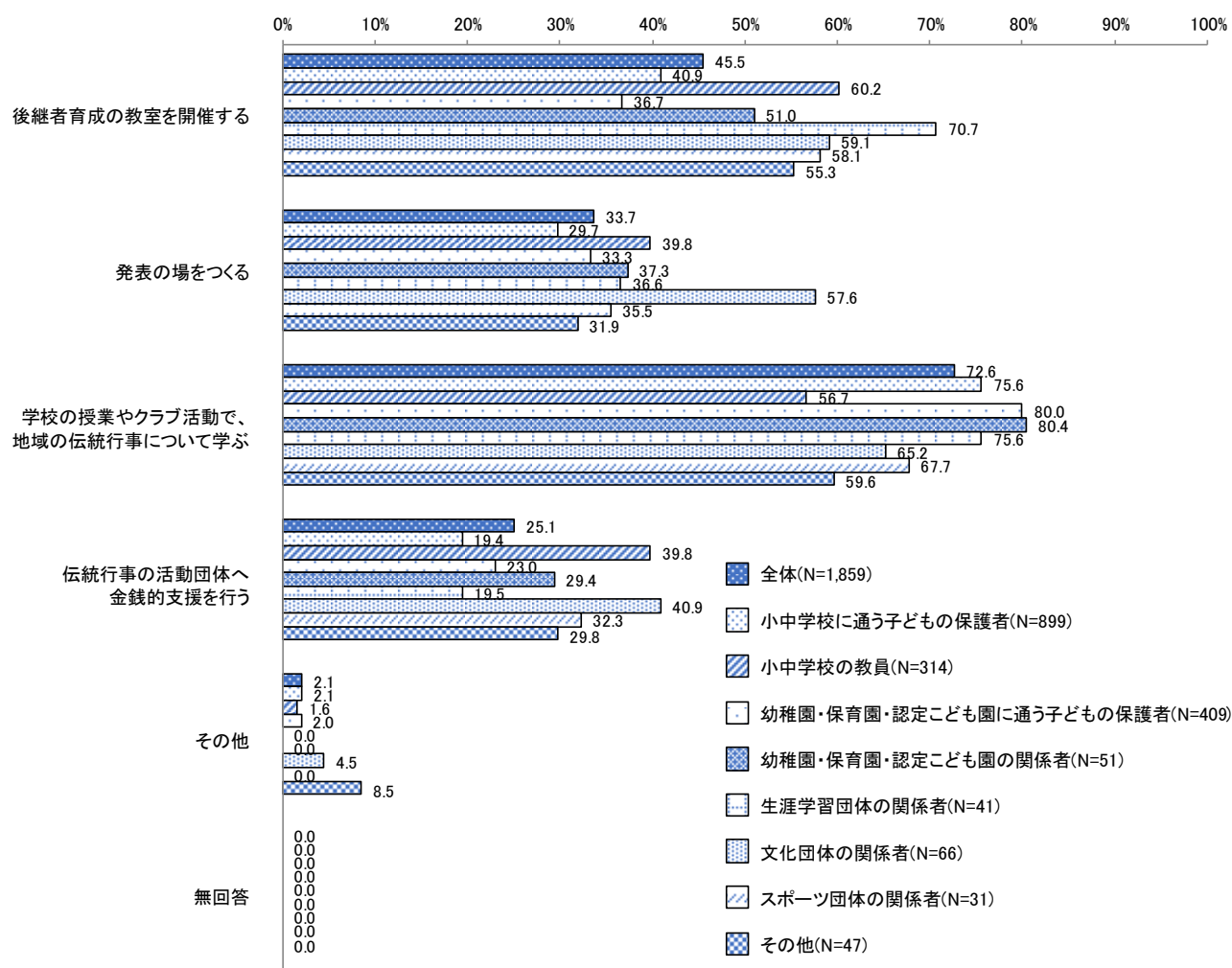
**Q21 地域の伝統行事を継承するためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数選択可】**

「学校の授業やクラブ活動で、地域の伝統行事について学ぶ」が72.6%と最も高く、次いで「後継者育成の教室を開催する」が45.5%、「発表の場をつくる」が33.7%となっている。



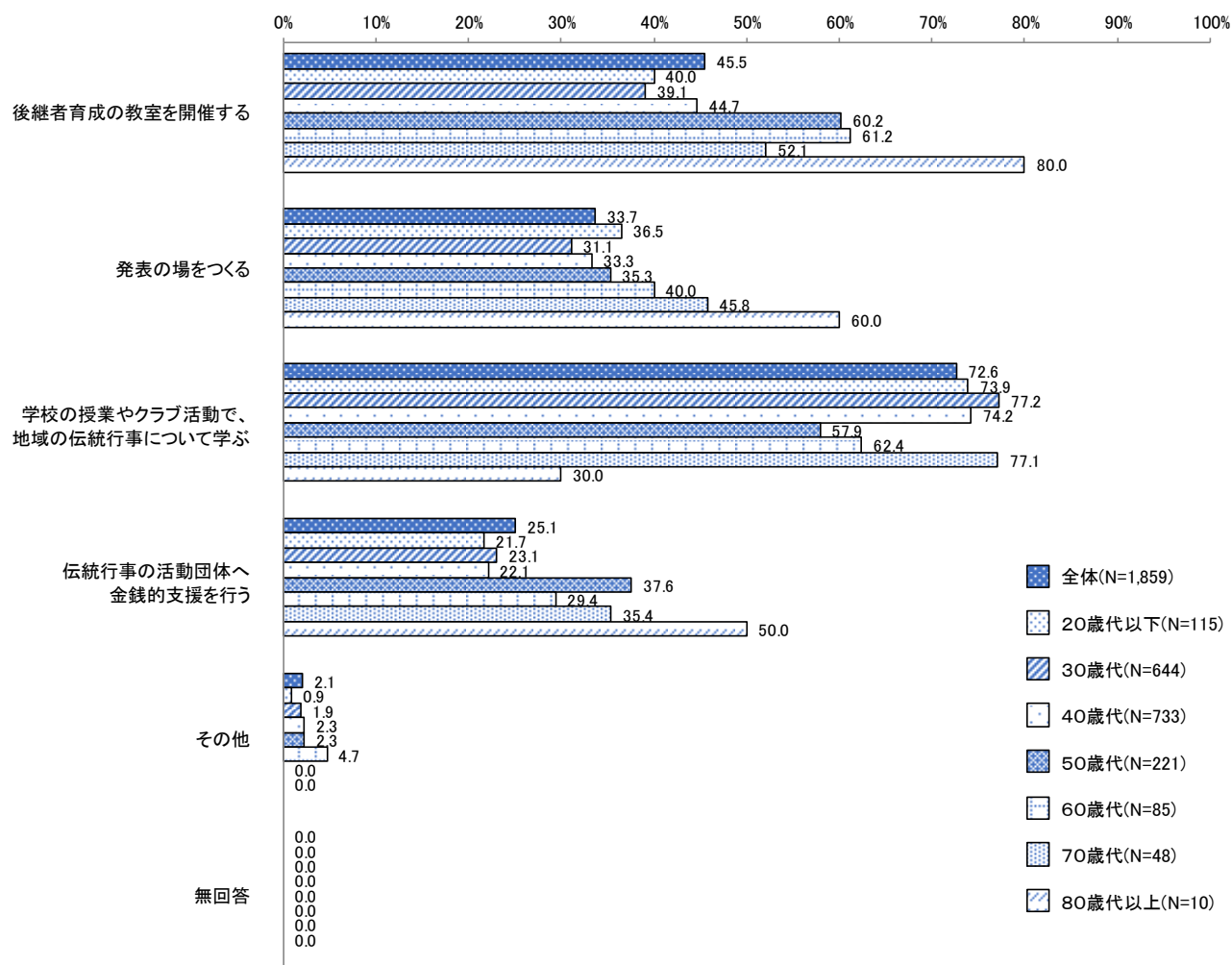
## 【関係性別】

関係性別にみると、小中学校の教員を除いたすべての関係性で「学校の授業やクラブ活動で、地域の伝統行事について学ぶ」の割合が最も高く、6割弱から約8割となっている。小中学校の教員では「後継者育成の教室を開催する」の割合が最も高くなっている。文化団体の関係者では「発表の場をつくる」の割合が57.6%と他の関係性と比べて高くなっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、50歳代及び80歳代以上を除いたすべての年代で「学校の授業やクラブ活動で、地域の伝統行事について学ぶ」の割合が最も高く、6割台から7割台となっている。50歳代以上では「後継者育成の教室を開催する」の割合が5割を超えており、40歳代以下と比べて高くなっている。



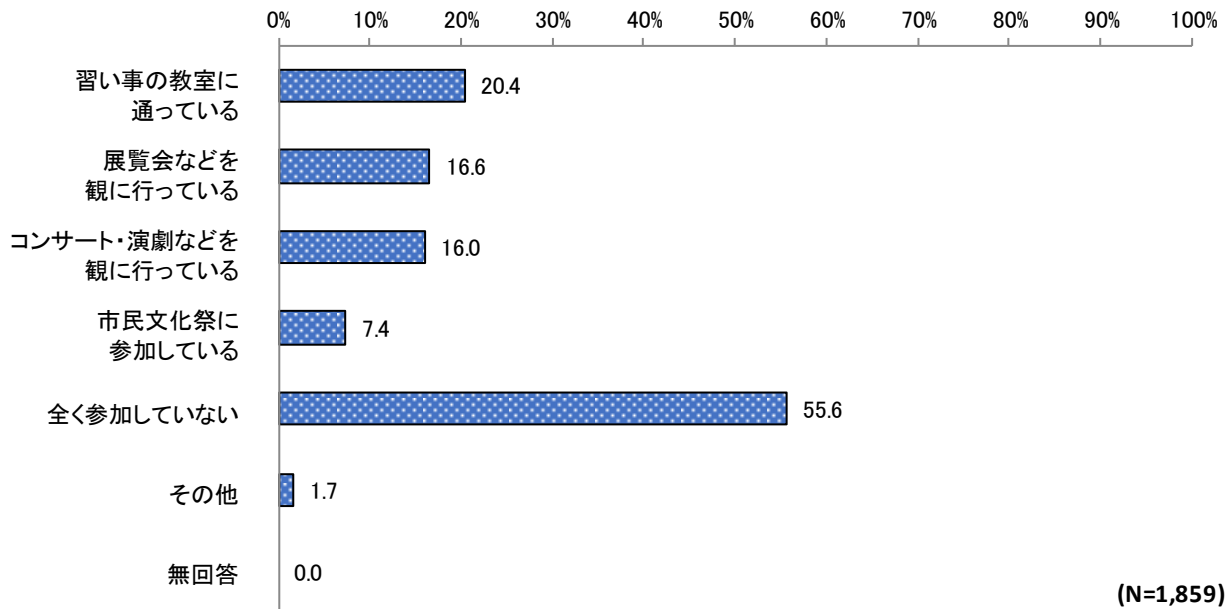
### 【居住地区別】

居住地区別にみると、すべての地区で「学校の授業やクラブ活動で、地域の伝統行事について学ぶ」の割合が最も高く5割台から7割台となっている。東大芦では「後継者育成の教室を開催する」の割合が60.7%と他の地区と比べて高くなっている。

		(上段:件数、下段:%)						
	全体	後継者育成の教室を開催	発表の場をつくる	学校、地域の授業やクラブ活動について学ぶ	伝統的行事の活動団体へ	金銭的支援を行う	その他	無回答
全体	1,859 100.0	845 45.5	627 33.7	1,350 72.6	467 25.1	39 2.1	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	322 43.4	247 33.3	540 72.8	181 24.4	18 2.4	0 0.0
	板荷	29 100.0	16 55.2	8 27.6	21 72.4	10 34.5	1 3.4	0 0.0
	西大芦	14 100.0	4 28.6	7 50.0	7 50.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	11 47.8	6 26.1	18 78.3	5 21.7	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	64 41.0	49 31.4	116 74.4	35 22.4	6 3.8	0 0.0
	南摩	37 100.0	18 48.6	9 24.3	24 64.9	15 40.5	1 2.7	0 0.0
	南押原	89 100.0	42 47.2	27 30.3	66 74.2	19 21.3	1 1.1	0 0.0
	東大芦	28 100.0	17 60.7	10 35.7	22 78.6	7 25.0	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	73 44.8	55 33.7	119 73.0	40 24.5	3 1.8	0 0.0
	北押原	188 100.0	88 46.8	63 33.5	144 76.6	44 23.4	2 1.1	0 0.0
	東部台	183 100.0	83 45.4	65 35.5	131 71.6	41 22.4	3 1.6	0 0.0
	粟野	30 100.0	12 40.0	7 23.3	22 73.3	8 26.7	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	6 40.0	4 26.7	10 66.7	4 26.7	1 6.7	0 0.0
	永野	11 100.0	6 54.5	3 27.3	8 72.7	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	17 54.8	9 29.0	22 71.0	7 22.6	2 6.5	0 0.0
	市外	116 100.0	65 56.0	56 48.3	76 65.5	44 37.9	1 0.9	0 0.0

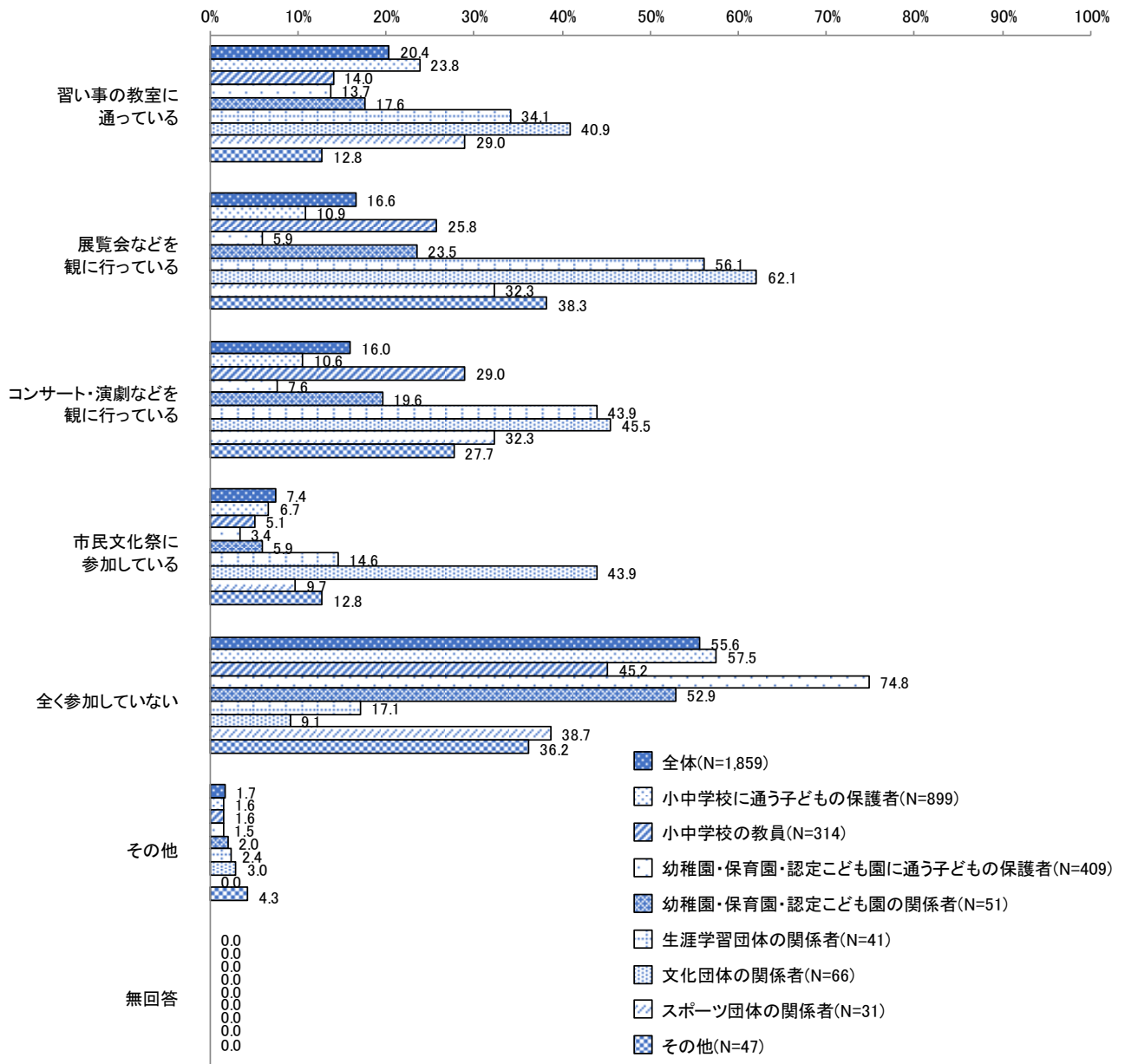
Q22 文化・芸術に関する習い事や催しに参加していますか。【複数選択可】

「全く参加していない」が55.6%と最も高く、次いで「習い事の教室に通っている」が20.4%、「展覧会などを観に行っている」が16.6%となっている。



### 【関係性別】

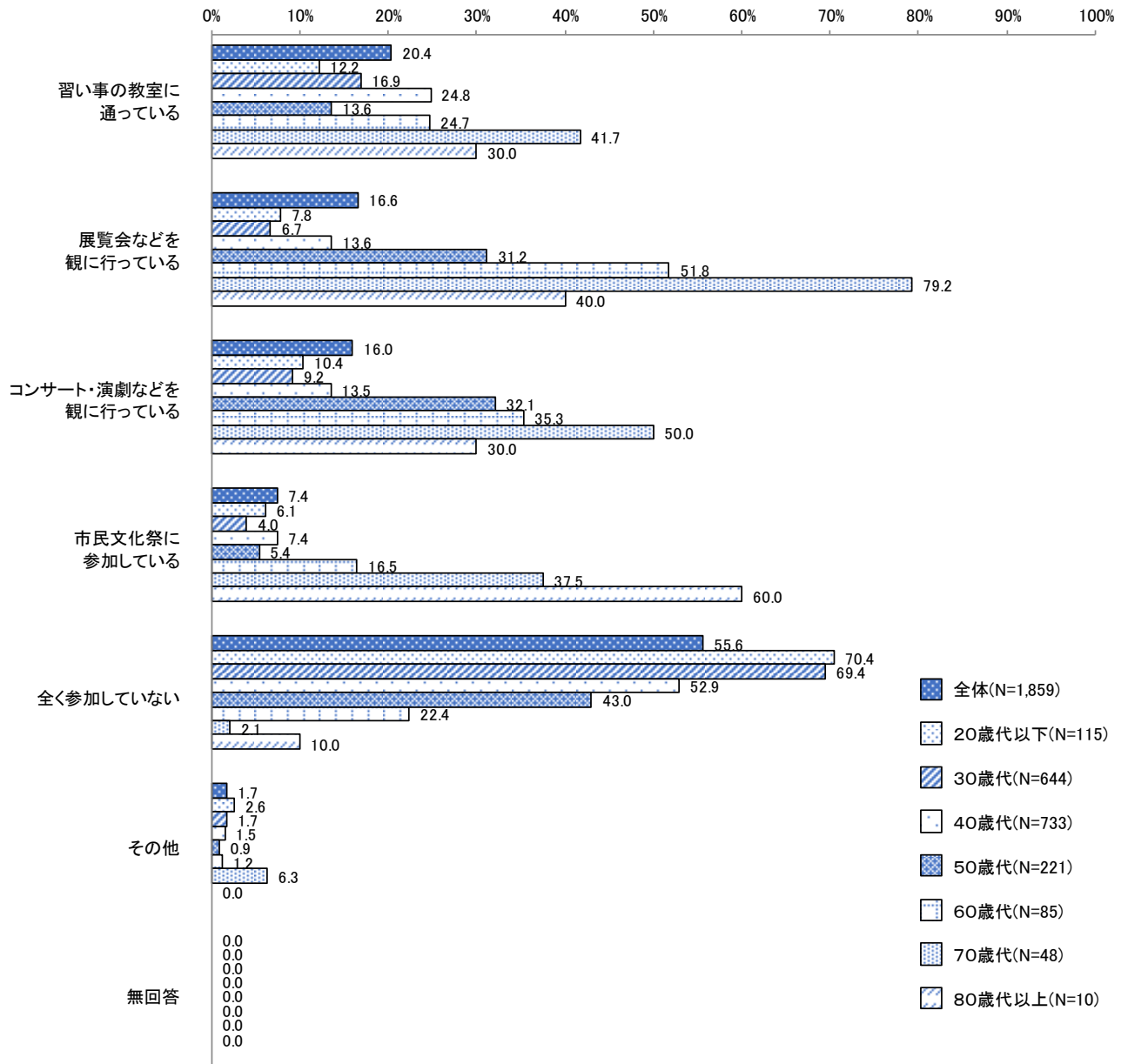
関係性別にみると、小中学校に通う子どもの保護者、小中学校の教員、幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者及びスポーツ団体の関係者では「全く参加していない」の割合が最も高く、幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者では74.8%となっている。文化団体の関係者では「市民文化祭に参加している」の割合が43.9%と他の関係性と比べて高くなっている。





### 【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以下では「全く参加していない」の割合が最も高く、20歳代以下及び30歳代では約7割となっている。60歳代及び70歳代では「展覧会などを観に行っている」の割合が他の年代と比べて高く、70歳代では79.2%となっている。



【居住地区別】

居住地区別にみると、永野を除いたすべての地区で「全く参加していない」の割合が最も高く、3割台から6割台となっている。永野では「習い事の教室に通っている」の割合が最も高くなっている。

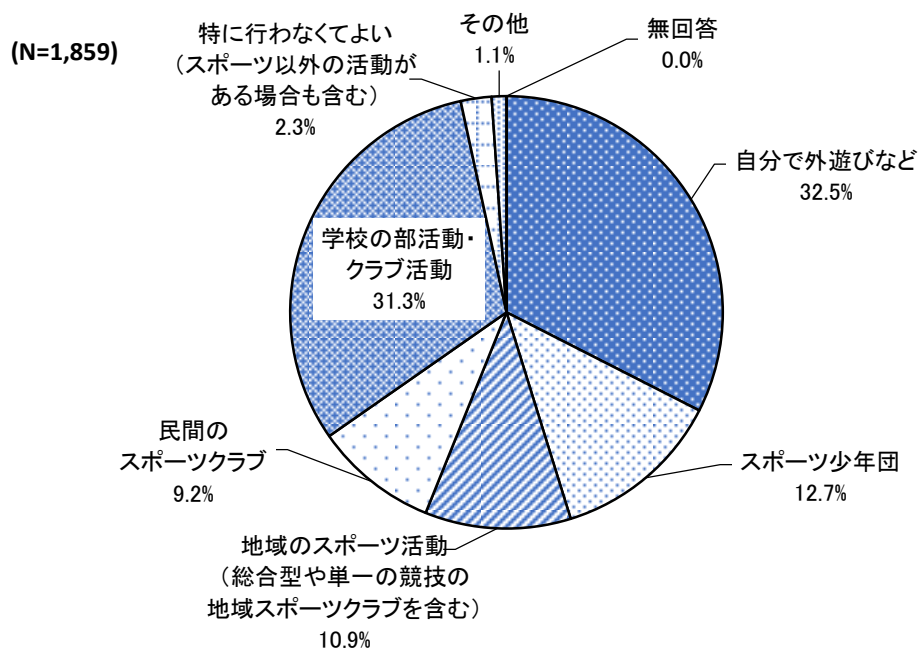
(上段:件数、下段:%)

	全体	い 習 い 事 の 教 室 に 通 っ て	い 展 覧 会 な ど を 観 に 行 っ て	観 コ ン サ ー ト ・ 演 劇 な ど を 行 っ て い る	い 市 民 文 化 祭 に 参 加 し て	全 く 参 加 し て い な い	そ の 他	無 回 答	
全体	1,859 100.0	379 20.4	308 16.6	298 16.0	137 7.4	1,034 55.6	31 1.7	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	147 19.8	121 16.3	106 14.3	60 8.1	434 58.5	16 2.2	0 0.0
	板荷	29 100.0	7 24.1	7 24.1	8 27.6	2 6.9	11 37.9	2 6.9	0 0.0
	西大芦	14 100.0	2 14.3	3 21.4	1 7.1	2 14.3	9 64.3	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	8 34.8	6 26.1	2 8.7	1 4.3	12 52.2	1 4.3	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	39 25.0	28 17.9	20 12.8	9 5.8	84 53.8	0 0.0	0 0.0
	南摩	37 100.0	6 16.2	8 21.6	10 27.0	3 8.1	21 56.8	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	20 22.5	13 14.6	14 15.7	5 5.6	50 56.2	2 2.2	0 0.0
	東大芦	28 100.0	8 28.6	4 14.3	5 17.9	2 7.1	12 42.9	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	33 20.2	26 16.0	32 19.6	12 7.4	83 50.9	3 1.8	0 0.0
	北押原	188 100.0	27 14.4	22 11.7	21 11.2	12 6.4	122 64.9	4 2.1	0 0.0
	東部台	183 100.0	44 24.0	27 14.8	30 16.4	14 7.7	95 51.9	0 0.0	0 0.0
	粟野	30 100.0	5 16.7	5 16.7	6 20.0	1 3.3	17 56.7	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	2 13.3	4 26.7	3 20.0	3 20.0	8 53.3	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	6 54.5	1 9.1	0 0.0	2 18.2	3 27.3	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	9 29.0	10 32.3	2 6.5	0 0.0	15 48.4	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	16 13.8	22 19.0	38 32.8	9 7.8	55 47.4	3 2.6	0 0.0

## 2-7 スポーツについて

Q23 子どもは体育の授業以外にどのような環境でスポーツや運動を行うことが望ましいと思いますか。【1つ選択】

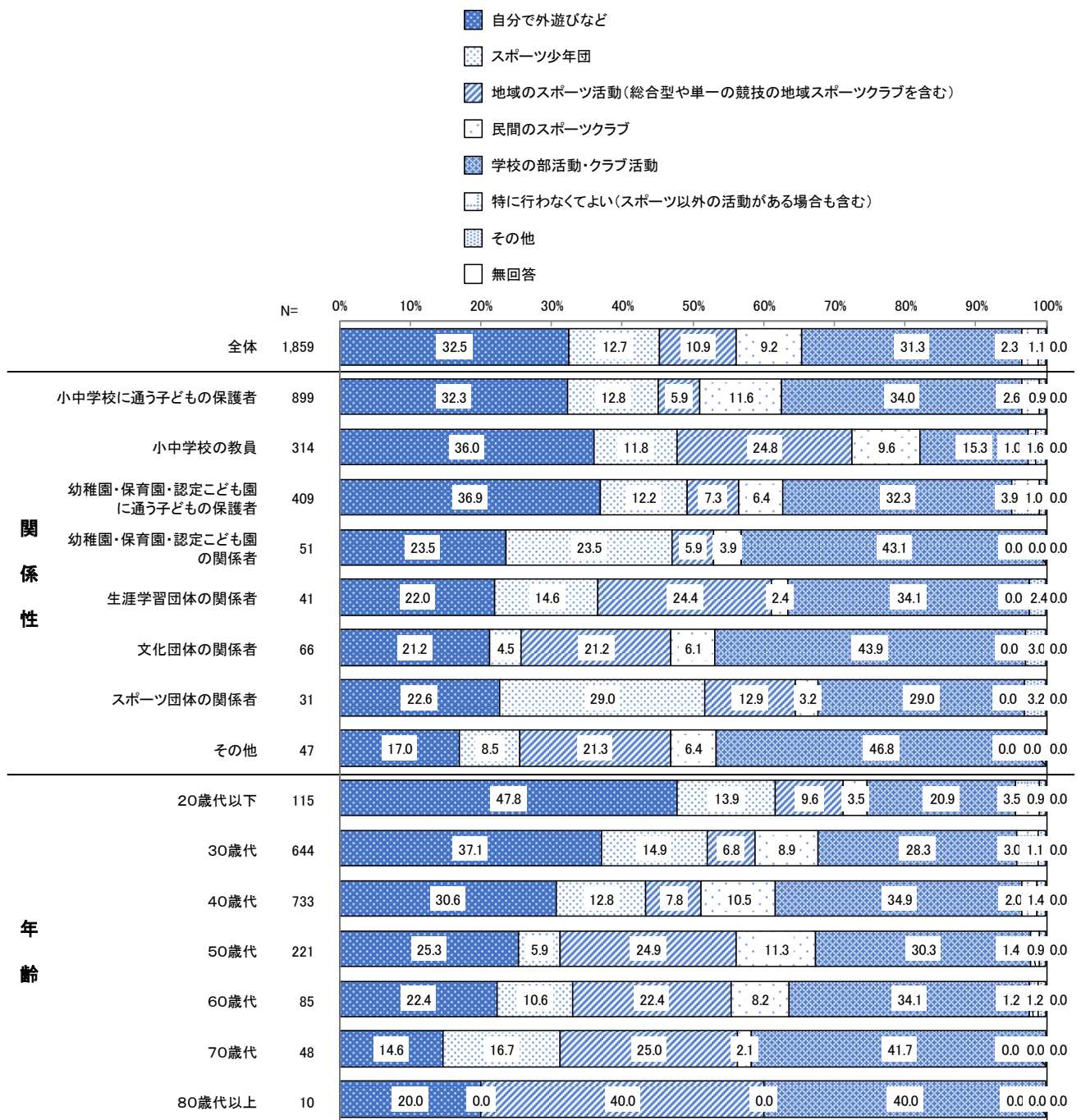
「自分で外遊びなど」が32.5%と最も高く、次いで「学校の部活動・クラブ活動」が31.3%、「スポーツ少年団」が12.7%となっている。



### 【関係性・年齢別】

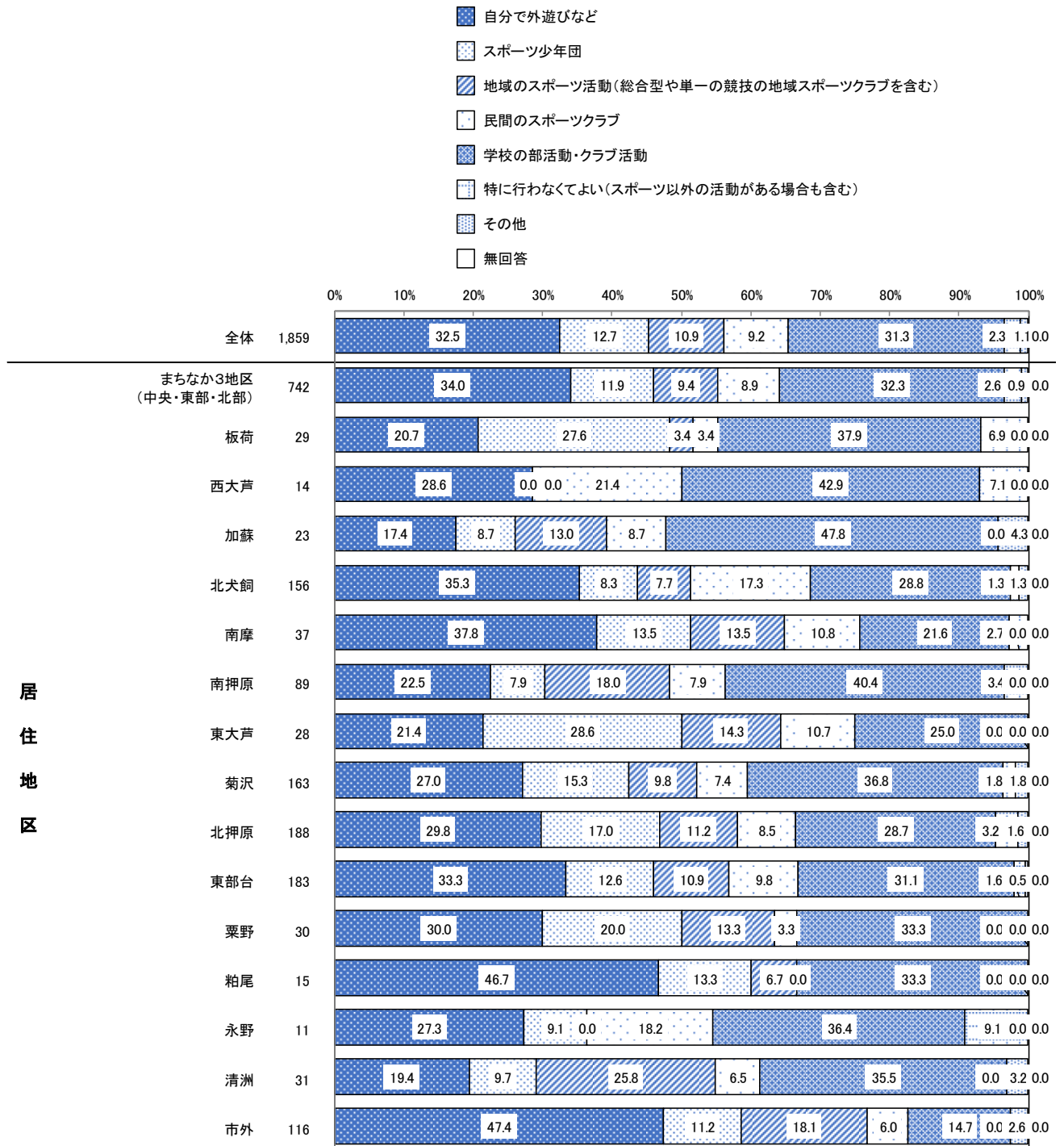
関係性別にみると、小中学校の教員、生涯学習団体の関係者、文化団体の関係者及びその他では「地域のスポーツ活動（総合型や単一の競技の地域スポーツクラブを含む）」、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者及びスポーツ団体の関係者では「スポーツ少年団」の割合が比較的高く、それぞれ2割以上を占めている。

年齢別にみると、20歳代以下から70歳代では年齢が低いほど「自分で外遊びなど」の割合が高く、20歳代以下では47.8%となっている。40歳代以上では「学校の部活動・クラブ活動」の割合が最も高く、3割から4割を占めている。



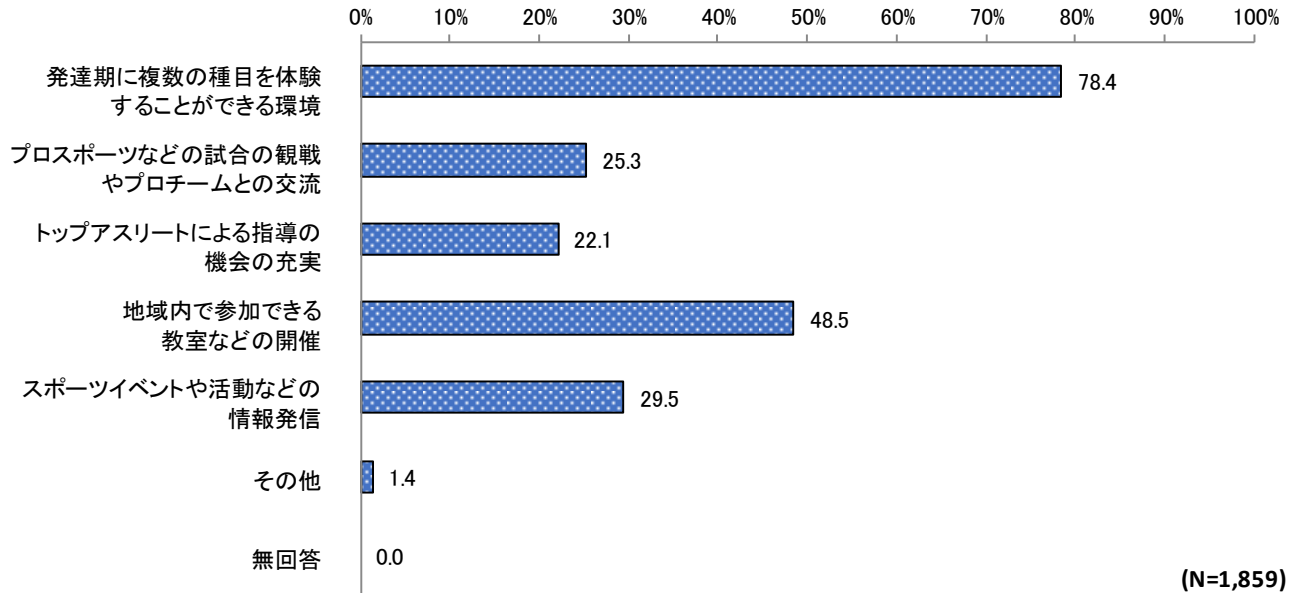
### 【居住地区別】

居住地区別にみると、板荷及び東大芦では「スポーツ少年団」の割合が比較的高く、3割弱となっている。清州では「地域のスポーツ活動（総合型や単一の競技の地域スポーツクラブを含む）」の割合が25.8%と他の地区よりも高くなっている。



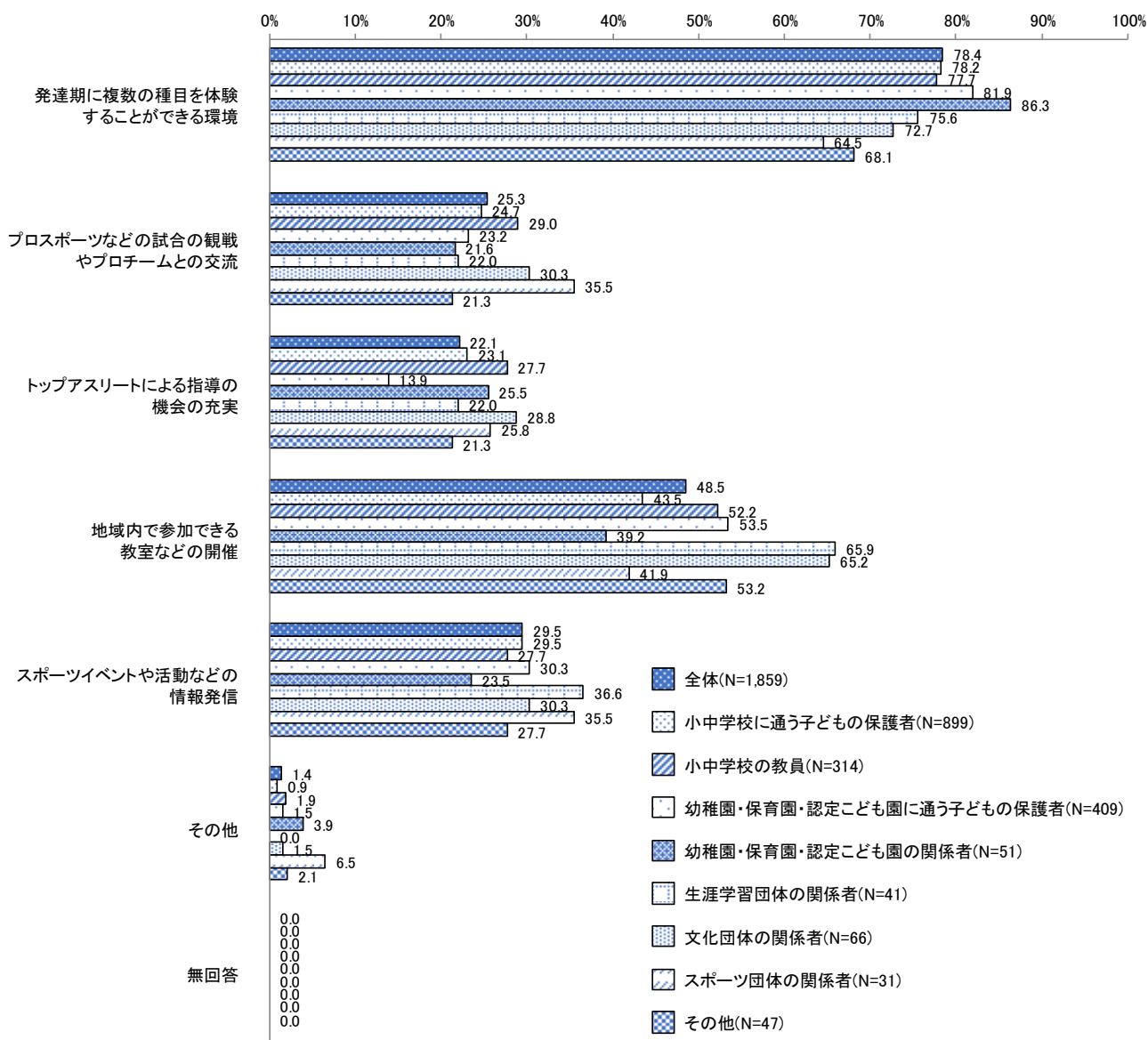
**Q24 子どもがスポーツ(運動や体を動かす遊びを含む)に興味を持つために必要なことは何だと思えますか。  
【複数選択可】**

「発達期に複数の種目を体験することができる環境」が78.4%と最も高く、次いで「地域内で参加できる教室などの開催」が48.5%、「スポーツイベントや活動などの情報発信」が29.5%となっている。



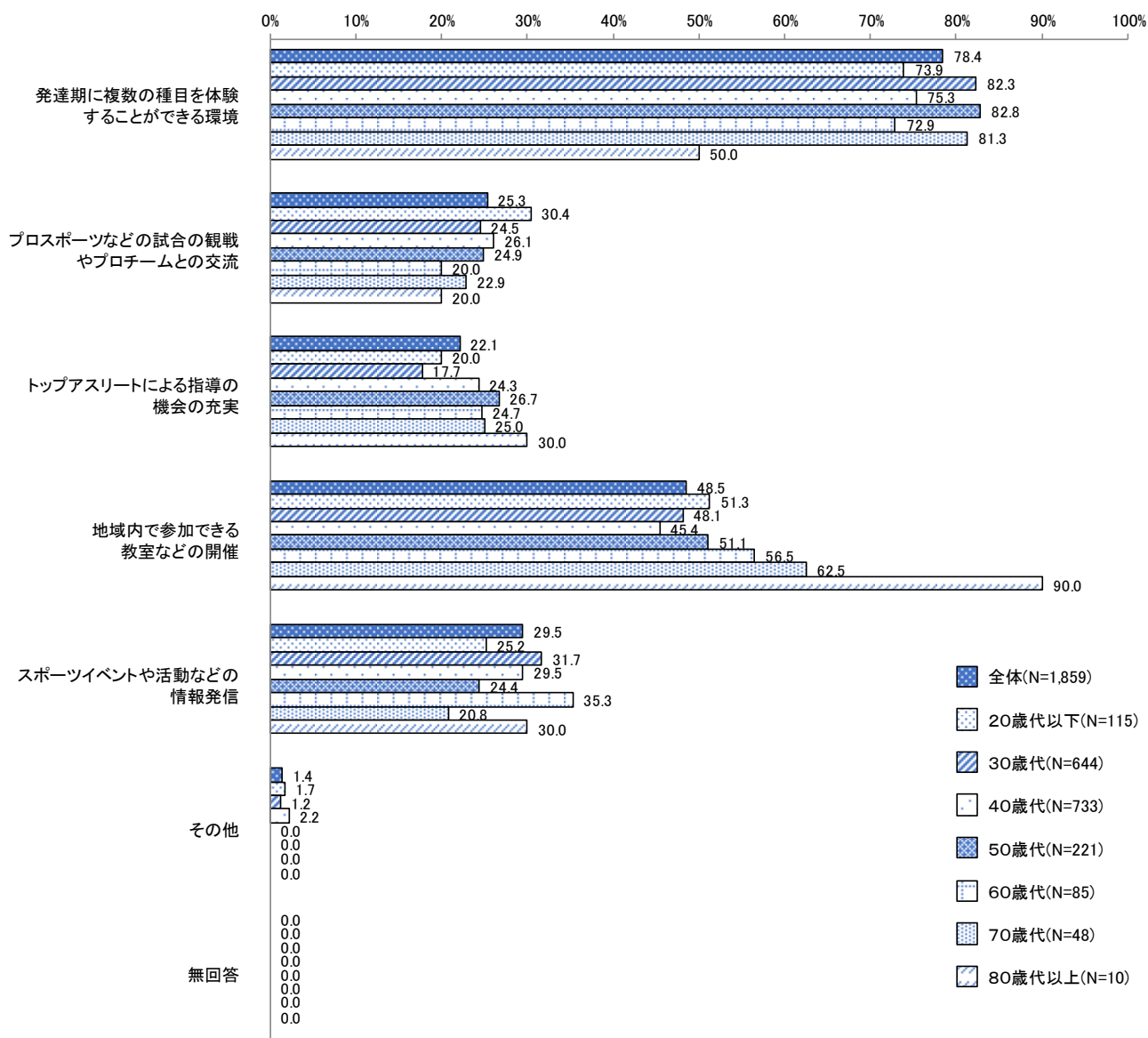
## 【関係性別】

関係性別にみると、すべての関係性で「発達期に複数の種目を体験することができる環境」の割合が最も高く、6割以上となっている。生涯学習団体の関係者及び文化団体の関係者では「地域内で参加できる教室などの開催」の割合が6割以上となっており、他の関係性と比べて高くなっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、80歳代以上を除いたすべての年代で「発達期に複数の種目を体験することができる環境」の割合が最も高く、7割強から8割強となっている。80歳代以上では「地域内で参加できる教室などの開催」が90.0%となっている。





【居住地区別】

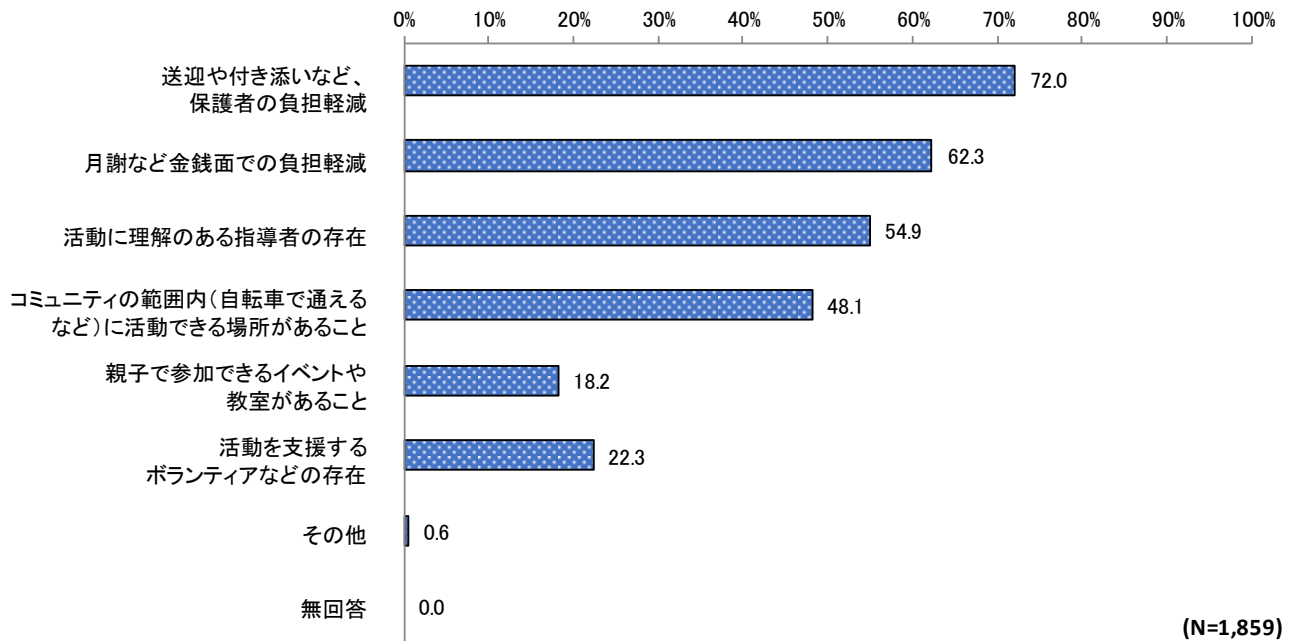
居住地区別にみると、すべての地区で「発達期に複数の種目を体験することができる環境」の割合が最も高く、5割台から9割台となっている。粕尾では「地域内で参加できる教室などの開催」も同率で最も高い。

(上段:件数、下段:%)

	全体	環境体験するに複数の種目を	交流の観戦やプロチームとの試合	指導の機会充実	トップアスリートによる	地域内で参加できる教室	スポーツイベントや活動	その他	無回答
全体	1,859 100.0	1,458 78.4	470 25.3	411 22.1	902 48.5	548 29.5	26 1.4	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	585 78.8	183 24.7	153 20.6	341 46.0	225 30.3	8 1.1	0 0.0
	板荷	29 100.0	27 93.1	6 20.7	5 17.2	14 48.3	7 24.1	2 6.9	0 0.0
	西大芦	14 100.0	10 71.4	2 14.3	0 0.0	7 50.0	4 28.6	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	13 56.5	6 26.1	6 26.1	11 47.8	6 26.1	1 4.3	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	127 81.4	50 32.1	38 24.4	73 46.8	36 23.1	3 1.9	0 0.0
	南摩	37 100.0	28 75.7	8 21.6	6 16.2	19 51.4	9 24.3	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	68 76.4	19 21.3	22 24.7	41 46.1	27 30.3	0 0.0	0 0.0
	東大芦	28 100.0	21 75.0	8 28.6	5 17.9	15 53.6	12 42.9	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	120 73.6	37 22.7	38 23.3	79 48.5	46 28.2	3 1.8	0 0.0
	北押原	188 100.0	152 80.9	45 23.9	38 20.2	106 56.4	56 29.8	4 2.1	0 0.0
	東部台	183 100.0	146 79.8	49 26.8	50 27.3	85 46.4	57 31.1	3 1.6	0 0.0
	粟野	30 100.0	22 73.3	7 23.3	8 26.7	17 56.7	9 30.0	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	10 66.7	0 0.0	1 6.7	10 66.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	9 81.8	2 18.2	3 27.3	8 72.7	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	28 90.3	9 29.0	4 12.9	17 54.8	9 29.0	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	90 77.6	38 32.8	34 29.3	59 50.9	33 28.4	2 1.7	0 0.0

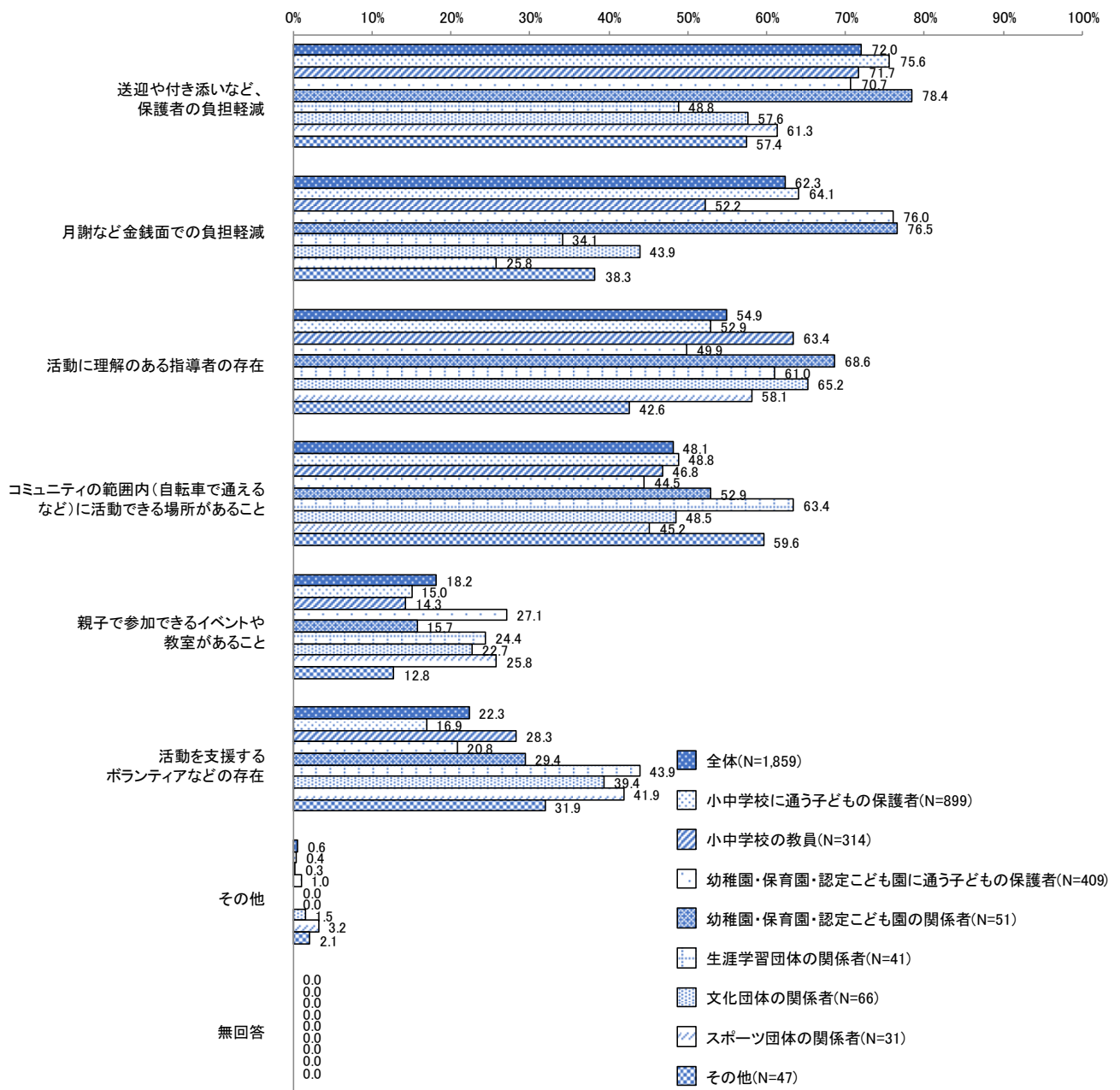
Q25 子どもが継続して、スポーツや運動に参加するために必要なことは何だと思えますか。【複数選択可】

「送迎や付き添いなど、保護者の負担軽減」が72.0%と最も高く、次いで「月謝など金銭面での負担軽減」が62.3%、「活動に理解のある指導者の存在」が54.9%となっている。



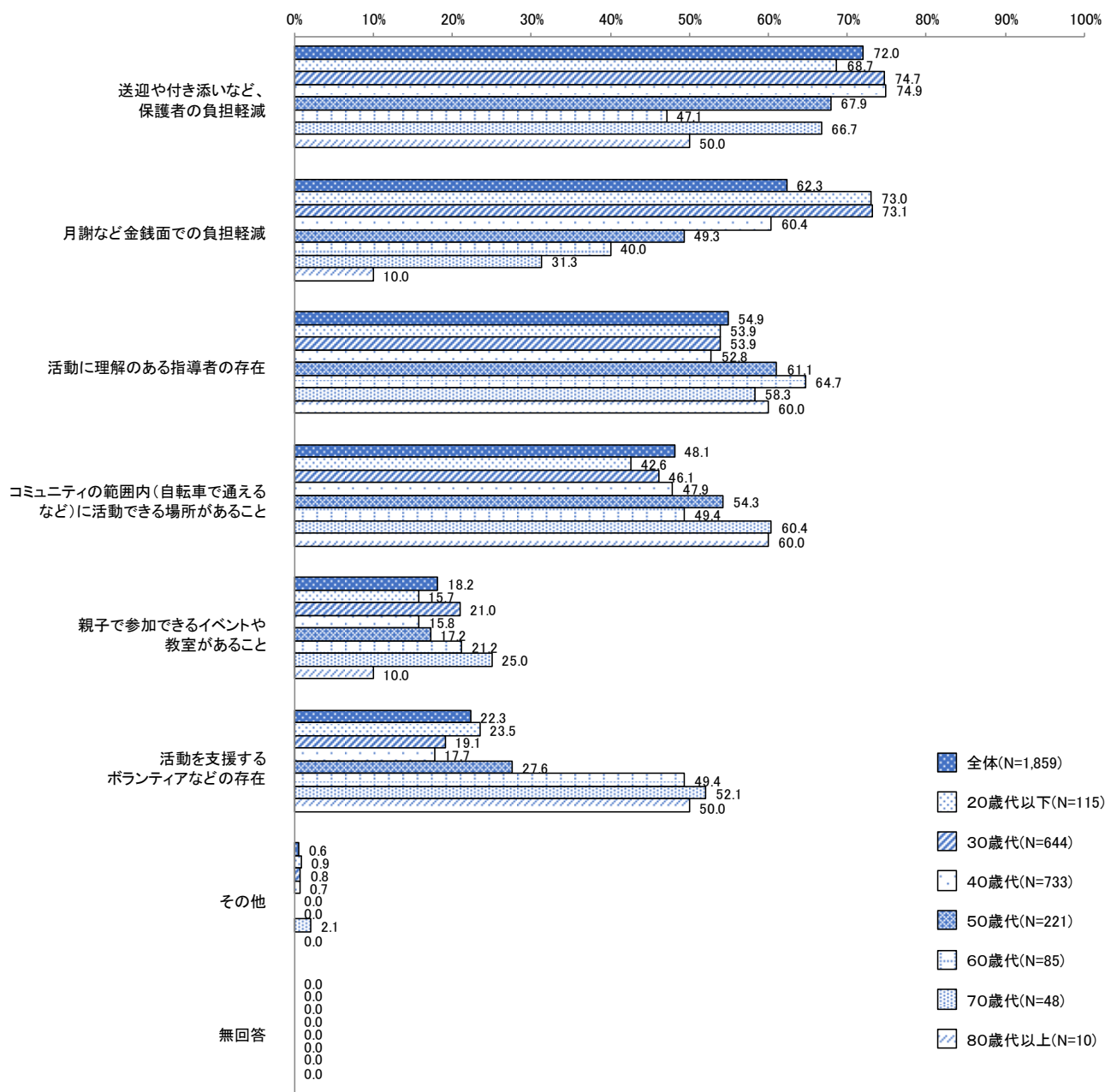
## 【関係性別】

関係性別にみると、小中学校に通う子どもの保護者、小中学校の教員、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者及びスポーツ団体の関係者では「送迎や付き添いなど、保護者の負担軽減」の割合が最も高く、6割強から7割半ばとなっている。幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者では「月謝など金銭面での負担軽減」、生涯学習団体の関係者では「コミュニティの範囲内（自転車で通えるなど）に活動できる場所があること」、文化団体の関係者では「活動に理解のある指導者の存在」の割合が最も高くなっており、関係性により違いがみられる。



## 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代、40歳代、50歳代及び70歳代では「送迎や付き添いなど、保護者の負担軽減」の割合が最も高く、7割前後となっている。20歳代以下では「月謝など金銭面での負担軽減」の割合が73.0%と最も高く、73.1%の30歳代とともに、他の年代と比べて高くなっている。



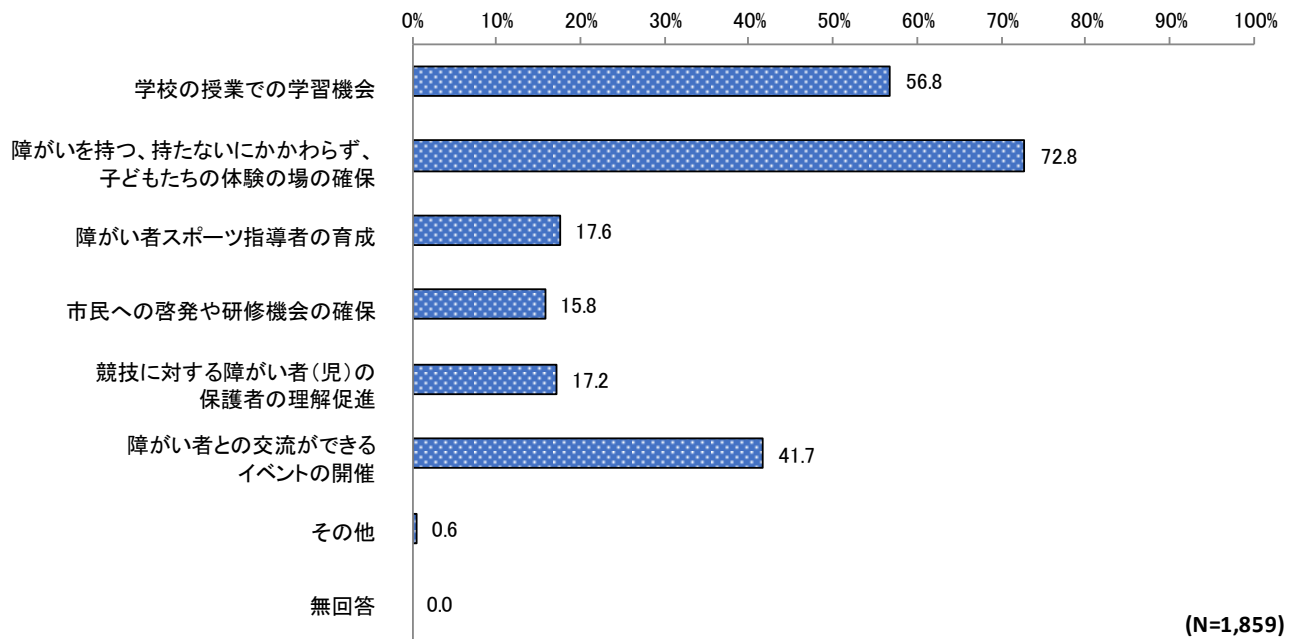
【居住地区別】

居住地区別にみると、板荷、西大芦、粕尾及び永野を除いたすべての地区で「送迎や付き添いなど、保護者の負担軽減」の割合が最も高く7割弱から8割半ばとなっている。西大芦及び永野では「月謝など金銭面での負担軽減」の割合が8割前後となっており、他の地区と比べて高くなっている。

		(上段:件数、下段:%)								
	全体	送迎や付き添いなど、保護者の負担軽減	月謝など金銭面での負担軽減	活動に理解のある指導者の存在	こゝろ活動できる場所がある	コミュニケーションの範囲内	親や教室があること	活動を支援するボランティアの存在	その他	無回答
全体	1,859 100.0	1,338 72.0	1,159 62.3	1,020 54.9	895 48.1	339 18.2	414 22.3	12 0.6	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	536 72.2	488 65.8	407 54.9	348 46.9	150 20.2	157 21.2	4 0.5	0 0.0
	板荷	29 100.0	17 58.6	14 48.3	17 58.6	18 62.1	4 13.8	9 31.0	1 3.4	0 0.0
	西大芦	14 100.0	8 57.1	11 78.6	6 42.9	5 35.7	1 7.1	3 21.4	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	17 73.9	15 65.2	12 52.2	11 47.8	7 30.4	7 30.4	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	104 66.7	97 62.2	85 54.5	76 48.7	23 14.7	35 22.4	1 0.6	0 0.0
	南摩	37 100.0	26 70.3	21 56.8	23 62.2	17 45.9	2 5.4	7 18.9	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	59 66.3	44 49.4	52 58.4	44 49.4	21 23.6	26 29.2	0 0.0	0 0.0
	東大芦	28 100.0	24 85.7	14 50.0	12 42.9	11 39.3	8 28.6	6 21.4	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	118 72.4	110 67.5	88 54.0	82 50.3	28 17.2	32 19.6	2 1.2	0 0.0
	北押原	188 100.0	147 78.2	114 60.6	103 54.8	95 50.5	23 12.2	40 21.3	1 0.5	0 0.0
	東部台	183 100.0	138 75.4	113 61.7	92 50.3	92 50.3	33 18.0	36 19.7	2 1.1	0 0.0
	粟野	30 100.0	23 76.7	20 66.7	18 60.0	14 46.7	5 16.7	4 13.3	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	8 53.3	6 40.0	10 66.7	9 60.0	2 13.3	6 40.0	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	7 63.6	9 81.8	5 45.5	5 45.5	5 45.5	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	23 74.2	17 54.8	13 41.9	13 41.9	6 19.4	8 25.8	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	80 69.0	63 54.3	77 66.4	55 47.4	20 17.2	33 28.4	1 0.9	0 0.0

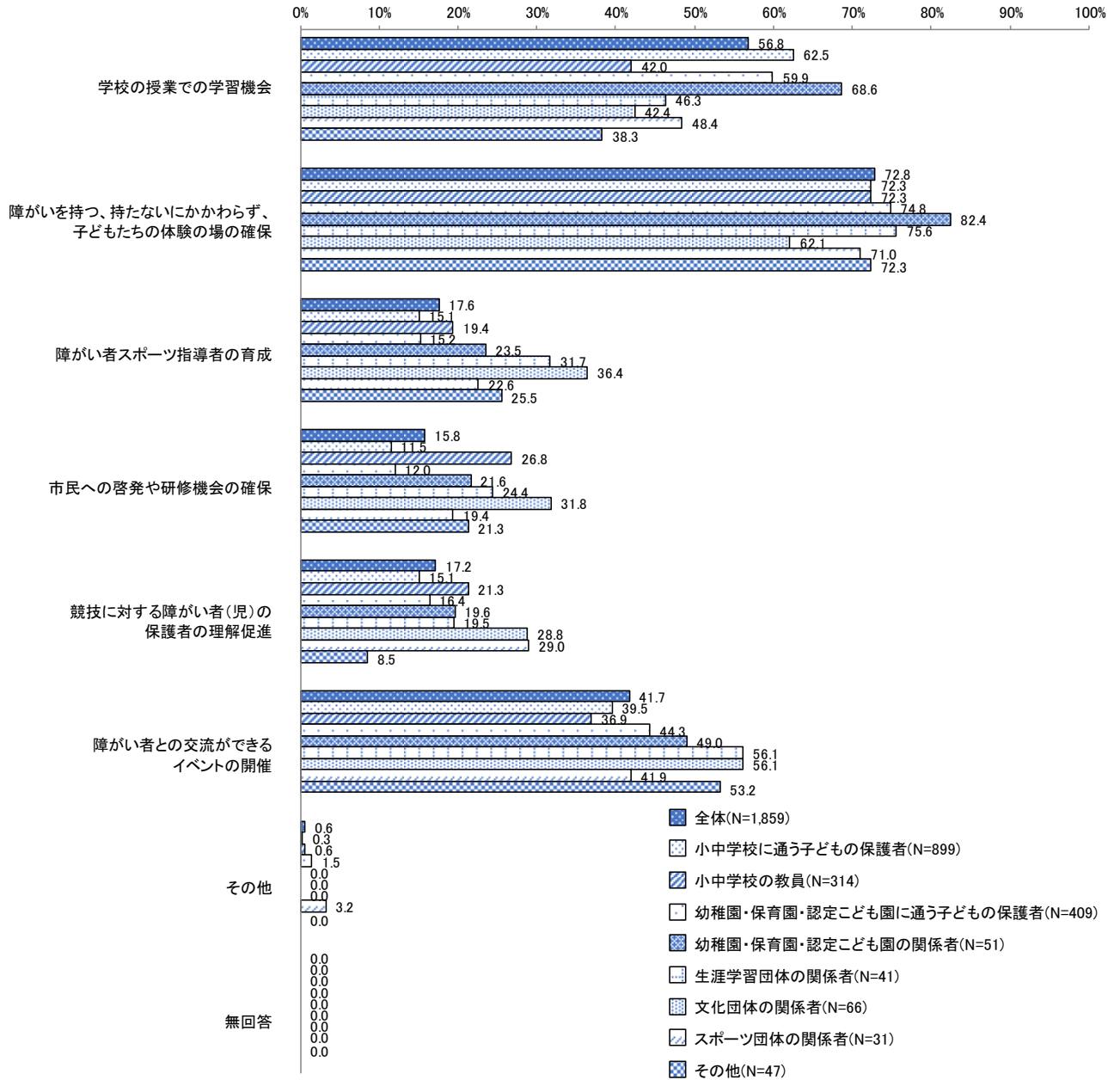
Q26 今年度にパラリンピック、令和4年度には栃木県で全国障害者スポーツ大会が行われますが、障がい者スポーツの理解や普及を進めるために何が重要だと思いますか。【複数選択可】

「障がいを持つ、持たないにかかわらず、子どもたちの体験の場の確保」が72.8%と最も高く、次いで「学校の授業での学習機会」が56.8%、「障がい者との交流ができるイベントの開催」が41.7%となっている。



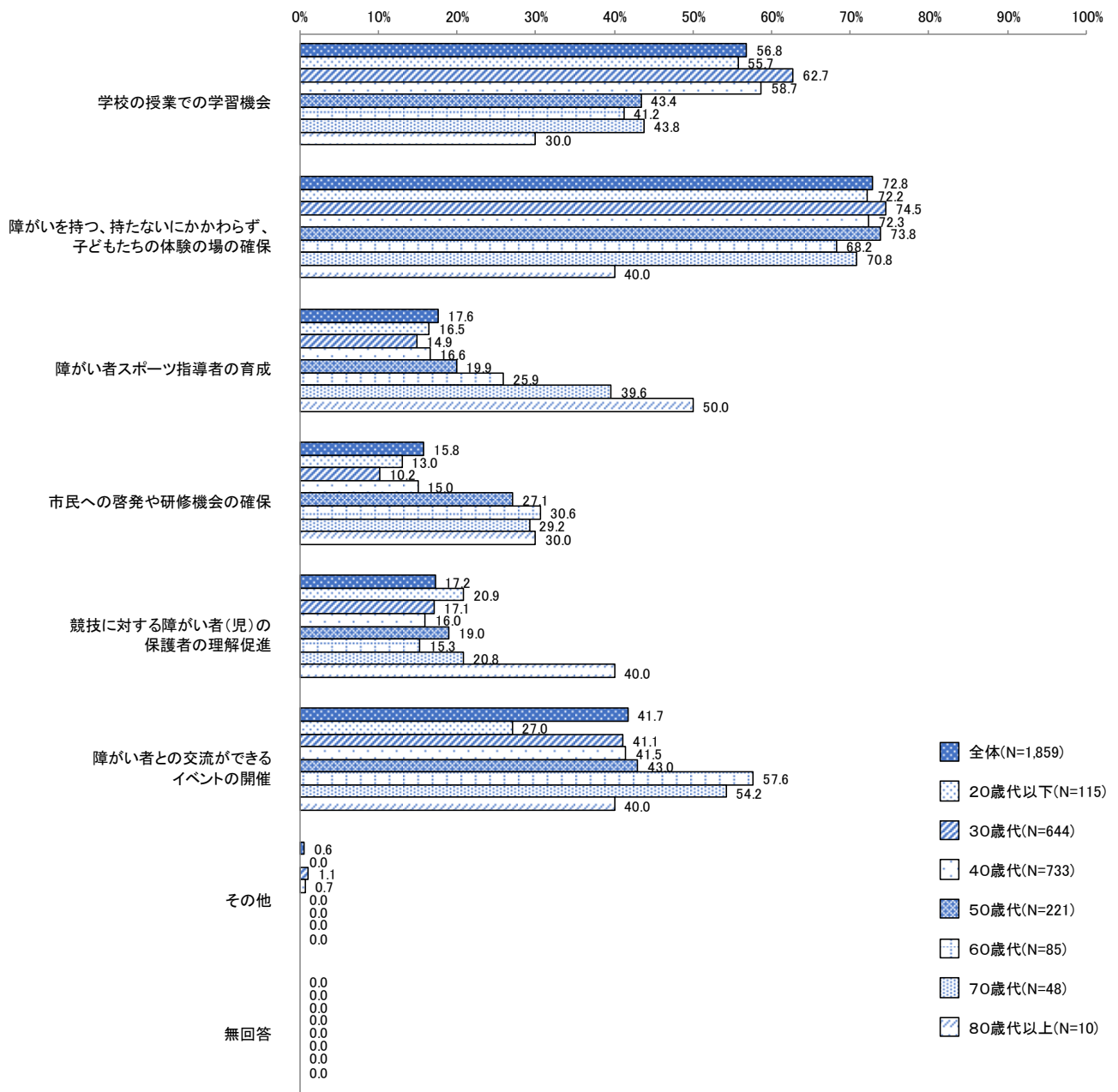
## 【関係性別】

関係性別にみると、すべての関係性で「障がいを持つ、持たないにかかわらず、子どもたちの体験の場の確保」の割合が最も高く、6割台から8割台となっている。幼稚園・保育園・認定こども園の関係者では「学校の授業での学習機会」の割合が68.6%と他の関係性と比べて高くなっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、80歳代以上を除いたすべての年代で「障がいを持つ、持たないにかかわらず、子どもたちの体験の場の確保」の割合が最も高く、7割前後となっている。50歳代以上では「市民への啓発や研修機会の確保」の割合が3割前後と40歳代以下の年代と比べて高くなっている。





【居住地区別】

居住地区別にみると、すべての地区で「障がいを持つ、持たないにかかわらず、子どもたちの体験の場の確保」の割合が最も高く6割台から8割台となっている。東大芦では「障がい者との交流ができるイベントの開催」の割合が57.1%と他の地区と比べて高くなっている。

		(上段:件数、下段:%)								
	全体	学校の授業での学習機会	障がいの体験の場の確保	障がい者スポーツ指導者の育成	市民への啓発や研修機会の確保	促進(競技)に対する障がい者の理解	障がい者との交流の開催	その他	無回答	
全体	1,859 100.0	1,055 56.8	1,353 72.8	328 17.6	294 15.8	320 17.2	776 41.7	12 0.6	0 0.0	
居住地区	まちなか3地区 (中央・東部・北部)	742 100.0	412 55.5	549 74.0	140 18.9	107 14.4	120 16.2	321 43.3	4 0.5	0 0.0
	板荷	29 100.0	19 65.5	23 79.3	10 34.5	4 13.8	8 27.6	11 37.9	0 0.0	0 0.0
	西大芦	14 100.0	7 50.0	9 64.3	3 21.4	2 14.3	3 21.4	7 50.0	0 0.0	0 0.0
	加蘇	23 100.0	14 60.9	15 65.2	5 21.7	3 13.0	2 8.7	11 47.8	0 0.0	0 0.0
	北犬飼	156 100.0	94 60.3	116 74.4	18 11.5	19 12.2	25 16.0	72 46.2	0 0.0	0 0.0
	南摩	37 100.0	16 43.2	27 73.0	5 13.5	2 5.4	4 10.8	16 43.2	0 0.0	0 0.0
	南押原	89 100.0	46 51.7	62 69.7	16 18.0	10 11.2	15 16.9	36 40.4	1 1.1	0 0.0
	東大芦	28 100.0	17 60.7	20 71.4	6 21.4	3 10.7	6 21.4	16 57.1	0 0.0	0 0.0
	菊沢	163 100.0	97 59.5	120 73.6	29 17.8	28 17.2	28 17.2	70 42.9	4 2.5	0 0.0
	北押原	188 100.0	116 61.7	134 71.3	26 13.8	33 17.6	33 17.6	71 37.8	1 0.5	0 0.0
	東部台	183 100.0	105 57.4	136 74.3	28 15.3	31 16.9	34 18.6	62 33.9	1 0.5	0 0.0
	粟野	30 100.0	18 60.0	21 70.0	3 10.0	6 20.0	3 10.0	10 33.3	0 0.0	0 0.0
	粕尾	15 100.0	6 40.0	12 80.0	2 13.3	5 33.3	2 13.3	8 53.3	0 0.0	0 0.0
	永野	11 100.0	7 63.6	8 72.7	3 27.3	2 18.2	1 9.1	3 27.3	0 0.0	0 0.0
	清洲	31 100.0	17 54.8	21 67.7	7 22.6	2 6.5	6 19.4	10 32.3	0 0.0	0 0.0
	市外	116 100.0	61 52.6	78 67.2	26 22.4	37 31.9	30 25.9	49 42.2	1 0.9	0 0.0

# 第3章 考察

## 3-1 調査結果から得られた考察

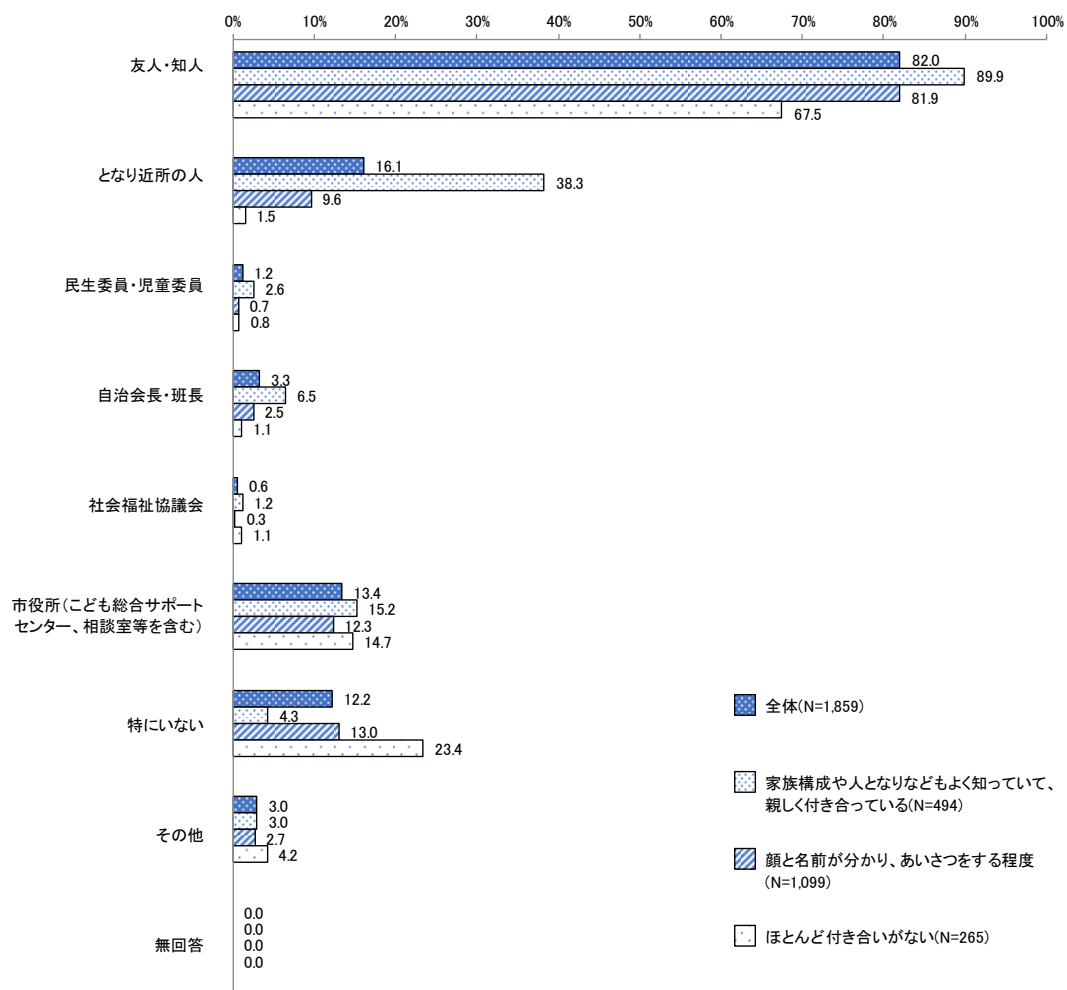
### 【地域について】

- ・近所との関係が希薄であるほど、日常生活で困ったときに相談できるところが「特にない」割合が高い。

Q4「近所との関係」を年齢別にみた結果では、60歳代及び70歳代では「家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている」の割合が5割近くであるのに対し、50歳代以下では3割を下回り、20歳代では「ほとんど付き合いがない」が3割強と高くなっている。

さらに、Q5「日常生活で困ったときに相談できるところ」について、近所との関係別にみると、「顔と名前が分かり、あいさつをする程度」及び「ほとんど付き合いがない」では「家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている」に比べ「となり近所の人」の割合が低く、「特にない」が高くなっている。

- ・近所との関係別、日常生活で困ったときに相談できるところ（Q5×Q4のクロス集計）



【教育全般について】

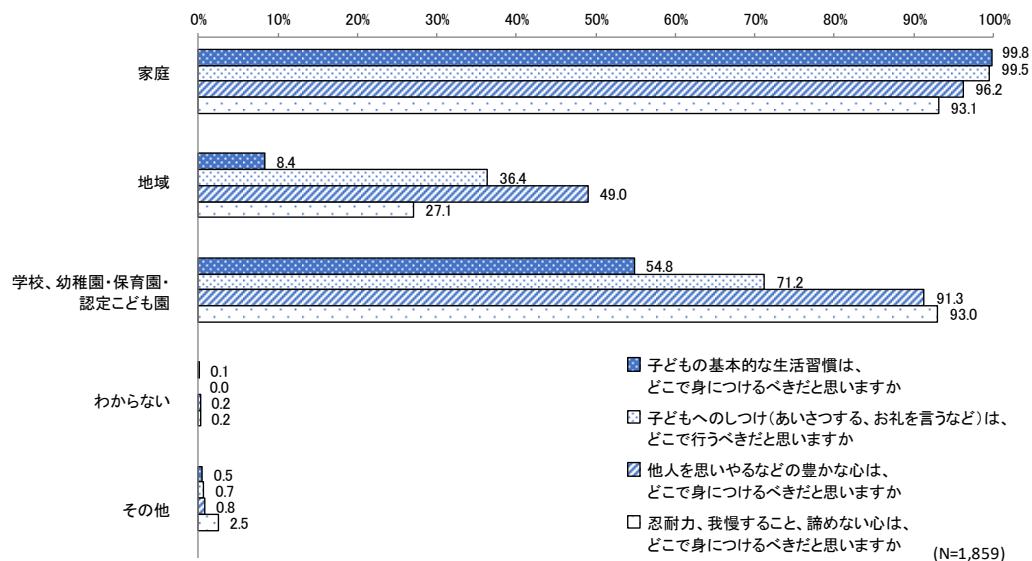
・教育の役割分担について、保護者は「学校、幼稚園・保育園・認定こども園で行うべき」と考える割合が高く、教員・園関係者及び団体関係者等は「地域で行うべき」と考える割合が高い。

教育の役割分担については、Q6 から Q9 のいずれにおいても「家庭」が最も高いが、Q8 「他人を思いやるなどの豊かな心」と Q9 「忍耐力、我慢すること、諦めない心」については「学校、幼稚園、保育園、認定こども園」も9割強と高くなっている。また、「地域」はいずれも5割を下回っている。

また、Q1 の関係性を「小中学校・幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者」（以下「保護者」と記載）、「小中学校の教員、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者」（以下「教員・園関係者」と記載）、「団体関係者・その他」（以下「団体関係者等」と記載）の3つに再分類し、クロス集計を行った。

Q6 から Q9 について関係性別（3分類）にみると、保護者では「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」で身につけるべきと回答した割合が高い一方、教員・園関係者及び団体関係者等では「地域」で身につけるべきと回答した割合が、保護者に比べ高くなっている。

・教育の役割分担（Q6 から Q9 のまとめ）



・「地域」「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」の役割分担【関係性別（3分類）】

「地域」で身につけるべきと考える人の割合

	子どもの基本的な生活習慣	子どもへのしつけ	他人を思いやる豊かな心	忍耐力、我慢すること、諦めない心
小中学校・幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者	7.1	31.6	44.7	23.2
小中学校の教員、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者	11.0	47.7	60.8	35.3
団体関係者・その他	13.0	48.1	55.1	38.9

「学校、幼稚園・保育園・認定こども園」で身につけるべきと考える人の割合

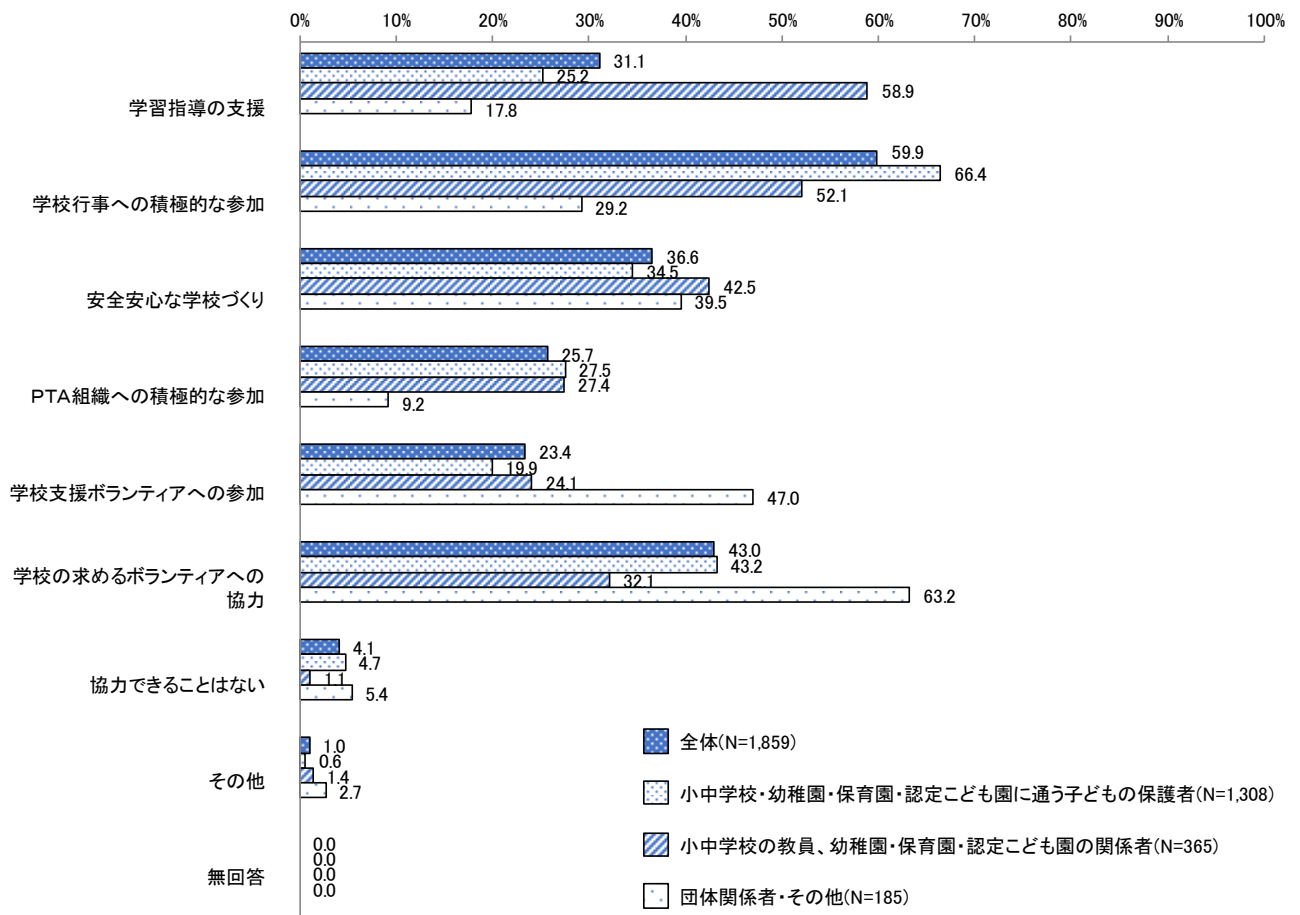
	子どもの基本的な生活習慣	子どもへのしつけ	他人を思いやる豊かな心	忍耐力、我慢すること、諦めない心
小中学校・幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者	59.0	73.2	92.7	94.1
小中学校の教員、幼稚園・保育園・認定こども園の関係者	42.5	65.2	90.1	91.5
団体関係者・その他	49.2	68.6	83.2	87.6

【学校教育について】

- ・「学校教育で協力できること」は関係性により内容が大きく異なる。
- ・地域住民としての子育て・学校支援・見守り活動などのボランティア活動への協力意向が高いほど「学校教育で協力できること」への回答割合も高い。
- ・「学校施設の整備について、今後優先的に行うべきこと」は、保護者では「防災・防犯など安心安全な施設整備」が最も高く、教員・園関係者及び団体関係者等では「小人数指導など多様な学習形態・学習内容による活動が可能となる施設整備」が最も高い。

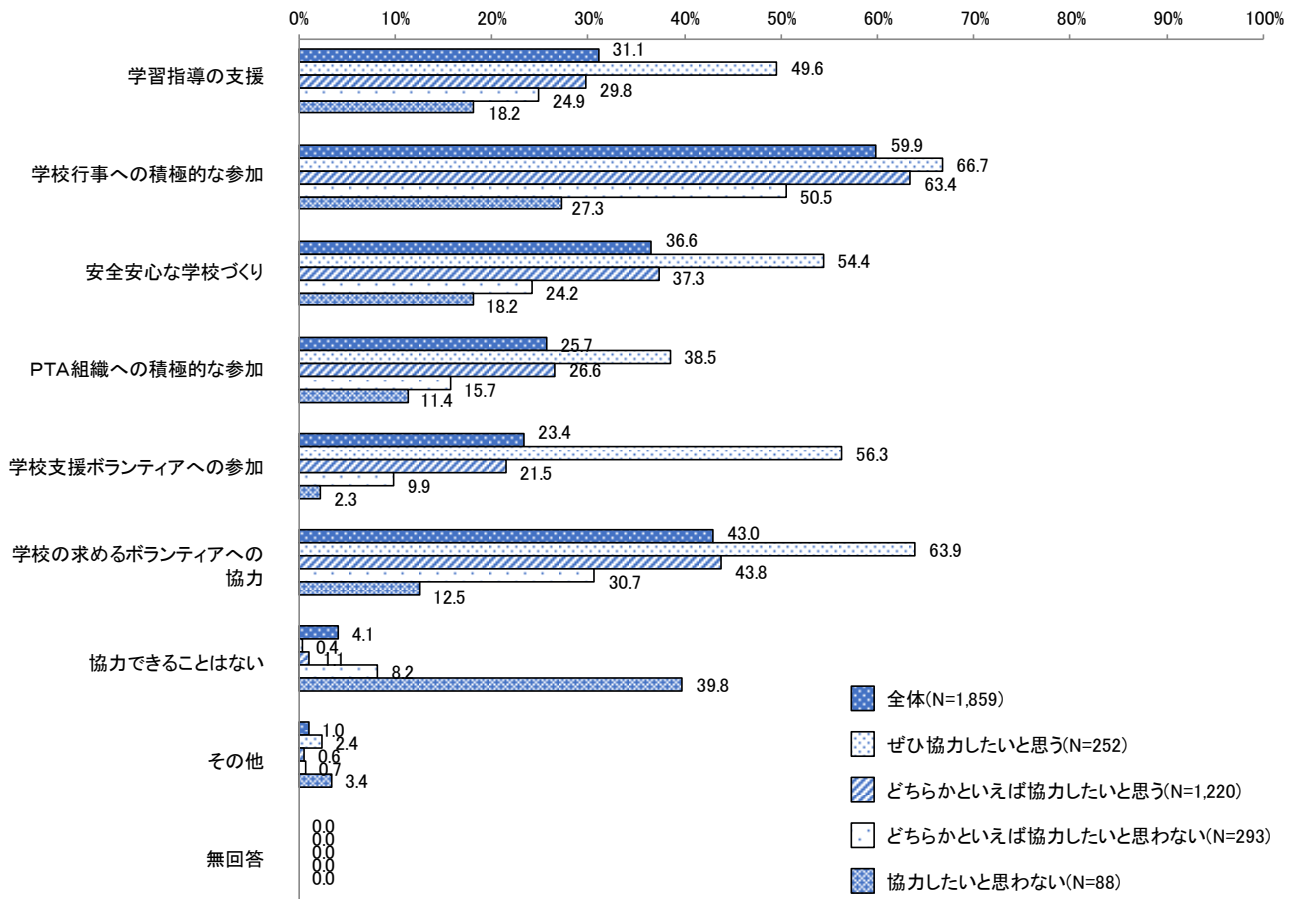
Q13「学校教育で協力できること」について関係性別（3分類）にみると、保護者では「学校行事への積極的な参加」及び「学校の求めるボランティアへの協力」はともに4割を超え比較的高い一方、「PTA組織への積極的な参加」及び「学校支援ボランティアへの参加」は3割を下回っている。また団体関係者等では「学校の求めるボランティアへの協力」及び「学校支援ボランティアへの参加」が突出して高くなっている。

・学校教育で協力できること（Q13）【関係性別（3分類）】



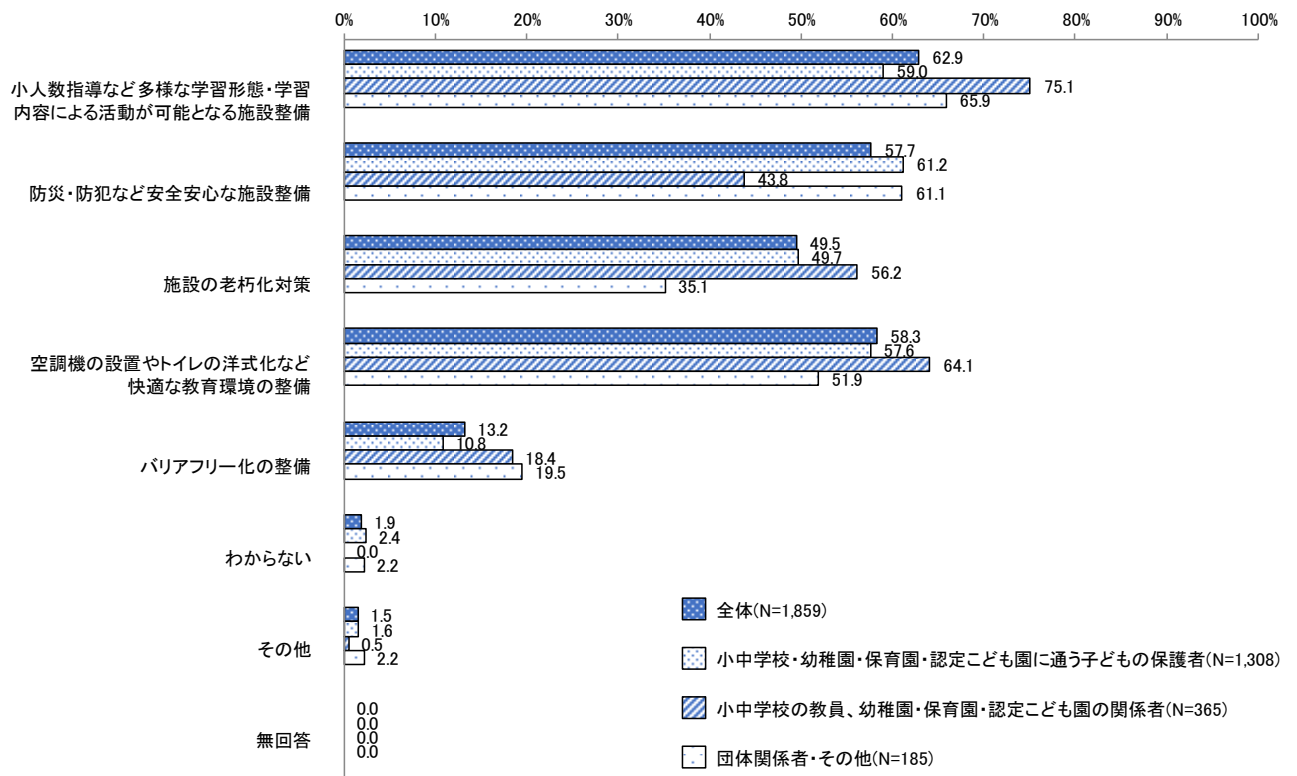
さらに、学校教育で協力できることについて Q18「地域住民としてのボランティア活動への協力意向」別にみると、「ぜひ協力したいと思う」「どちらかと言えば協力したいと思う」と回答した人は、「どちらかと言えば協力したいと思わない」「協力したいと思わない」と回答した人に比べ、学校教育で協力できる項目の回答率が高くなっている。

・学校教育で協力できること (Q13)【Q18 の回答別】



Q16「学校施設の整備について、今後優先的に行うべきこと」を関係性別（3分類）にみると、保護者では「防災・防犯など安心安全な施設整備」が最も高く、教員・園関係者及び団体関係者等では「小人数指導など多様な学習形態・学習内容による活動が可能となる施設整備」がともに最も高くなっている。また、いずれの属性も「小人数指導など多様な学習形態・学習内容による活動が可能となる施設整備」及び「空調機の設置やトイレの洋式化など快適な教育環境の整備」の2項目が上位3位に入った。

・学校施設の整備について、今後優先的に行うべきこと（Q16）【関係性別（3分類）】



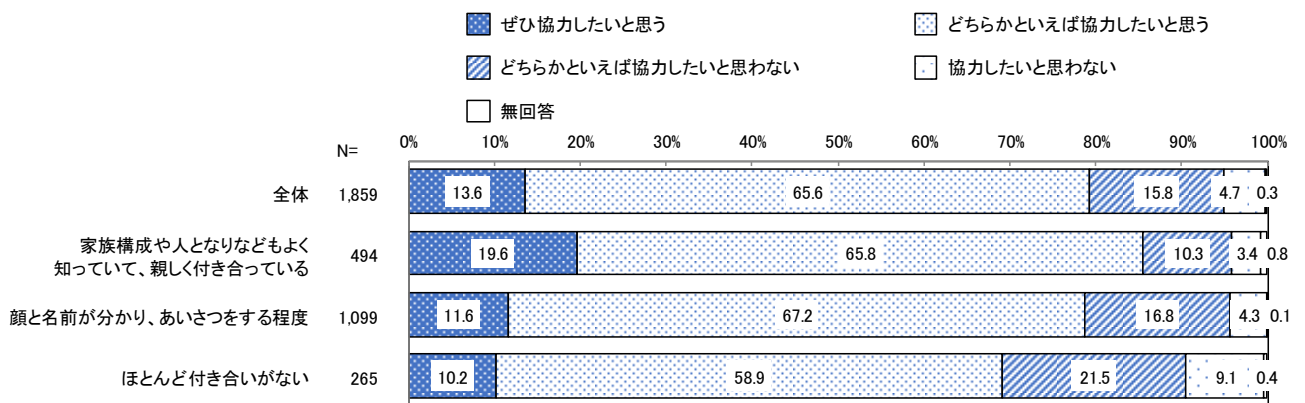
【生涯学習について】

- ・「地域住民としてのボランティア活動への協力意向」は近所との関係が強い人ほど高い。関係性別では、保護者は意向が低く、教員・園関係者及び団体関係者等は高い傾向にある。

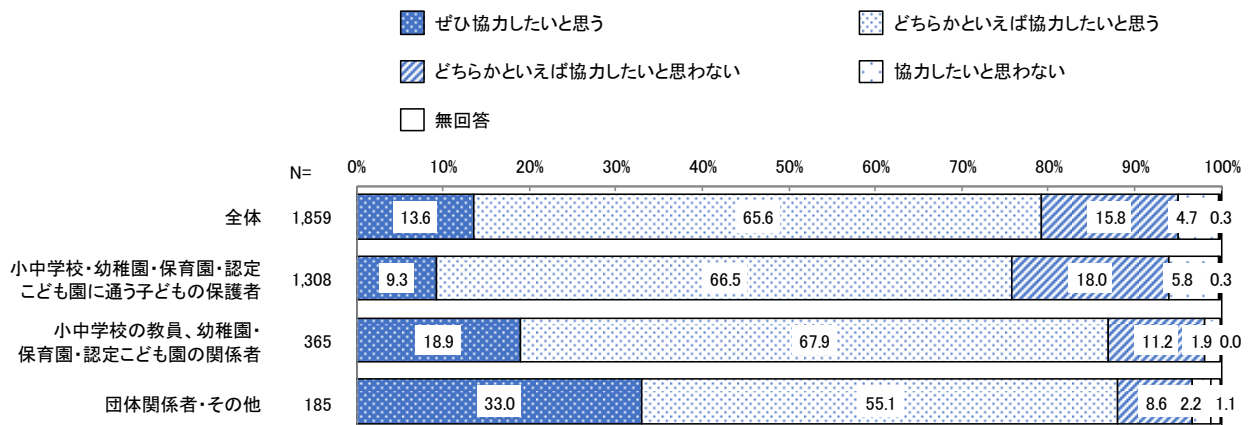
Q18「地域住民としてのボランティア活動への協力意向」をQ4の近所との関係別にみると、「家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている」では「ぜひ協力したいと思う」が約2割と比較的高く、「どちらかといえば協力したいと思う」を合わせた『協力したいと思う』は8割半ばであった。『協力したいと思う』は、「顔と名前が分かり、あいさつをする程度」では7割半ば、「ほとんど付き合いがない」では7割弱であった。「どちらかといえば協力したいと思わない」「協力したいと思わない」を合わせた『協力したいと思わない』は、「ほとんど付き合いがない」で約3割と比較的高くなっている。

また、関係性別（3分類）でみたところ、保護者では『協力したいと思う』が7割半ばで、教員・園関係者や団体関係者等に比べて低く、『協力したいと思わない』が2割強と比較的高くなっている。

- ・近所との関係別、子育て・学校支援・見守り活動などのボランティア活動への協力希望（Q18×Q4）



- ・関係性別（3分類）、子育て・学校支援・見守り活動などのボランティア活動への協力希望（Q18のクロス集計）



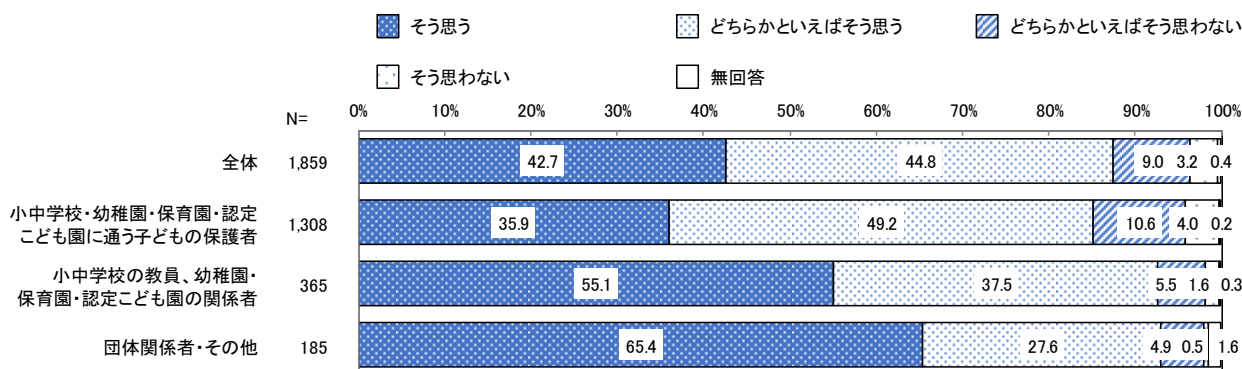
【文化について】

- ・「地域コミュニティ維持のため地域の伝統行事を大切だと思うか」について、保護者は「そう思う」の割合が低い。
- ・「地域の伝統行事を継承するために必要と思うこと」について、保護者は学校で学ぶ機会を求める割合が高い。地域の伝統行事を大切だと思う人は、「後継者育成の教室を開催する」「発表の場をつくる」が必要だと考える割合が高い。

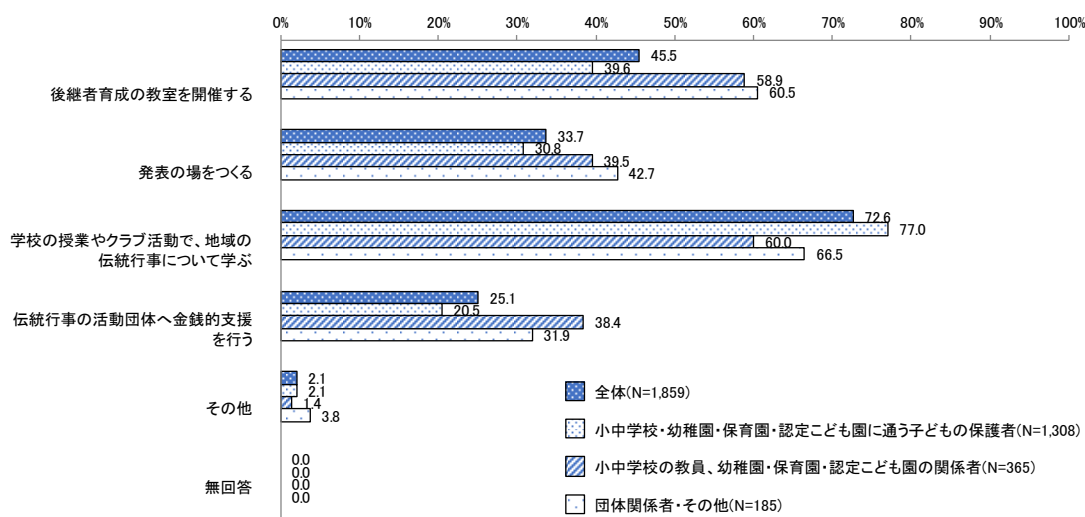
Q20「地域コミュニティ維持のため地域の伝統行事を大切だと思うか」について、関係性別（3分類）にみると、保護者では「そう思う」が3割半ばで、教員・園関係者や団体関係者等に比べ低くなっている。

またQ21「地域の伝統行事を継承するために必要と思うこと」について、関係性別（3分類）でみると、保護者では「学校の授業やクラブ活動で、地域の伝統行事について学ぶ」が8割弱と高いのに対し他の項目は4割を下回っており、学校で学ぶ機会を求める割合が高くなっている。教員・園関係者及び団体関係者等では「後継者育成の教室を開催する」が6割前後、「発表の場をつくる」が4割前後となっており、学校以外の場も必要と考える割合が比較的高くなっている。

・関係性別（3分類）、地域の伝統行事は大切だと思うか（Q20のクロス集計）



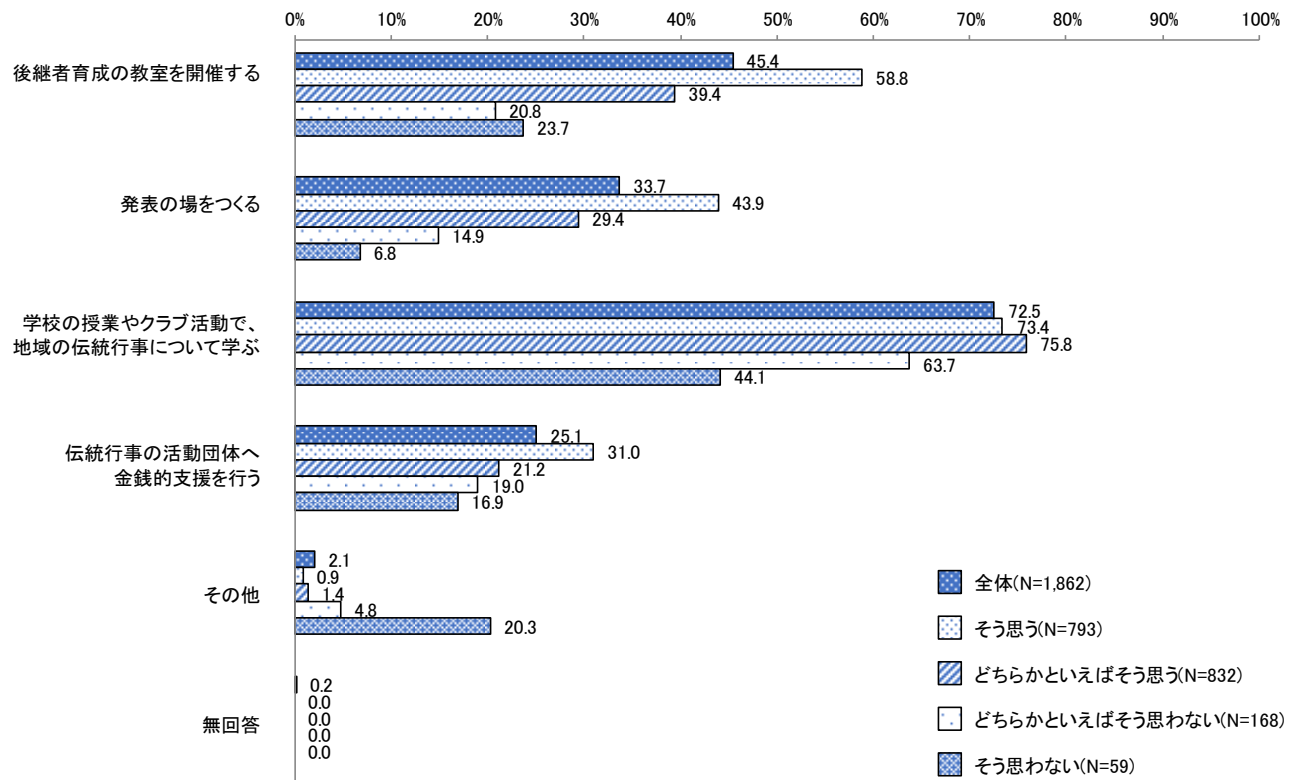
・関係性別（3分類）、地域の伝統行事を継承するために必要だと思うこと（Q21のクロス集計）





さらに、Q21について、Q20の回答別にみたところ、地域の伝統行事が大切かについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人では「後継者育成の教室を開催する」及び「発表の場をつくる」の割合が「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」人に比べ高くなっている。

・ 地域の伝統行事への考え別、地域の伝統行事を継承するために必要だと思うこと (Q21×Q20)



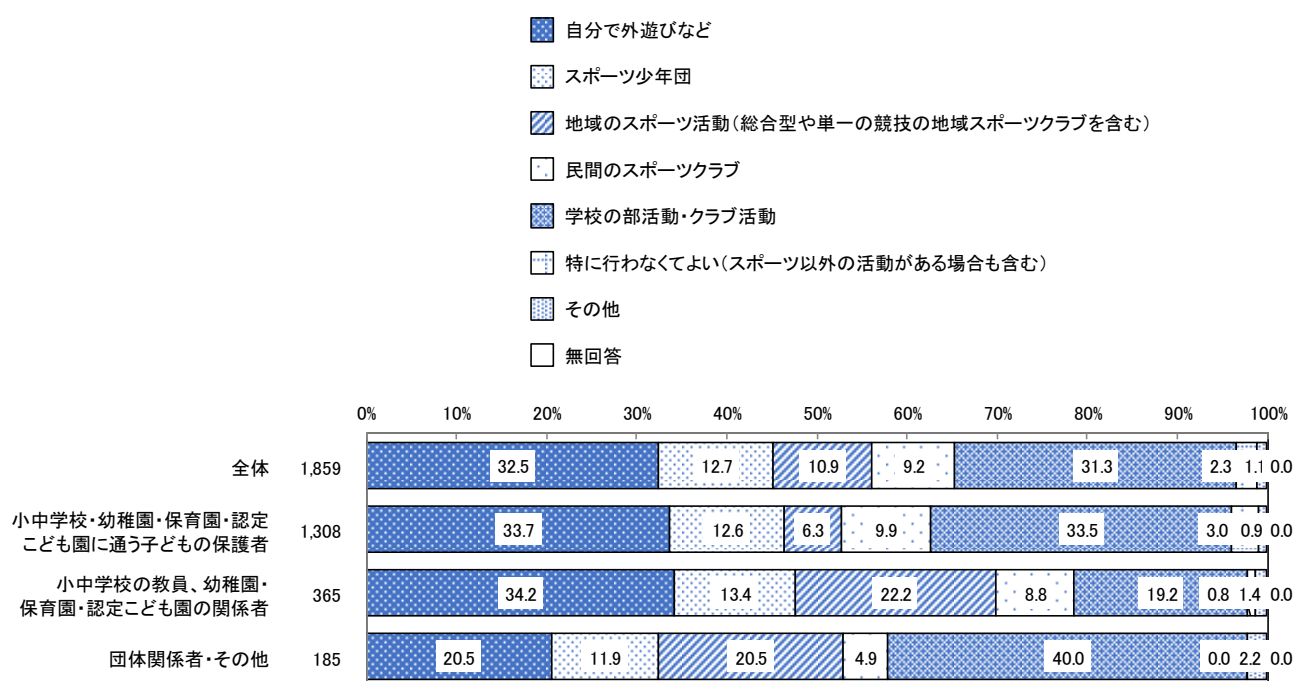
【スポーツについて】

- ・「体育の授業以外に子どもがスポーツや運動を行う環境」について、保護者及び団体関係者等では「学校の部活動・クラブ活動」の割合が高く、教員・園関係者では「地域のスポーツ活動」の割合が高い。
- ・「子どもが継続してスポーツや運動に参加するために必要なこと」について、保護者は「送迎や付き添いなど、保護者の負担軽減」や「月謝など金銭面での負担軽減」の割合が高い。教員・園関係者では「活動に理解のある指導者の存在」、団体関係者等では「活動を支援するボランティアなどの存在」の割合が高い。

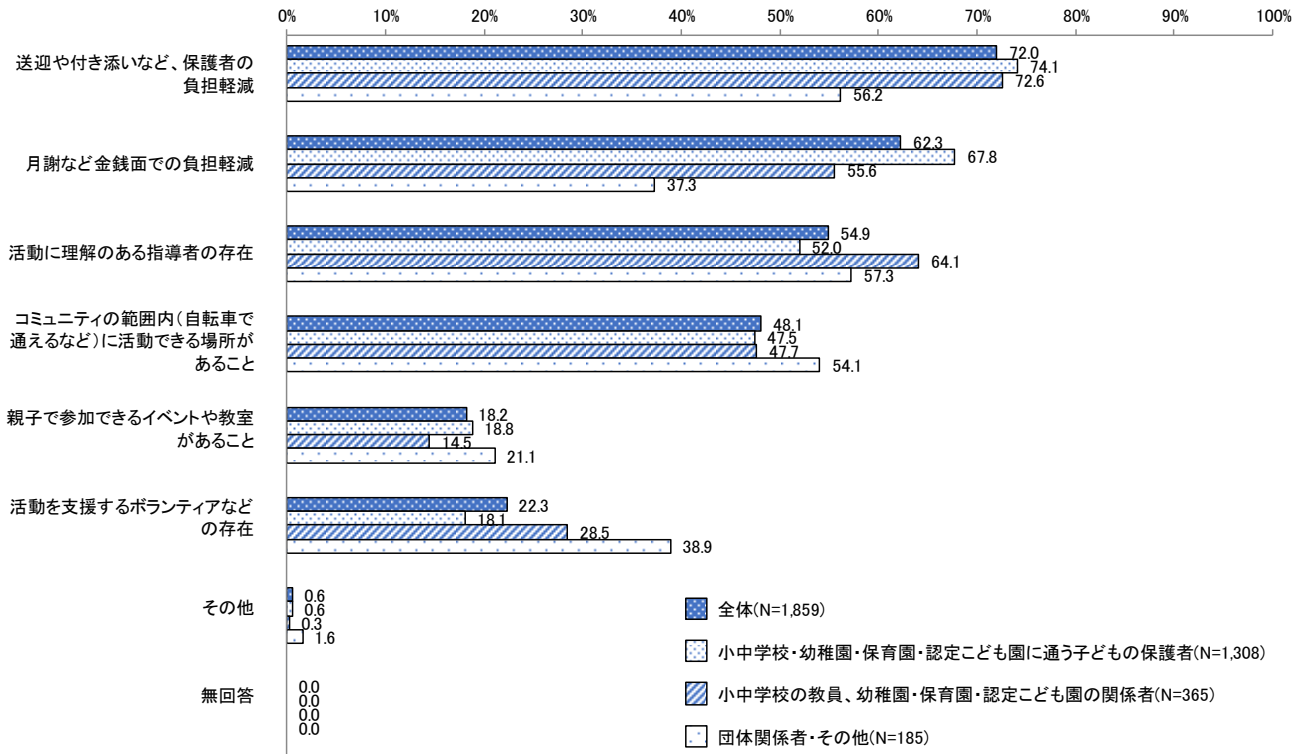
Q23「体育の授業以外に子どもがスポーツや運動を行う環境」について、関係性別（3分類）にみると、「学校の部活動・クラブ活動」は保護者及び団体関係者等で3割を超えているのに対して、教員・園関係者では2割弱となっている。一方、「地域のスポーツ活動（総合型や単一の競技の地域スポーツクラブを含む）」は、保護者では1割を下回っているのに対し、教員・園関係者及び団体関係者等では2割強となっており、子どもがスポーツや運動を行う環境として地域が望ましいと考える割合が比較的高くなっている。

Q25「子どもが継続してスポーツや運動に参加するために必要なこと」について、関係性別（3分類）にみると、保護者では「送迎や付き添いなど、保護者の負担軽減」及び「月謝など金銭面での負担軽減」がともに6割を超え、高い割合となっている。一方、教員・園関係者では「活動に理解のある指導者の存在」が6割半ば、団体関係者等では「活動を支援するボランティアなどの存在」が4割弱と比較的高く、認識の違いが見受けられた。

- ・関係性別（3分類）、子どもは体育の授業以外にどのような環境でスポーツや運動を行うことが望ましいか（Q23のクロス集計）



・関係性別（3分類）、子どもが継続して、スポーツや運動に参加するために必要なこと  
 (Q25 のクロス集計)



## 第4章 参考資料

---

### 4-1 調査項目

**Q1. あなたは次のうち、どれに当てはまる方ですか。【1つ選択】**

**属性（ご自身について）**

- ・小中学校に通う子どもの保護者
- ・小中学校の教員
- ・幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもの保護者
- ・幼稚園・保育園・認定こども園の関係者
- ・生涯学習団体の関係者
- ・文化団体の関係者
- ・スポーツ団体の関係者
- ・その他

**Q2. あなたの年齢をお伺いします。【1つ選択】**

**属性（ご自身について）**

- ・20歳代以下
- ・30歳代
- ・40歳代
- ・50歳代
- ・60歳代
- ・70歳代
- ・80歳代以上

**Q3. 居住地区をお伺いします。【1つ選択】**

**属性（ご自身について）**

- ・まちなか3地区（中央・東部・北部）
- ・板荷
- ・西大芦
- ・加蘇
- ・北犬飼
- ・南摩
- ・南押原
- ・東大芦
- ・菊沢
- ・北押原
- ・東部台
- ・粟野
- ・粕尾
- ・永野
- ・清洲
- ・市外

**Q4. あなたは現在、ご近所（向こう三軒両隣など）の方々とどのような関係ですか。【1つ選択】**

**地域（地域のつながりについて）**

- ・家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている
- ・顔と名前が分かり、あいさつをする程度
- ・ほとんど付き合いがない

**Q5. 日常生活で困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ（相手）はどこ（誰）ですか。**

**【複数選択可】**

**地域（地域のつながりについて）**

- ・友人・知人
- ・となり近所の人
- ・民生委員・児童委員
- ・自治会長・班長
- ・社会福祉協議会
- ・市役所（こども総合サポートセンター、相談室等を含む）
- ・特になし
- ・その他

**Q6. 子どもの基本的な生活習慣（早寝早起き、整理整頓など）は、どこで身につけるべきだと思いますか。**

**【複数選択可】**

**教育全般（教育の役割分担について）**

- ・家庭
- ・地域
- ・学校、幼稚園・保育園・認定こども園
- ・わからない
- ・その他

**Q7. 子どもへのしつけ（あいさつする、お礼を言うなど）は、どこで行うべきだと思いますか。**

**【複数選択可】**

**教育全般（教育の役割分担について）**

- ・家庭
- ・地域
- ・学校、幼稚園・保育園・認定こども園
- ・わからない
- ・その他

**Q8. 他人を思いやるなどの豊かな心は、どこで身につけるべきだと思いますか。【複数選択可】**

**教育全般（教育の役割分担について）**

- ・家庭
- ・地域
- ・学校、幼稚園・保育園・認定こども園
- ・わからない
- ・その他

**Q9. 忍耐力、我慢すること、諦めない心は、どこで身につけるべきだと思いますか。【複数選択可】**

**教育全般（教育の役割分担について）**

- ・家庭
- ・地域
- ・学校、幼稚園・保育園・認定こども園
- ・わからない
- ・その他

**Q10. 学校では、何を子どもに身につけさせるべきだと思いますか。【複数選択可】**

**学校教育（学校教育に求めるものについて）**

- ・基礎的な学力
- ・基本的な生活習慣（早寝早起き、整理整頓など）
- ・しつけ（あいさつする、お礼を言うなど）
- ・思いやりの心、感謝する気持ち、感動する心
- ・忍耐力、我慢すること、あきらめない心
- ・ルールやマナーなどの規範意識
- ・コミュニケーション（人間関係構築）能力
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣
- ・体力向上と健康づくりに関わる態度や意欲
- ・ボランティアにかかわろうとする意欲・態度
- ・伝統や文化、芸術を理解しようとする態度や意欲
- ・その他

**Q11. お子さんが学校で楽しみにしていることは何ですか。【複数選択可】**

**学校教育（学校教育に求めるものについて）**

- ・授業
- ・学校行事
- ・児童会・生徒会活動
- ・クラブ・部活動
- ・給食の時間
- ・先生との交流（会話・遊びなど）
- ・異学年との交流
- ・友達づきあい
- ・わからない
- ・その他

**Q12. お子さんが、学校でどんな能力や態度を身につけてほしいと思いますか。【複数選択可】**

**学校教育（学校教育に求めるもの）**

- ・ 教科の基礎的な学力
- ・ 受験に役立つ学力
- ・ 自ら学ぼうとする意欲や態度
- ・ 論理的に物事を考える力
- ・ 善悪を判断する力
- ・ 社会で役立つ心や公共心
- ・ 自分の考えを表現する能力
- ・ 体力や運動能力
- ・ 自立して生きる力
- ・ その他

**Q13. あなたは、学校教育にどういうことで協力できると思いますか。【複数選択可】**

**学校教育（連携・協力について）**

- ・ 学習指導の支援
- ・ 学校行事への積極的な参加
- ・ 安全安心な学校づくり
- ・ P T A 組織への積極的な参加
- ・ 学校支援ボランティアへの参加
- ・ 学校の求めるボランティアへの協力
- ・ 協力できることはない
- ・ その他

**Q14. 幼稚園・保育園・認定こども園と小学校が連携することで、どのような効果があると思いますか。【複数選択可】**

**学校教育（連携・協力について）**

- ・ 相手を思いやる心の教育
- ・ 小学生の新たな意欲付け
- ・ 基本的な生活習慣
- ・ 規範意識の育成
- ・ 自立を促す
- ・ 小学校入学での不適應の解消
- ・ わからない
- ・ その他

**Q15. 小学校と中学校が連携することで、どのような効果があると思いますか。【複数選択可】**

**学校教育（連携・協力について）**

- ・中学生の新たな意欲づけ
- ・相手を思いやる心の育成
- ・自立を促す
- ・社会性の育成
- ・基本的な生活習慣
- ・規範意識の育成
- ・中学校入学での不適應の解消
- ・判断力の育成
- ・わからない
- ・その他

**Q16. 学校施設の整備について、今後どのようなことを優先的に行うべきだと思いますか。**

**【3つまで選択可】**

**学校教育（学校施設の整備について）**

- ・小人数指導など多様な学習形態・学習内容による活動が可能となる施設整備
- ・防災・防犯など安全安心な施設整備
- ・施設の老朽化対策
- ・空調機の設置やトイレの洋式化など快適な教育環境の整備
- ・バリアフリー化の整備
- ・わからない
- ・その他

**Q17. 子育てについて学ぶ機会として、参加してみたいものはどれですか。【複数選択可】**

**生涯学習（家庭教育について）**

- ・子育てに関する講演会
- ・自分たちでテーマを決めた勉強会
- ・保護者たちの交流を図る研修会
- ・特にない
- ・その他



**Q18. 地域住民として、子育て・学校支援・見守り活動などのボランティア活動に協力したいと思いますか。【1つ選択】**

**生涯学習（地域の教育参画について）**

- ・ぜひ協力したいと思う
- ・どちらかといえば協力したいと思う
- ・どちらかといえば協力したいと思わない
- ・協力したいと思わない

**Q19. 青少年の健全育成には、どのような取組みが必要だと思いますか。【複数選択可】**

**生涯学習（青少年の健全育成について）**

- ・相談業務の充実
- ・困難を有する若者の自立支援
- ・若者が集い、交流する活動拠点の充実
- ・若者が参画する体験活動の機会の提供
- ・若者の主体的なまちづくり活動の支援
- ・青少年育成団体の活動支援
- ・その他

**Q20. 地域コミュニティの維持のため、地域の伝統行事は大切だと思いますか。【1つ選択】**

**文化（地域の伝統文化への意識について）**

- ・そう思う
- ・どちらかといえばそう思う
- ・どちらかといえばそう思わない
- ・そう思わない

**Q21. 地域の伝統行事を継承するためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数選択可】**

**文化（地域の伝統文化への意識について）**

- ・後継者育成の教室を開催する
- ・発表の場をつくる
- ・学校の授業やクラブ活動で、地域の伝統行事について学ぶ
- ・伝統行事の活動団体へ金銭的支援を行う
- ・その他

**Q22. 文化・芸術に関する習い事や催しに参加していますか。【複数選択可】**

**文化（文化・芸術活動について）**

- ・習い事の教室に通っている
- ・展覧会などを観に行っている
- ・コンサート・演劇などを観に行っている
- ・市民文化祭に参加している
- ・全く参加していない
- ・その他

**Q23. 子どもは体育の授業以外にどのような環境でスポーツや運動を行うことが望ましいと思いますか。  
【1つ選択】**

**スポーツ（子どもを取り巻くスポーツ環境について）**

- ・自分で外遊びなど
- ・スポーツ少年団
- ・地域のスポーツ活動（総合型や単一の競技の地域スポーツクラブを含む）
- ・民間のスポーツクラブ
- ・学校の部活動・クラブ活動
- ・特に行わなくてよい（スポーツ以外の活動がある場合も含む）
- ・その他

**Q24. 子どもがスポーツ（運動や体を動かす遊びを含む）に興味を持つために必要なことは何だと思いませんか。【複数選択可】**

**スポーツ（子どもを取り巻くスポーツ環境について）**

- ・発達期に複数の種目を体験することができる環境
- ・プロスポーツなどの試合の観戦やプロチームとの交流
- ・トップアスリートによる指導の機会の充実
- ・地域内で参加できる教室などの開催
- ・スポーツイベントや活動などの情報発信
- ・その他

**Q25. 子どもが継続して、スポーツや運動に参加するために必要なことは何だと思いますか。**

**【複数選択可】**

**スポーツ（子どもを取り巻くスポーツ環境について）**

- ・送迎や付き添いなど、保護者の負担軽減
- ・月謝など金銭面での負担軽減
- ・活動に理解のある指導者の存在
- ・コミュニティの範囲内（自転車を通えるなど）に活動できる場所があること
- ・親子で参加できるイベントや教室があること
- ・活動を支援するボランティアなどの存在
- ・その他

**Q26. 今年度にパラリンピック、令和4年度には栃木県で全国障害者スポーツ大会が行われますが、障害者スポーツの理解や普及を進めるために何が必要だと思いますか。【複数選択可】**

**スポーツ（障害者スポーツの理解や普及について）**

- ・学校の授業での学習機会
- ・障害を持つ、持たないにかかわらず、子どもたちの体験の場の確保
- ・障害者スポーツ指導者の育成
- ・市民への啓発や研修機会の確保
- ・競技に対する障害者（児）の保護者の理解促進
- ・障害者との交流ができるイベントの開催
- ・その他

---

第2次鹿沼市教育ビジョン  
令和4年3月

編集・発行 鹿沼市教育委員会  
〒322-0064 栃木県鹿沼市文化橋町 1982-18  
TEL : 0289-63-2234 FAX : 0289-63-2118

---